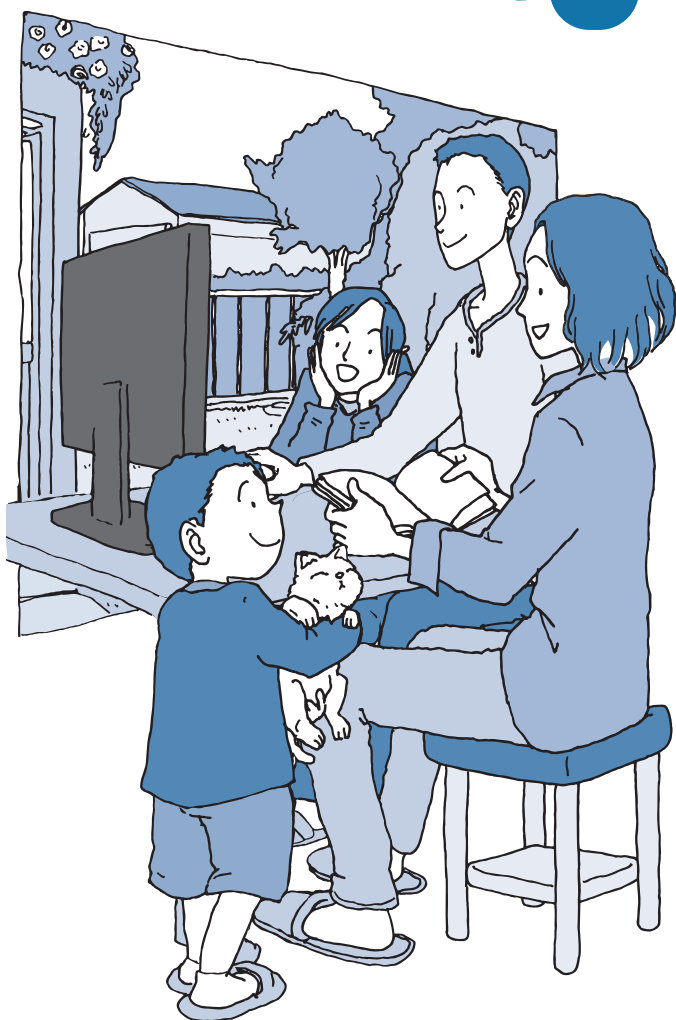
NEC

準備と基本

「あなたのパソコン」として使うために

VALUESTAR W

●マニュアルガイド●

このパソコンには、次のマニュアルが添付されています。
目的に合わせてご覧ください。

この本

パソコンを使う準備をしよう

『準備と基本』

パソコンの接続やセットアップ／ウイルス対策／インターネットに接続する方法／基本機能／パソコンのおすすめ機能　など

パソコンでテレビを見てみよう

『テレビを楽しむ本』

（デジタルハイビジョンTVモデルのみ）

パソコンで簡単にテレビを見る方法／おてがる予約や新番組おまかせ録画／録画番組の編集／ DVDなどへの保存方法／一歩すすんだテレビ操作　など

デスクトップにある
をダブルクリック

パソコンの中にもマニュアルがある

「ソフト&サポートナビゲーター」

使いたいソフトを探して、起動する／機器の取り付け方法や操作、セキュリティの設定／うまくいかないとき、故障かなと思ったとき／各部の機能や名称などの情報／用語集　など

パソコンを安心して使うために

『トラブルの予防と解決』

バックアップの種類と方法／インターネットのトラブル解決／パソコンの電源が入らないときは／ウイルスに感染してしまったら／再セットアップ方法／ NECのサービス＆サポート　など

※第5章に、NECサポート窓口(121コンタクトセンター)や各種サービス＆サポート情報を記載しています。

853-811064-039-A

このマニュアルの読み方

準備編

―― パソコンを使い始める際に必要な設定について説明しています。

章	内容
【第1章】 セットアップの前に	添付品の確認や電源コードの接続など、まず最初におこなうことについて説明しています。
【第2章】 セットアップする	パソコンの電源を入れて最初におこなう設定(セットアップ)やセットアップ後におこなう作業について説明しています。
【第3章】 インターネットを始める	インターネットの接続や、電子メールの設定、ウイルス対策について説明しています。

基本編

―― このパソコンの主な機能の紹介と機能の拡張、特有の機能について説明しています。

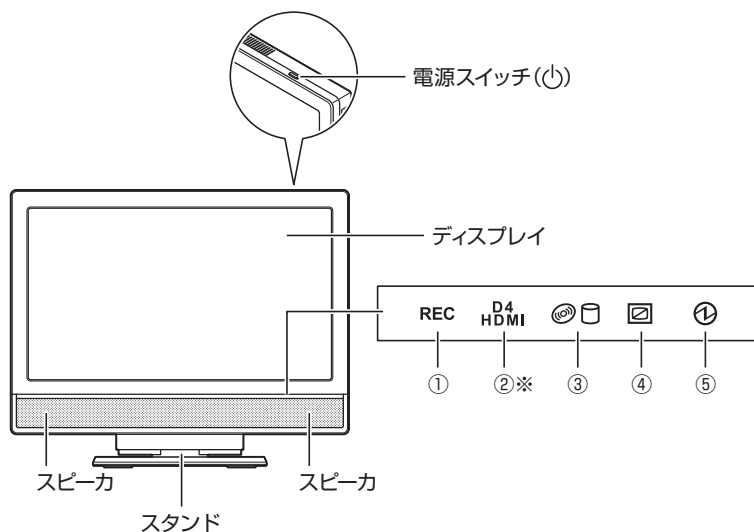
章	内容
【第4章】 基本機能	電源の入れ方や切り方、省電力機能や音量の調節方法など、このパソコンの主な機能について説明しています。
【第5章】 パソコンに取り付ける	パソコンに取り付けられる機器の紹介や内部に新しい部品を取り付ける方法について説明しています。
【第6章】 おすすめ機能	このパソコン特有の機能を使ってできることを紹介しています。

付録 ―― お手入れの方法やアフターケアなど、さまざまな情報を記載しています。

仕様一覧 ―― パソコンの性能や機能について詳しい情報を記載しています。

853-811064-039-A
2010年9月　初版

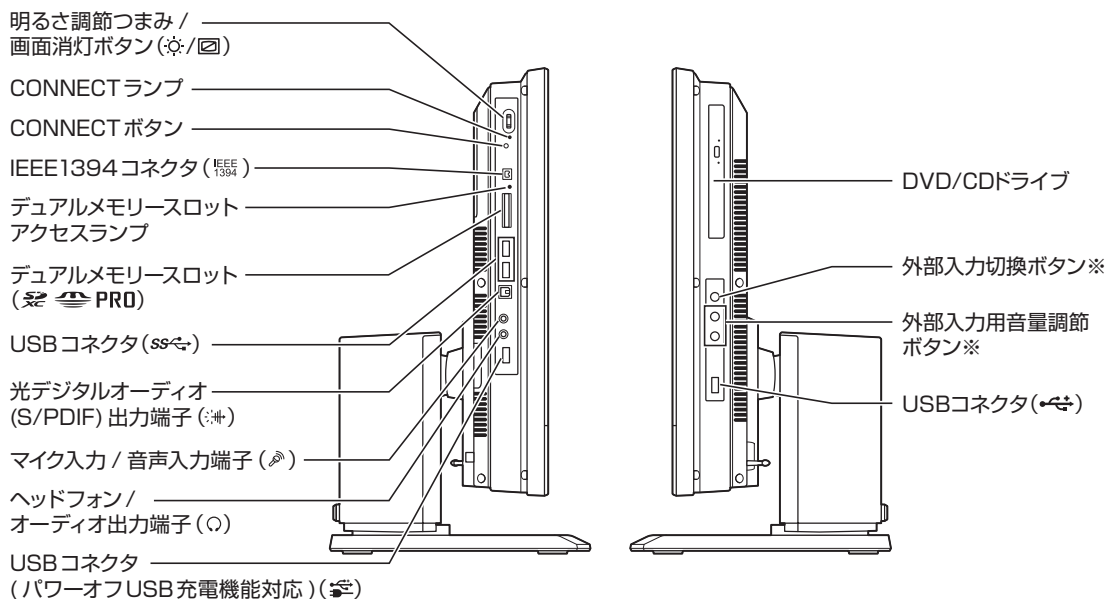
各部の名称(1)

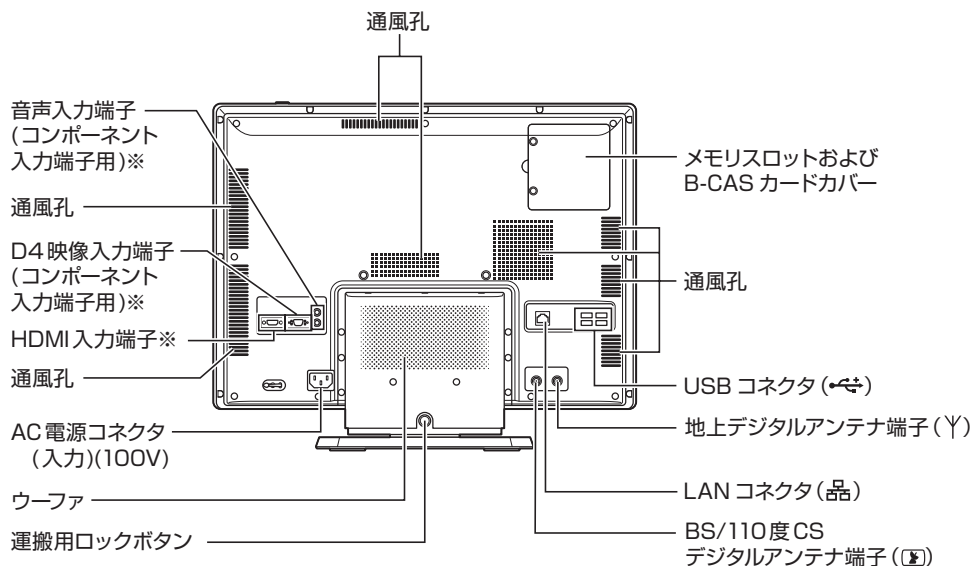
●本体前面

※:HDMI/D端子を搭載しているモデルのみ

①録画ランプ	④画面消灯ランプ
②外部入力ランプ	⑤電源ランプ
③内蔵ドライブアクセスランプ	

詳しくは、「各部の名称と役割」(「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 93010010 で検索)をご覧ください。

各部の名称(2)

●本体左側面/右側面

※:HDMI/D端子を搭載しているモデルのみ

●本体背面

※:HDMI/D端子を搭載しているモデルのみ

詳しくは、「各部の名称と役割」(「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 93010010 で検索)をご覧ください。

このマニュアルの表記について

◆このマニュアルで使用している記号や表記には、次のような意味があります

注意	人が傷害を負う可能性が想定される内容、および、物的損害の発生が想定される内容を示します。

傷害や事故の発生を防止するための指示事項は、次のマークで表しています。

❗	使用者に対して指示に基づく行為を強制するものです。

その他の指示事項は、次のマークで表しています。

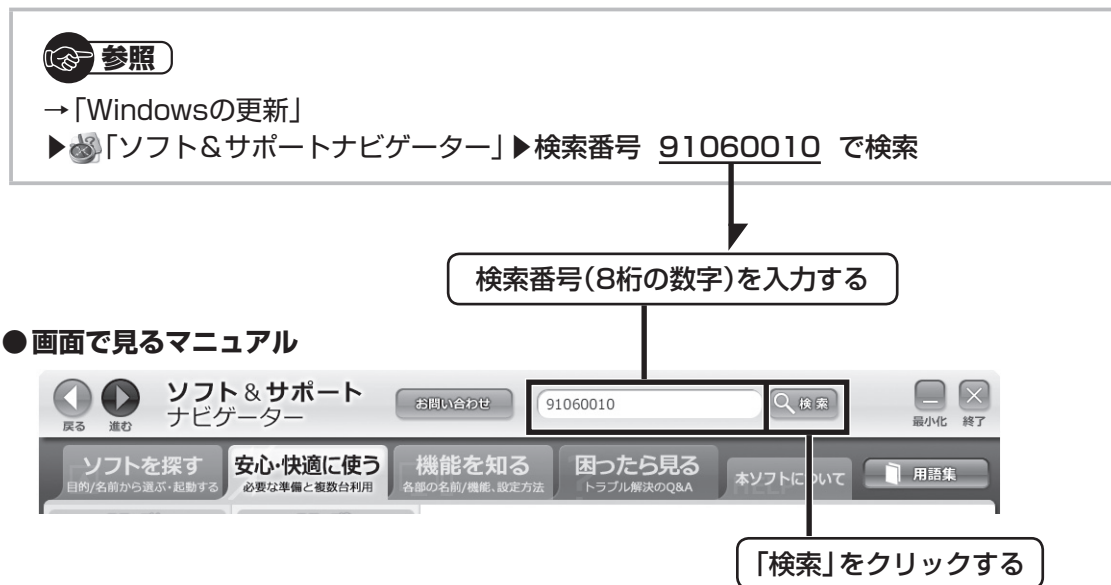
	してはいけないことや、必ずしていただきたいこと、とくに大切な注意を説明しています。よく読んで注意を守ってください。場合によっては、人が傷害を負ったり、費用が必要になったりする可能性があります。また、作ったデータの消失、使用しているソフトの破壊、パソコンの破損の可能性もあります。
	注意していただきたいことを説明しています。よく読んで注意を守ってください。場合によっては、作ったデータの消失、使用しているソフトの破壊、パソコンの破損の可能性があります。
	パソコンをお使いになる際のヒントやポイントとなる説明です。
	関連する情報が書かれている所を示しています。

◆このマニュアルの表記では、次のようなルールを使っています

【　】	【　】で囲んである文字は、キーボードのキーおよびリモコンのボタンを指します。
DVD/CDドライブ	ブルーレイディスクドライブ(DVDスーパーマルチドライブ機能付き)またはDVDスーパーマルチドライブを指します。
「ソフト&サポートナビゲーター」	画面で見るマニュアル「ソフト&サポートナビゲーター」を起動して、各項目を参照することを示します。 「ソフト&サポートナビゲーター」は、タスクバーの(ソフト&サポートナビゲーター)アイコンをクリックして起動します。

◆番号検索について

このマニュアルに出てくる検索番号(8桁の数字)を画面で見るマニュアル「ソフト&サポートナビゲーター」で入力して検索すると、詳しい説明や関連する情報を表示できます。

例)検索番号が「91060010」の場合

◆このマニュアルでは、各モデル(機種)を次のような呼び方で区別しています

次ページの表をご覧になり、ご購入された製品の型名とマニュアルで表記されるモデル名を確認してください。

このパソコン、本機	このマニュアルで説明している各モデル(機種)を指します。
ブルーレイディスクドライブモデル	ブルーレイディスクドライブ(DVDスーパーマルチドライブ機能付き)を搭載しているモデルのことです。
DVDスーパーマルチドライブモデル	DVDスーパーマルチドライブ(DVD-RAM/R/RW with DVD+R/RWドライブ(DVD-R/+R 2層書込み))を搭載しているモデルのことです。
高速11n対応ワイヤレスLAN(abgn)モデル	IEEE802.11a(5GHz)、IEEE802.11b/g(2.4GHz)、およびIEEE802.11n(2.4/5GHz)の規格に対応したワイヤレスLANインターフェイスを内蔵しているモデルのことです。
Windows 7 Home Premiumモデル	Windows 7 Home Premiumがあらかじめインストールされているモデルのことです。
Windows 7 Professionalモデル	Windows 7 Professionalがあらかじめインストールされているモデルのことです。
Office 2010モデル	Office Personal 2010またはOffice Home & Business 2010が添付されているモデルのことです。
Office Personal 2010モデル	Office Personal 2010が添付されているモデルのことです。
Office Home & Business 2010モデル	Office Home & Business 2010が添付されているモデルのことです。

デジタルハイビジョンTV(地デジ/BS/110度CS)モデル	地上デジタル放送、およびBS・110度CSデジタル放送を見るための機能を搭載しているモデルのことです。
デジタルハイビジョンTVモデル	地上デジタル放送、またはBS・110度CSデジタル放送を見るための機能を搭載しているモデルのことです。
3D対応モデル	3D映像や3D画像の再生に対応しているモデルのことです。

シリーズ名	型名(型番)	表記の区分					
		ディスプレイ	BD/DVD/CDドライブ※3	TV機能	ワイヤレスLAN	OS	添付ソフト
VALUESTAR W	VW970/CS (PC-VW970CS)※1※4	23型ワイドディスプレイモデル	ブルーレイディスクドライブモデル	デジタルハイビジョンTV(地デジ/BS/110度CS)モデル	高速11n対応ワイヤレスLAN(abgn)モデル	Windows 7 Home Premiumモデル	Office Home & Business 2010モデル
	VW770/CS6□ (PC-VW770CS6□)※2						

※1：PC-VW970CSには、HDMI/D端子が搭載されています。
※2：本体の色によって□の中に異なる英数字が入ります。
※3：BDとはブルーレイディスクのことです。
※4：PC-VW970CSは3D対応映像や3D画像に対応しています。

シリーズ名	カラー	型名(型番)
VALUESTAR W	ファインブラック	VW770/CS6B(PC-VW770CS6B)
	クランベリーレッド	VW770/CS6R(PC-VW770CS6R)
	ハニーブラウン	VW770/CS6C(PC-VW770CS6C)

◆VALUESTAR Gシリーズについて

VALUESTAR Gシリーズの各モデルについては、添付の『VALUESTAR Gシリーズをご購入いただいたお客様へ』をご覧ください。

◆本文中の記載について

・本文中の画面やイラスト、ホームページは、モデルによって異なることがあります。また、実際の画面と異なることがあります。
・記載している内容は、このマニュアルの制作時点のものです。お問い合わせ先の窓口、住所、電話番号、ホームページの内容やアドレスなどが変更されている場合があります。あらかじめご了承ください。

◆周辺機器について

・接続する周辺機器および利用するソフトウェアが、各種インターフェイスに対応している必要があります。
・他社製増設機器、および増設機器に添付のソフトウェアにつきましては、動作を保証するものではありません。他社製品との接続は、各メーカにご確認の上、お客様の責任においておこなってくださるようお願いいたします。

◆イラストについて

このマニュアルでは、各モデルで操作方法に大きな違いがない場合は、HDMI/D端子が搭載されているモデルのイラストのみを掲載しています。

◆このマニュアルで使用しているソフトウェア名などの正式名称

（本文中の表記）	（正式名称）
Windows、Windows 7	Windows® 7 Starter Windows® 7 Home Premium Windows® 7 Professional
Office Personal 2010	Microsoft® Office Personal 2010
Office Home & Business 2010	Microsoft® Office Home and Business 2010
Outlook 2010	Microsoft® Office Outlook® 2010
OneNote 2010	Microsoft® Office OneNote® 2010
インターネットエクスプローラ、Internet Explorer	Windows® Internet Explorer®
Windows Media Center	Windows® Media Center
タスクバー	Windows® タスクバー
Windows Update	Windows® Update
Windows 転送ツール	Windows® 転送ツール
ファイナルパソコンデータ引越し	ファイナルパソコンデータ引越し 7 ™ ライト for NEC
ウイルスバスター	ウイルスバスター ™ 2010
Corel WinDVD AVC	Corel® WinDVD® AVC
Corel WinDVD BD	Corel® WinDVD® BD

ご注意

(1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
(2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
(3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、NEC 121コンタクトセンターへご連絡ください。落丁、乱丁本はお取り替えいたします。
(4) 当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
(5) 本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
(6) 海外NECでは、本製品の保守･修理対応をしておりませんので、ご承知ください。
(7) 本機の内蔵ハードディスクにインストールされているWindows® 7 Starter、Windows® 7 Home Premium、Windows® 7 Professional、Windows® 7 EnterpriseまたはWindows® 7 Ultimateおよび本機に添付のCD-ROM、DVD-ROMは、本機のみでご使用ください。
(8) ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。

商標について

Microsoft、Windows、Internet Explorer、Office ロゴ、Excel、OneNote、Outlook、PowerPoint は米国 Microsoft Corporation および/またはその関連会社の商標です。
インテル、Intel、Intel Coreはアメリカ合衆国およびその他の国におけるIntel Corporationまたはその子会社の商標または登録商標です。
“Blu-ray Disc”は、商標です。
HDMI、HDMIロゴ、High-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。
TRENDMICRO及びウイルスバスターは、トレンドマイクロ株式会社の登録商標です。
Corel、Corelのロゴ、WinDVD、Digital StudioはCorel Corporationおよびその関連会社の商標または登録商標です。
SDおよびminiSDロゴ、およびロゴは商標です。
miniSD™およびmicroSD™はSDアソシエーションの商標です。
“MagicGate Memory Stick”(“マジックゲートメモリースティック”)および“Memory Stick”(“メモリースティック”)、MEMORY STICK、、、MEMORY STICK PRO、MEMORY STICK DUO、“MagicGate”(“マジックゲート”)、MAGICGATE、OpenMGはソニー株式会社の商標です。
NVIDIA、NVIDIAロゴ、NVIDIA nForce、GeForceは、米国およびその他の国におけるNVIDIA Corporationの商標または登録商標です。
SmartVision、FontAvenueは、日本電気株式会社の登録商標です。
BIGLOBEはＮＥＣビッグローブ株式会社の登録商標です。
「Yahoo!」は、Yahoo!Inc.の登録商標です。
ヤフー株式会社は、これに関する権利を有しています。
DigiOn、DiXiMは株式会社デジオンの登録商標です。
MaxxBass、MaxxTreble、MaxxStereo、MaxxVolume、MaxxAudio、WAVES MAXX AUDIO はアメリカ合衆国およびその他の国々における Waves Audio ltd. の登録商標です。
ファイナルパソコン引越しおよびファイナルパソコンデータ引越しは AOS テクノロジーズ株式会社の日本における商標です。
PCMover は、米国における米国 Laplink Software 社の登録商標です。

その他、本マニュアルに記載されている会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

目次

基本編

付 録 —— 135

■輸出に関する注意事項

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠していません。
本製品を日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。
従いまして、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っていません。

本製品の輸出（個人による携行を含む）については、外国為替及び外国貿易法に基づいて経済産業省の許可が必要となる場合があります。
必要な許可を取得せずに輸出すると同法により罰せられます。
輸出に際しての許可の要否については、ご購入頂いた販売店または当社営業拠点にお問い合わせください。

■Notes on export

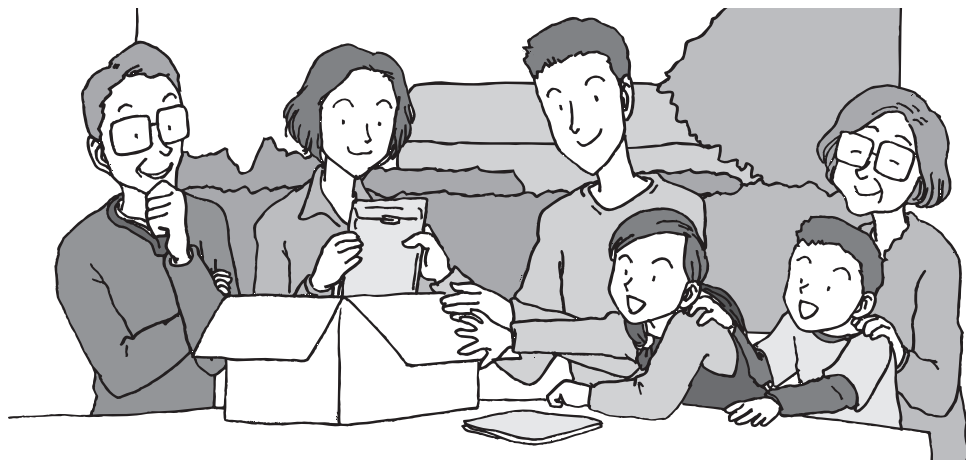
This product (including software) is designed under Japanese domestic specifications and does not conform to overseas standards. NEC*1 will not be held responsible for any consequences resulting from use of this product outside Japan. NEC*1 does not provide maintenance service nor technical support for this product outside Japan.

Export of this product (including carrying it as personal baggage) may require a permit from the Ministry of Economy, Trade and Industry under an export control law. Export without necessary permit is punishable under the said law.
Customer shall inquire of NEC sales office whether a permit is required for export or not.

*1: NEC Corporation, NEC Personal Products, Ltd.

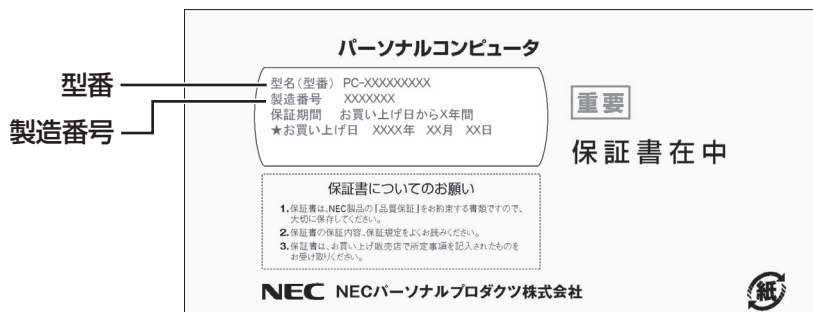
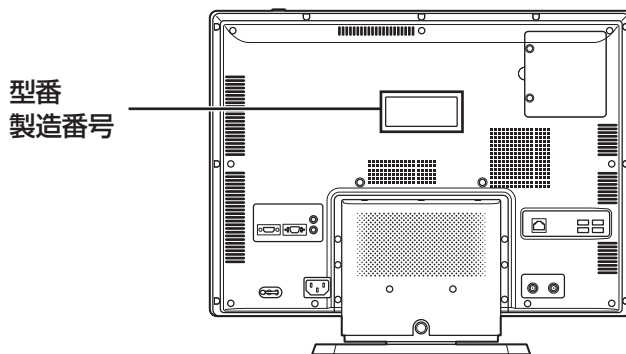
準備編

第1章

セットアップの前に

この章では、添付品の確認や電源コードの接続など、パソコンの箱を開けて電源を入れる前におこなうことについて説明します。

製品を確認する

保証書と本体のラベルの記載内容が一致していることを確認してください。

●保証書

●パソコン背面

重要

- ラベルに記載された番号が保証書と異なっている場合、NECサポート窓口（121コンタクトセンター）（p.5）にお問い合わせください。
- 保証書は、所定事項（販売店名、お買い上げ日など）が記入されていることを確認し、保管してください。
- 保証期間中に万一故障した場合は、保証書記載内容に基づいて修理いたします。保証期間終了後の修理についてはNECサポート窓口（121コンタクトセンター）にお問い合わせください。

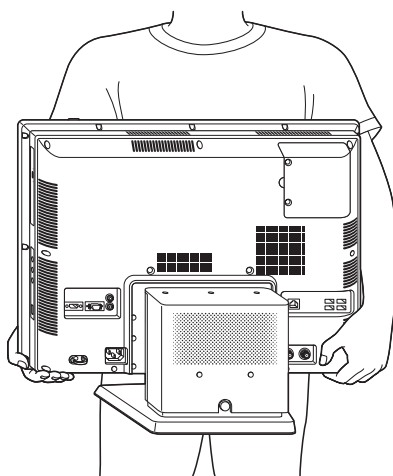
■本体の持ち運び時の注意

⚠注意

●**本体を設置したり移動したりするときは、必ず両手で本体を持ち上げてください。**
片手でスタンドなどの本体ではない部分をつかんで持ち上げてしまうと破損の原因になります。

●**本体使用中および使用直後は、通風孔部分が高温となっていることがありますので触れないでください。**
やけどの原因になることがあります。電源を切った後、しばらくたってから持ち運びをしてください。

■本体の持ち運び方

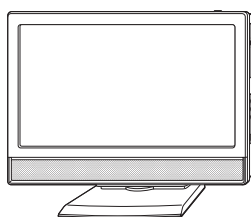
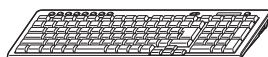
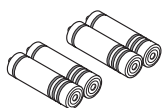
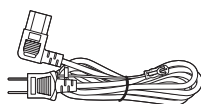
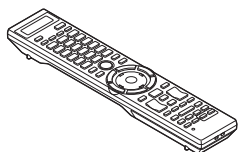
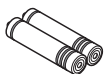
このパソコンを持ち運ぶときは、次のイラストのように両手で持ち運んでください。

重要

・設置場所を変えるときなど、パソコンを設置した後で持ち運ぶ際は、かならずパソコンの電源を切って、電源コードや周辺機器などのケーブルをすべて取り外してから持ち運んでください。
・パソコンを運ぶときにはディスプレイを一番低い位置まで下げ、運搬用ロックボタンを押してディスプレイの高さ調節機能をロックしてから運んでください。

ディスプレイの高さを調節する
▶「ディスプレイの高さ調節」(p.9)

添付品を確認する

・ 次のチェックリストを見ながら、添付品がそろっているかを確認してください。
・ VALUESTAR Gシリーズをご購入の場合は、『VALUESTAR Gシリーズをご購入いただいたお客様へ』をご覧になり、添付品を確認してください。

●全モデル共通

□ パソコン本体
□ キーボード
□ マウス
□キーボード、マウス用乾電池(単3形×4本)
□ アース付き電源コード
□ リモコン
□ リモコン用乾電池(単3形×2本)
□ B-CASカード
※ 台紙に貼り付けられています。

●マニュアルなど

□ ソフトウェアのご使用条件(お客様へのお願い)／ソフトウェア使用条件適用一覧
※ 1枚になっています。
箱の中身を確認後必ずお読みください。
□ 安全にお使いいただくために
※ 箱の中身を確認後必ずお読みください。
□ デジタル放送録画番組配信機能をお使いのお客様へ
□ PC修理チェックシート
□ 準備と基本(このマニュアル)
□ トラブルの予防と解決
□ BS・110度CSデジタル放送パンフレット／加入契約申込書
□ テレビを楽しむ本
□ ひかりTVを楽しむ本

●「Microsoft® Office Home and Business 2010」の添付品

□ 「Microsoft® Office Home and Business 2010」のパッケージ

●**PC-VW970CSのみ**

□ 3Dメガネ(偏光板方式)※

※本製品に添付されている3Dメガネは、NECパーソナルプロダクツ(株)が指定するパソコンとの組み合わせで使用する3D専用メガネです。

□ 3D対応モデルをご購入いただいたお客様へ

■添付品が足りないときは

万一、足りないものがあったり、添付品の一部が破損していたときは、すぐに下記までお問い合わせください。

●**NECサポート窓口(121(ワントゥワン)コンタクトセンター)**

フリーコール 0120-977-121

※電話番号をよくお確かめになり、おかけください。
※携帯電話やPHS、もしくはIP電話など、上記電話番号をご利用いただけないお客様は次の電話番号へおかけください。
03-6670-6000(通話料お客様負担)

NECサポート窓口(121コンタクトセンター)の詳しい情報は『トラブルの予防と解決』第5章の「NECのサポート窓口に電話する」をご覧ください。

■「電子マニュアルビューア」について

このパソコンのマニュアルは、NECパーソナル商品総合情報サイト「121ware.com」の「電子マニュアルビューア」でご覧いただくこともできます。また、「電子マニュアルビューア」では、ご購入時以降のさまざまな情報に対応した、最新のマニュアルをご覧いただける場合もあります。

「電子マニュアルビューア」はインターネットに接続後、次のURLからご利用いただけます。
http://121ware.com/e-manual/m/nx/index.htm

パソコンの置き場所を決める

ここでは、パソコンを設置する場所について説明します。

■パソコンを設置する場所

パソコンは次のような場所に置いてください。

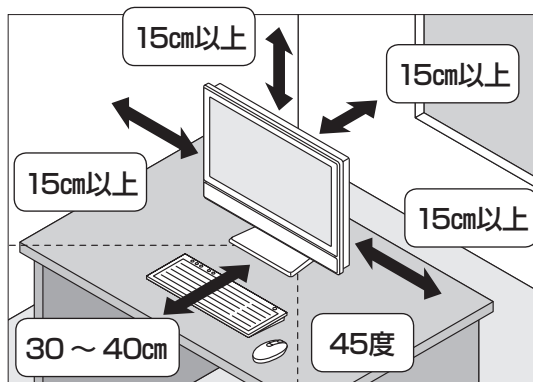
- **屋内**
- **しっかりした台の上**
  パソコンの重さを支えられる机やテーブルの上に設置してください。
  音の響きやすい台に設置すると、パソコンの振動が台に伝わり、まれに低い振動音が聞こえることがあります。 このような場合は設置場所を変更していただくか、パソコンの下に緩衝材を敷くことで、振動音を軽減できます。
- **温度は10 ～ 35℃、湿度は20 ～ 80%**
- **ほこりの少ない場所**
- **コンセントや電話回線の近く**
  本体や周辺機器に接続した電源コード、LANケーブルなどが届く範囲に設置してください。

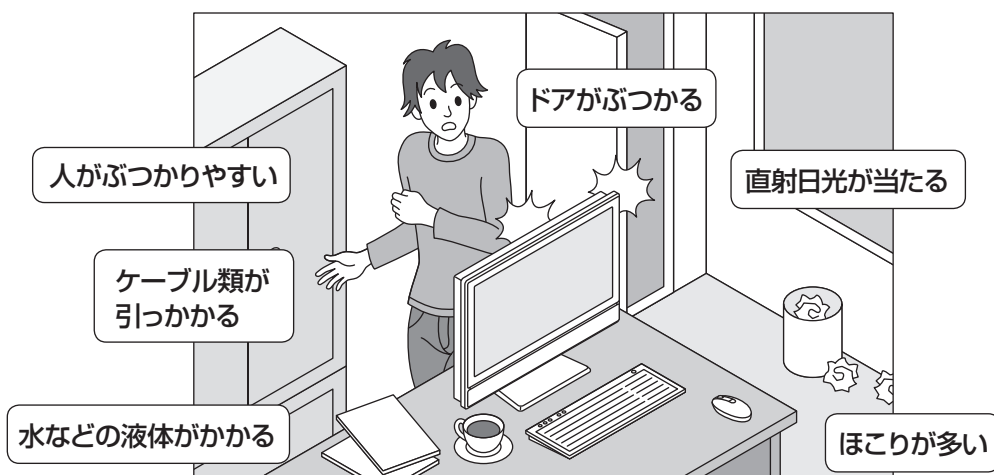
パソコンの周囲のスペースについて

快適に操作するため、また、機器の故障を防ぐため、パソコンの周囲にはスペースを確保してください。

- **本体前に30 ～ 40cm**
  キーボードを置いて、マウスを操作できるスペースが必要です。キーボードとマウスは、パソコン本体から45度の範囲で使用することをおすすめします。
- **本体上面および後ろ側に15cm以上**
  本体上面と背面の通風孔から放熱しています。壁などから15cm以上離して設置してください。
- **本体側面に15cm以上**
  DVD/CDドライブを使用するため、および通風孔の放熱を妨げないように15cm以上の空間を確保してください。

●通風孔について

パソコン本体の通風孔を紙などでふさがないようにしてください。通風孔をふさいだまま使用すると、内部の温度が上昇して故障などの原因になります。

■パソコンを設置してはいけない場所

故障などの原因になるため、次のような場所には置かないでください。

パソコンの近くに置いてはいけないものについて

次のものはパソコンの近くに置かないでください。

●磁気や電波を発生するもの

パソコンの近くに磁気や電波を発生するもの(テレビ、ラジオ、スピーカ、コードレス電話、携帯電話など)を置くと、パソコンのディスプレイの映像が乱れたり、スピーカから雑音が出ることがあります。また、これらの機器とパソコンは相互に影響を与えるため、逆にテレビの映像が乱れたり、ラジオやコードレス電話から雑音が出ることもあります。

扇風機や温風式こたつなども磁気を発生するため、パソコンの近くには置かないでください。

●熱を発生するもの

パソコンの近くに暖房機などを置くと、熱によってパソコンが変形したり異常な動作をすることがあります。

■その他、設置に関するご注意

●コンセントについて

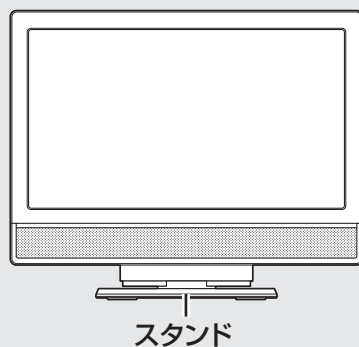
・テレビやラジオのコンセントとは、別のコンセントに接続してください。同じコンセントに接続するとテレビやラジオから雑音が出ることがあります。
・電源コードはできるだけ直接コンセントに接続してください。コンセントが足りず、パソコン用のテーブルタップを使うときは、テーブルタップの許容電力を守ってください。
・アース線を接続できるよう、アース端子のついたコンセントに接続してください。アース端子についてはお近くの電器店などにご相談ください。

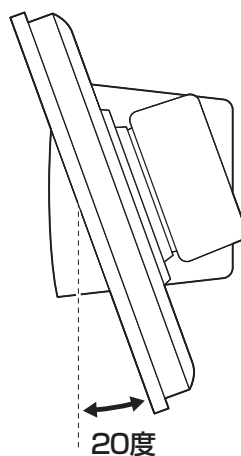
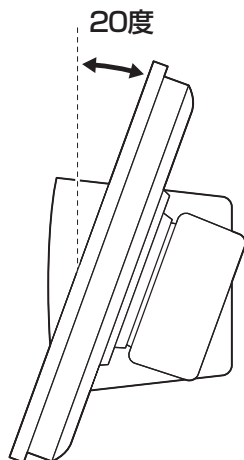
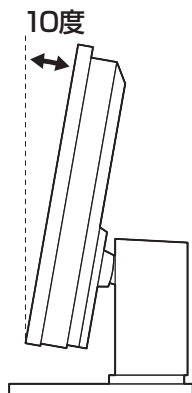
●ケーブルについて

ケーブルを引っかけて機器を落とさないようにしてください。小さなお子様がいるご家庭では特にご注意ください。

■ディスプレイの角度調節

このパソコンのディスプレイ部分は、角度を調節できます。

本体の転倒防止のため、かならず両手を使ってスタンドやディスプレイ部分を押さえてから角度調節をおこなってください。

●本体左側および本体右側に20度

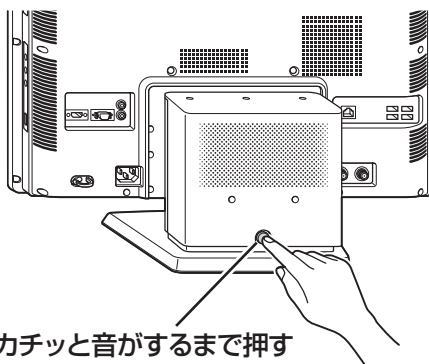
上から見たところ

●本体後ろ側に10度

■ディスプレイの高さ調節

このパソコンのディスプレイ部分は高さを調節できます。

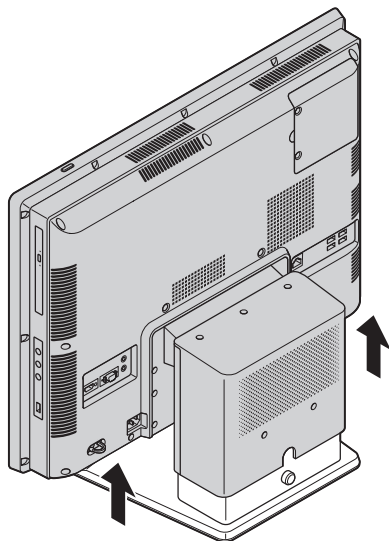
ディスプレイの高さを調節する

ご購入時は高さ調節機能がロックされています。運搬用ロックボタンを押してロックを解除することで高さ調節が可能になります。調節は次の手順でおこないます。

重要

- 高さの調節は電源を入れる前におこなってください。
- 運搬用ロックボタンはパソコン本体を設置あるいは移動させる際に一番低い位置で固定するためのものです。それ以外の高さでは固定できません。

1 運搬用ロックボタンをカチッと音がするまで押す

運搬用ロックボタンが 解除 の状態になります。

2 両手でディスプレイ部分を持って、パソコンに衝撃が加わらないようゆっくりとディスプレイの高さを調節する

高さ調節機能をロックする

高さ調節機能はディスプレイが一番低い位置にあるときのみロックできます。本体を移動させる場合には次の手順で高さ調節機能をロックしてください。

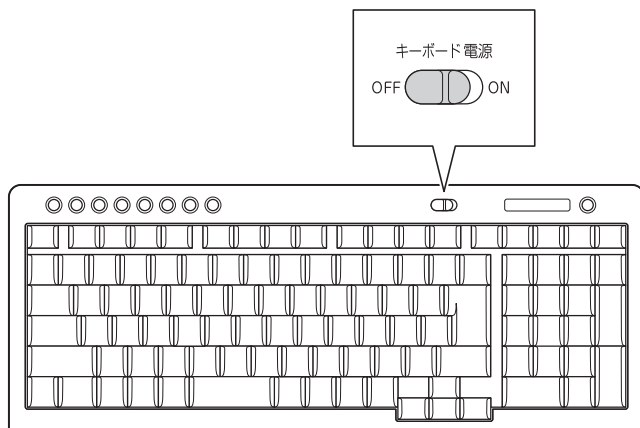
1 ディスプレイを一番低い位置まで下げる

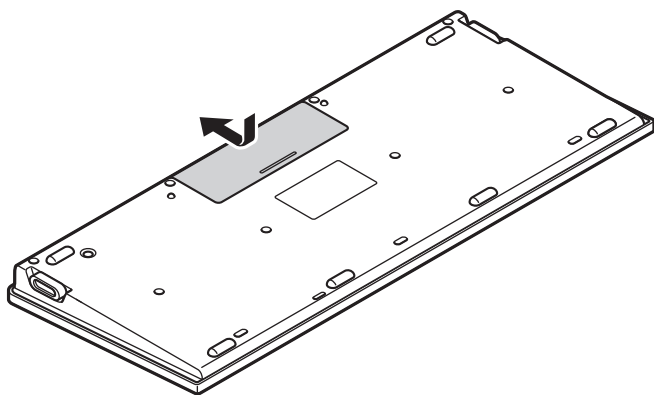
2 運搬用ロックボタンをカチッと音がするまで押す

運搬用ロックボタンが ロック の状態になります。

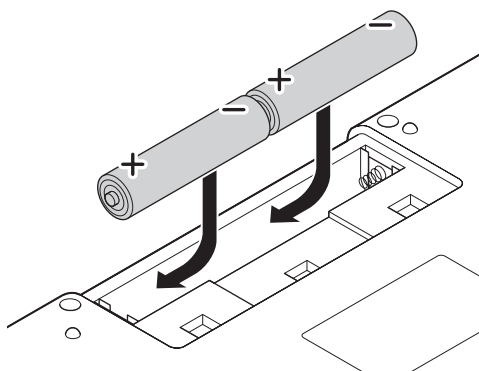
キーボードを使う準備をする

1 キーボード右上のキーボード電源スイッチを「OFF」にする

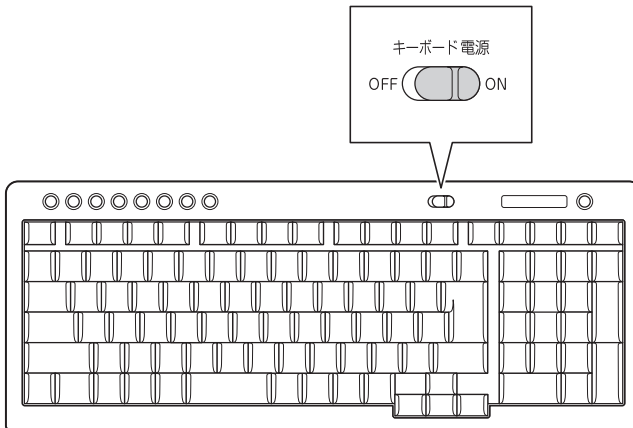
キーボード電源スイッチを左にスライドし、「OFF」になっているか確認してください。

2 キーボード裏面のカバーを外す

矢印の方向にカバーをスライドさせてください。

3 乾電池を入れる

単3形アルカリ乾電池、またはニッケル水素充電池を2本入れます。入れたら電池カバーをもとどおりにはめてください。

重要

- 乾電池の＋(プラス)と－(マイナス)の向きを、電池ボックス内の表示どおりに入れてください。
- ご使用の環境や方法にもよりますが、キーボードの電池寿命は、アルカリ乾電池で連続使用した場合、最大約1000時間です。
- マンガン乾電池、オキシライド乾電池は使用できません。

4 キーボード右上のキーボード電源スイッチを「ON」にする

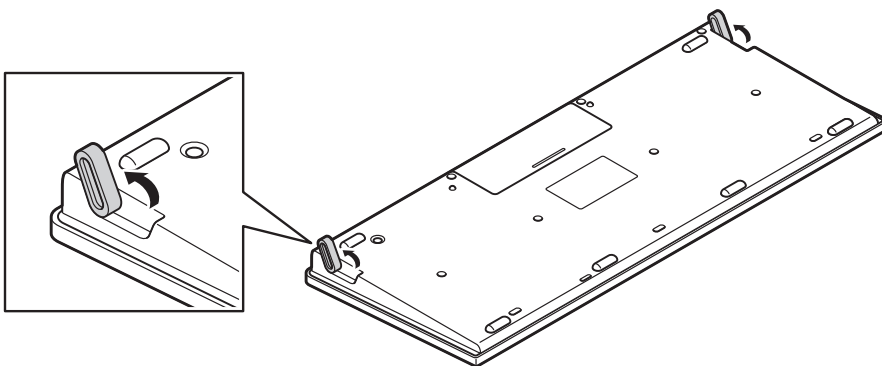
キーボード電源スイッチを右にスライドし、「ON」にしてください。

重要

キーボードを長時間使わないときは、キーボード右上のキーボード電源スイッチを「OFF」にしておくと、乾電池が長持ちします。

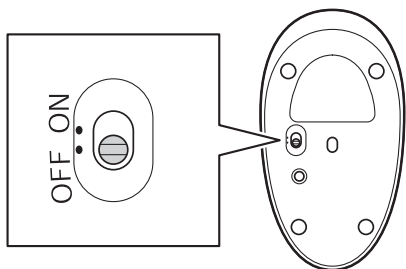
参考

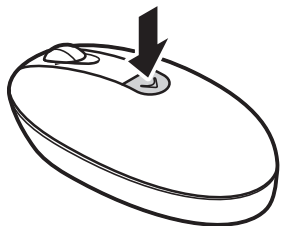
キーボードがうまく動作しないときは、付録の「キーボードやマウスを登録しなおす」(p.139)をご覧ください。

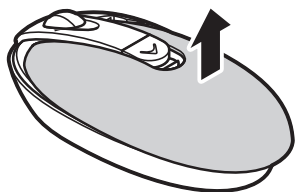
■キーボードの足を立てる

お好みでキーボードの足を立てて使うこともできます。

マウスを使う準備をする

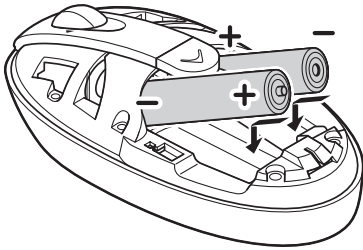
1　マウス底面のON/OFFスイッチを「OFF」にする

マウス底面のON/OFFスイッチを下にスライドし、「OFF」になっているか確認してください。

2　マウス上面のボタンを押す

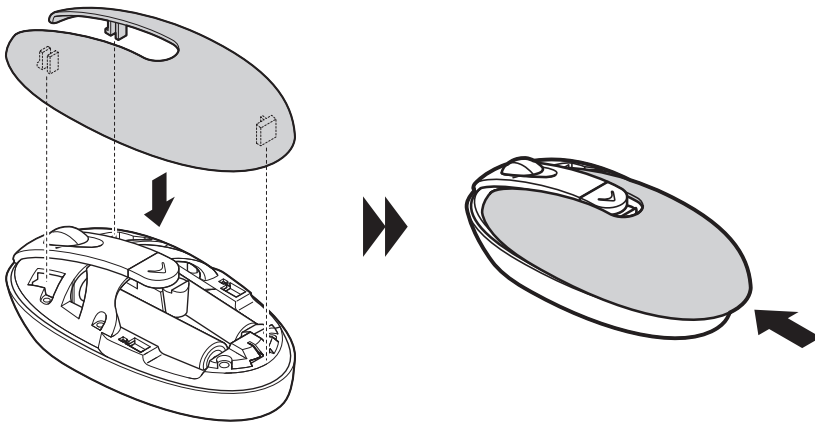
カバーのロックが外れます。

3　カバーを外す

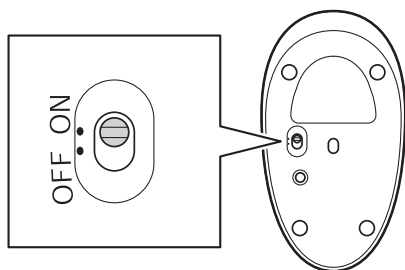
カバーを上に持ち上げて外します。

4 乾電池を入れる

図のように、単3形アルカリ乾電池、またはニッケル水素充電池をマウスの前方に向けて押し込んでから、後方を端子に合わせて入れてください。

重要

- 乾電池の＋(プラス)と－(マイナス)の向きを、電池ボックス内の表示どおりに入れてください。
- マウスの後方の端子が変形しないように乾電池を入れてください。
- マンガン乾電池、オキシライド乾電池は使用できません。

5 カバーをもとどおりはめる

カバーのツメが穴に入るようにはめこみ、マウスの前方に向かってカチッと音がするまでスライドさせてください。

6 マウス底面のON/OFFスイッチを「ON」にする

マウス底面のON/OFFスイッチを上にスライドし、「ON」にしてください。

重要

- レーザーが出ている穴の部分を見つめると、視力に障害が起こる可能性があるので見つめないように注意してください。
- マウスの電池寿命は、ご使用の環境や方法にもよりますが、連続して操作した場合、最大約150時間です。
- マウスを長時間使わないときは、マウス底面のON/OFFスイッチを「OFF」にしておくと、乾電池が長持ちします。

参考

マウスがうまく動作しないときは、付録の「キーボードやマウスを登録しなおす」(p.139)をご覧ください。

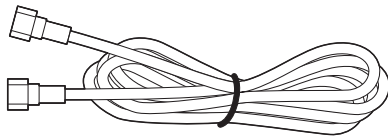
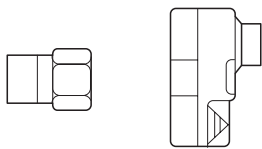
テレビを見るための準備

ここでは、このパソコンをテレビのアンテナに接続するためのケーブルや機器類、テレビを受信するための環境、および、ご自宅の受信環境に合わせたアンテナへの接続方法など、テレビを見る前に知っておいていただきたいことについて説明しています。
ここでの説明をお読みいただいてから、「アンテナケーブルを接続する」(p.23)に進んでください。

■テレビを見るために用意していただくもの

次のものは本機に添付されておりません。必要に応じて市販のものを用意してください。

●必ず用意していただくもの

・F型コネクタ付きアンテナケーブル

F型コネクタには、ネジタイプのものと箱型のものがあります。パソコンのアンテナ端子にはネジタイプのプラグを取り付けてください。

ネジタイプ　　箱型

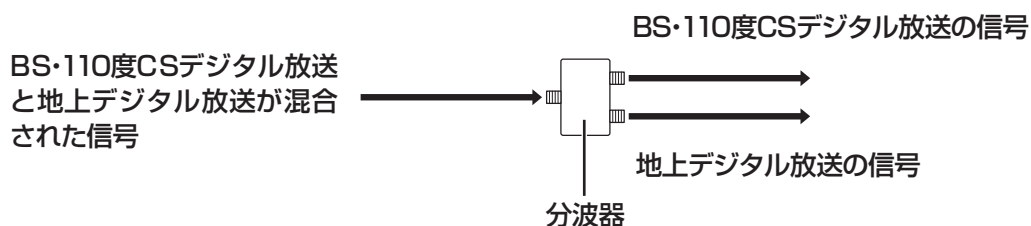
・プラスドライバー
本体背面のカバーを取り外すときに使います。ドライバーの代わりに10円硬貨などのコインを使うこともできます。

●必要に応じて用意していただくもの

ここでは代表的なものについてご紹介します。受信環境によって使用するものが異なります。たとえばBS・110度CSデジタル放送用アンテナに電源を供給する場合に、電流通過型の機器が必要になる場合があります。ご不明な点についてはお近くの電器店にご相談ください。

・分波器

複数の信号がまとめて送られている信号線(アンテナ線)から、それぞれの信号を分けて出力する機器です。地上デジタル放送とBS・110度CSデジタル放送の信号が、ひとつのアンテナ端子にまとめて供給されているとき、必要になります。まとめて供給されている場合、本機へ接続するときには分波器を使って地上デジタル放送(UHF)とBS・110度CSデジタル放送に分けてから接続してください。

例

・分配器

1つの受信電波を複数のテレビ(またはテレビを搭載したパソコンなど)に分配する機器です。

・混合器

複数の放送電波を1本のアンテナ線に混合してまとめる機器です。

・ブースター

受信した電波が弱いとき、増幅する機器です。

・アッテネーター

受信した電波が強すぎるとき、減衰する機器です。

■テレビを受信するためには

地上デジタル放送を受信するためには

地上デジタル放送はUHFで放送されています。視聴するためには次のことを確認してください。

TVをケーブルTVで見ていますか?

見ている → ▶「ケーブルテレビをご利用の場合」(p.22)

見ていない ↓

すでにTVなどで地上デジタル放送を見ていますか?

見ている → 地上デジタル放送を視聴できます。
アンテナケーブルの接続状態によっては電波を強めたり、分けたりすることが必要になります。

見ていない ↓

お住まいは集合住宅ですか?戸建て住宅ですか?

集合住宅 → ▶「集合住宅にお住まいの場合」(p.22)

戸建て住宅 ↓

お住まいにUHFアンテナは立っていますか?

立っていない → 地上デジタル放送に対応したUHFアンテナを設置する必要があります。

立っている ↓

地上デジタル放送を視聴できます。必要に応じて地上デジタル放送に対応したUHFアンテナを設置したり、すでに立っているUHFアンテナの方向を調節してください。

アンテナの設置や状態など、ご不明な点についてはお近くの電器店にご相談ください。

セットアップの前に

BS･110度CSデジタル放送を受信するためには

●BS･110度CSデジタル放送に対応したアンテナが正しく設置されていること
BS･110度CSデジタル放送に対応した衛星アンテナが必要です。
また、アンテナが衛星に向けて設置されている必要があります。

※ 従来のBS･110度CSアナログ放送用のアンテナでは、受信できないことがあります。

●有料放送については申し込みが済んでいること
有料放送は、視聴するための申し込みが必要です。

アンテナの状態など、ご不明な点についてはお近くの電器店にご相談ください。

視聴できない放送について

地上アナログ放送を視聴することはできません。
ケーブルテレビでは、BS･110度CSデジタル放送を視聴することはできません。

■アンテナケーブルの接続前に確認すること

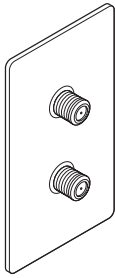
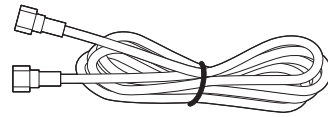
地上デジタル放送やBS･110度CSデジタル放送の信号の供給方法によって、アンテナの接続方法は異なります。
接続する前に、ご自宅のアンテナの接続状態を確認してください。

・ ここでは一般的な接続例について説明しています。テレビのご利用環境によって、ご用意いただくもの(ケーブル、分波器、分配器など)が異なります。
・ 集合住宅にお住まいのかたやケーブルテレビをご利用のかたは必要に応じて、「その他のご注意」(p.22)もあわせてご覧ください。
・ 使用するケーブルなど、ご不明な点についてはお近くの電器店にご相談ください。

■ご家庭のアンテナ端子について

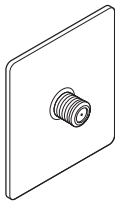
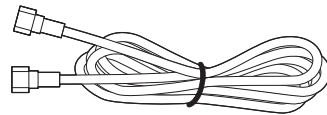
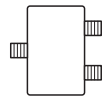
一般的なご家庭では、屋外のアンテナからの信号線やケーブルテレビの信号線が、屋内の壁に取り付けられたアンテナ端子に接続されています。
信号線の接続方法によって、地上デジタル放送とBS･110度CSデジタル放送の信号が、個別のアンテナ端子に供給されている場合と、ひとつのアンテナ端子にまとめて供給されている場合があります。

壁側のアンテナ端子が2つの場合

BS･110度CSデジタル放送のアンテナ端子および地上デジタル放送のアンテナ端子

接続に使うもの

F型コネクタ付きアンテナケーブル

※ 建物によってはこれ以外の形のアンテナ端子が設置されていることもあります。

壁側のアンテナ端子が1つの場合

BS･110度CSデジタル放送と地上デジタル放送が混合されたアンテナ端子

接続に使うもの

F型コネクタ付きアンテナケーブル　分波器

※壁側のアンテナ端子に地上デジタル放送の信号だけが供給されている場合は、分波器は必要ありません。

重要

- アンテナ端子の状況など、ご不明な点についてはお近くの電器店にご相談ください。
- アンテナ端子が1つの場合、地上デジタル放送の信号だけ供給されていたり、BS･110度CSデジタル放送の信号だけ供給されている場合があります。ご家庭のアンテナ端子がどの放送波に対応しているかをご確認の上、接続をおこなってください。

壁側のアンテナ端子を確認したら、「アンテナケーブルを接続する」(p.23)に進んでください。

■その他のご注意

集合住宅にお住まいの場合

マンションなどの集合住宅にお住まいの場合は、次の点にご注意ください。

・ 地上デジタル放送やBS・110度CSデジタル放送を受信できるかどうか、管理組合や管理会社にご確認ください。

・ 共聴受信の場合は、「ご家庭のアンテナ端子について」(p.20)の「壁側のアンテナ端子が1つの場合」の説明にしたがって接続してください。なお、お住まいの集合住宅の受信形態によってはテレビが受信できない場合があります。詳しくは、集合住宅の管理者かお近くの電器店にご相談ください。

ケーブルテレビをご利用の場合

ケーブルテレビをご利用の場合は、次の点にご注意ください。

・ ケーブルテレビ事業者が次のいずれかで地上デジタル放送を再配信しているときは、地上デジタル放送を視聴することができます。
  ・ 同一周波数パススルー方式
  ・ 周波数変換パススルー方式
  これら以外の方式の場合は、地上デジタル放送が視聴できません。お近くの電器店などにご相談ください。

・ ケーブルテレビ事業者により、視聴制限(スクランブル)を設定されたチャンネルは受信できません。

・ ケーブルテレビで受信可能な放送については、ケーブルテレビ局にお問い合わせください。

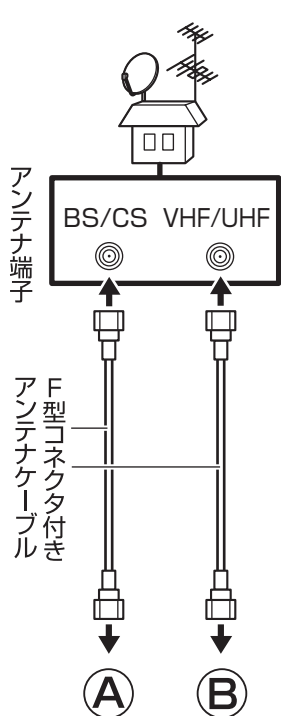
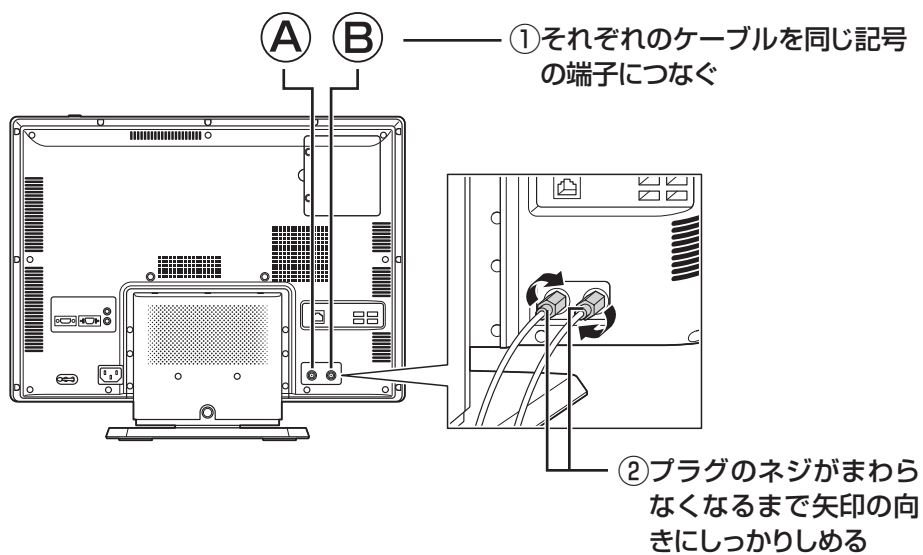
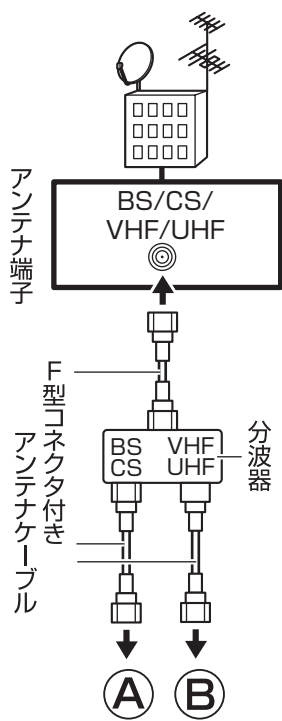
・ ケーブルテレビ用端末機器(セットトップボックスやホームターミナルなど)をお持ちの場合は、端末機器の端子※とこのパソコンの地上デジタルアンテナ端子を接続してください。
  ※端末機器によって、「分配出力」、「CATV(下り)」、「UHF出力」などの名称になっています。端末機器に添付されているマニュアルをご覧ください。

・ アンテナ線や受信環境について詳しくは、ケーブルテレビ局、またはお近くの電器店にご相談ください。

アンテナケーブルを接続する

ここでは、このパソコンにアンテナケーブルを接続する手順について説明します。
あらかじめ、「テレビを見るための準備」(p.17)をお読みいただき、接続に使用するケーブルや機器類、テレビを受信するための環境、および、ご自宅の受信環境に合わせたアンテナの接続方法を確認してください。

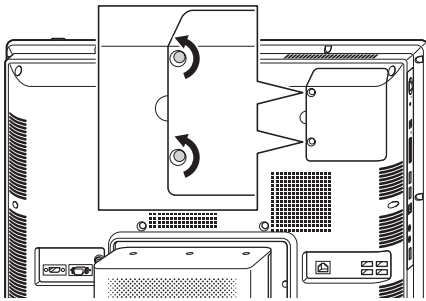
■アンテナケーブルを接続するときのご注意

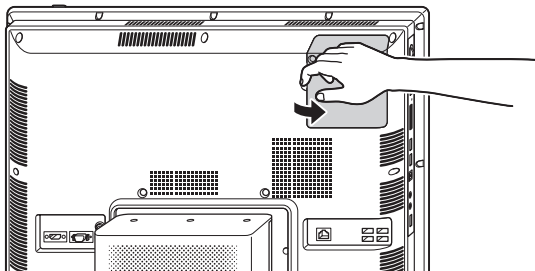
・ プラグのネジは、まわらなくなるまでしっかりしめてください。
・ アンテナケーブルを接続するときや取り外すときは、パソコンの電源が入っていないことを確認してから作業をおこなってください。
・ 壁側のアンテナ端子がひとつで、BS/CS/VHF/UHFの放送波が混合されている場合、「●壁側のアンテナ端子が1つの場合」(次ページ)を参照し、必ず分波器を接続してください。分波器を接続しないと、テレビの映像が乱れることがあります。

アンテナケーブルを接続したら、「B-CASカードをセットする」(p.25)に進んでください。

B-CASカードをセットする

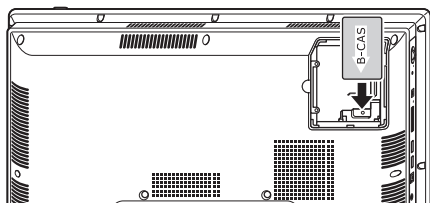
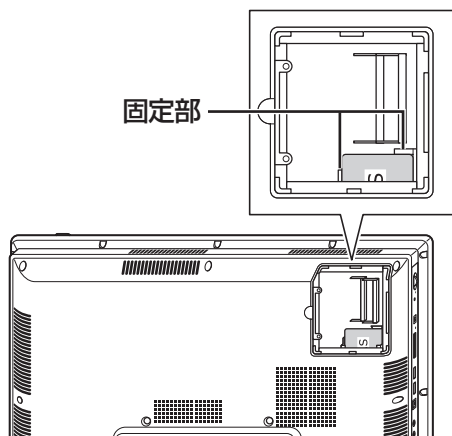
ここでは、このパソコンにB-CASカードをセットする手順について説明します。

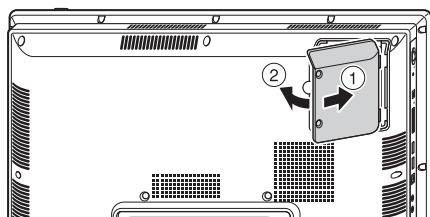
B-CASカードをセットするときや取り外すときは、パソコンの電源が入っていないことを確認してから作業をおこなってください。

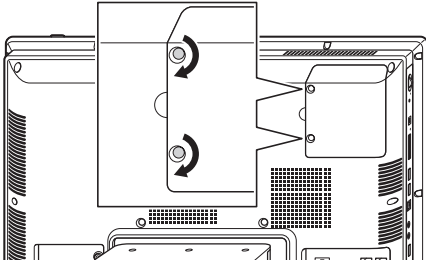
1 B-CASカードカバーのネジをゆるめて取り外す

取り外したネジは、なくさないようご注意ください。

2 B-CASカードカバーのミゾに指をかけ、手前に引き上げて取り外す

3 B-CASカードをセットする

B-CASカードの向きに注意してセットしてください。B-CASカードスロットには、B-CASカードの向きを示す刻印が付いています。

「B-CAS」の印刷面を手前にして、B-CASカードをセットしてください。

B-CASカードを固定部に収まるように奥まで押し込み、固定します。

4 B-CASカードカバーをもとに戻す

B-CASカードカバーを図の手順で取り付けます。

5 B-CASカードカバーを固定する

取り外したネジを取り付けます。

参考

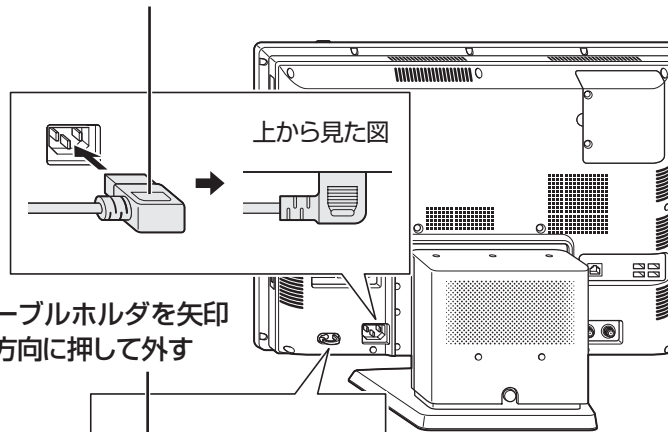
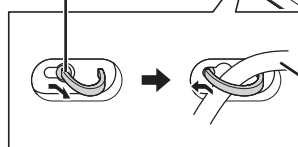
テレビをリモコンで操作する場合は、第2章「セットアップする」が完了した後に第4章の「リモコン」(p.106)をご覧になり設定してください。

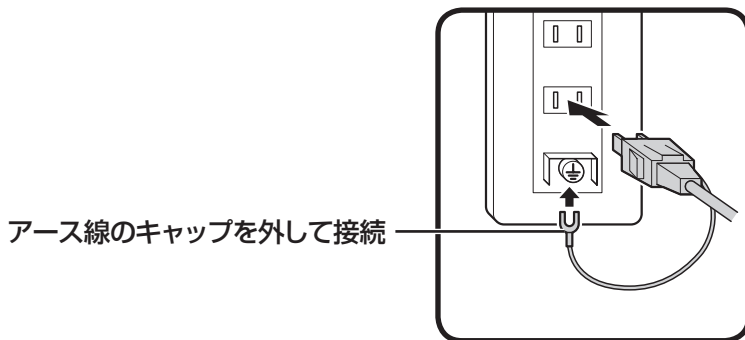
これでテレビを見るための準備は完了です。
「電源コードを接続する」(次ページ)へ進んでください。

電源コードを接続する

ここでは電源コードの接続について説明します。

アース端子付きのコンセントが利用できないときは、お近くの電器店など電気工事士の資格を持つ人にアース端子付きコンセントの取り付けをご相談ください。

1 電源コードをパソコン背面に差し込む

2 電源コードのプラグをコンセントに差し込む

アース線をアース端子に接続してから、プラグを差し込んでください。

続けてWindowsのセットアップに進んでください。

重要

・ディスプレイの高さを調節する場合は「ディスプレイの高さ調節」(p.9)をご覧になり、Windowsをセットアップする前におこなってください。

● **電源コードを外す際は**

電源コードを外す際、アース線を接続している場合は、かならず電源コードのプラグを外してからアース線を外してください。

参考

インターネットへの接続や周辺機器などの接続は、セットアップ作業が終わった後におこなってください。

これで接続は完了です。
第2章「セットアップする」に進んでください。

準備編

第2章 セットアップする

この章では、パソコンの電源を入れて最初におこなう設定(セットアップ)やセットアップ後におこなう作業、パソコンの電源を入れる/切る操作について説明します。

この章の所要時間：20～40分程度

セットアップ前の確認

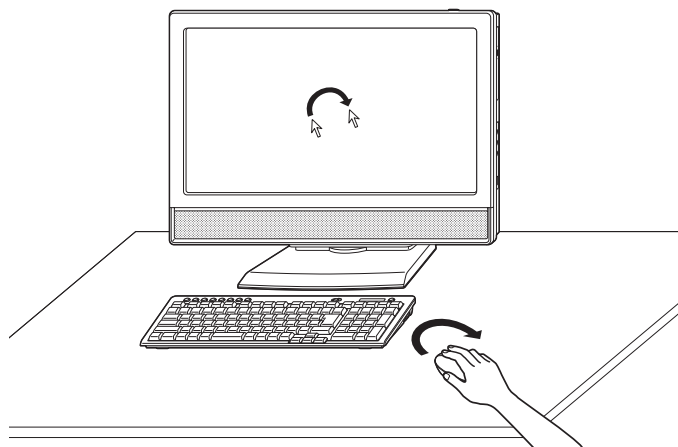
重要

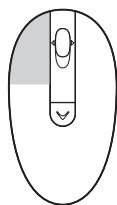
- **セットアップ中に電源を切ったり、電源コードを抜いたりしない**
  故障の原因になります。p.40の画面が表示されるまでは、電源を切ったり、電源コードを抜いたりしないでください。
- **セットアップに関係のないボタン類を操作しない**
  セットアップで使用しないボタン類を操作しないでください。

■セットアップの基本操作

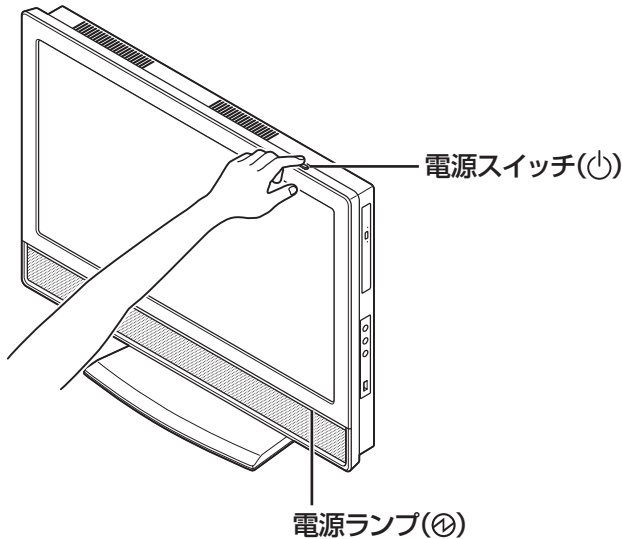
はじめてパソコンを操作するかたはご覧ください。

●画面の矢印 を動かす

マウスをつかんで机の上ですべらせると、その動きに合わせてマウスポインタを動かすことができます。

●クリック

マウスポインタを目的の位置に合わせてマウスの左ボタンを1回押す動作をクリックといいます。

Windowsをセットアップする

1 電源スイッチを押す

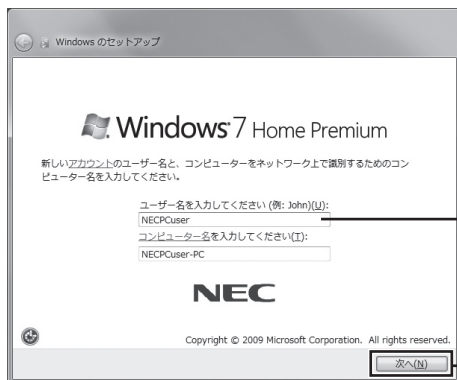
電源が入ると、電源ランプが点灯します。

重要

・ 電源スイッチを押してから、手順2の画面が表示されるまでに数分かかることがあります。その間、NECのロゴ(社名のマーク)が表示されたり画面が真っ暗になったりしますが、故障ではありません。手順2の画面が表示されるまで、電源を切らずにそのままお待ちください。
・ 手順2の画面が表示されずに、「Press F2 to Enter BIOS Setup」と表示されたときは「セットアップの画面が表示されないときは」(p.40)をご覧ください。

液晶ディスプレイのドット抜けについて

液晶ディスプレイは、非常に高精度な技術で作られていますが、画面の一部にドット抜け※(ごくわずかな黒い点や、常時点灯する赤、青、緑の点)が見えることがあります。また、見る角度によっては、色むらや明るさのむらが見えることがあります。これらは、液晶ディスプレイの特性によるものであり、故障ではありません。交換・返品はお受けいたしかねますので、あらかじめご了承ください。

※社団法人 電子情報技術産業協会(JEITA)のガイドラインにしたがい、ドット抜けの割合を「仕様一覧」または『VALUESTAR Gシリーズをご購入いただいたお客様へ』の「仕様一覧」に記載しています。
ガイドラインの詳細については、以下のホームページをご覧ください。
・「パソコン用液晶ディスプレイのドット抜けに関する定量的表記ガイドライン」
http://it.jeita.or.jp/perinfo/committee/pc/0503dot/index.html

2 半角英数字(a ～ z、A ～ Z、0 ～ 9)で任意のユーザー名を入力し、「次へ」をクリックする

重要

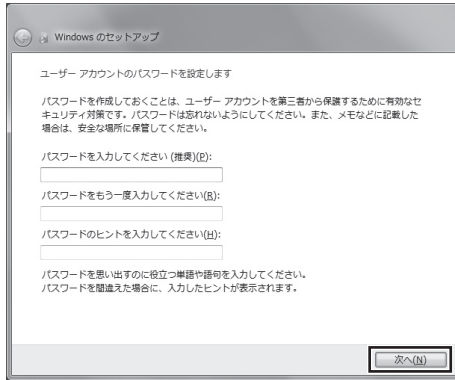
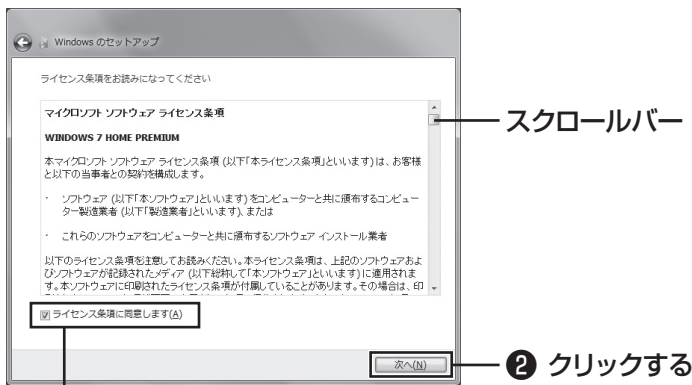
- 入力したユーザー名を次の欄に控えておいてください。
  ユーザー名:

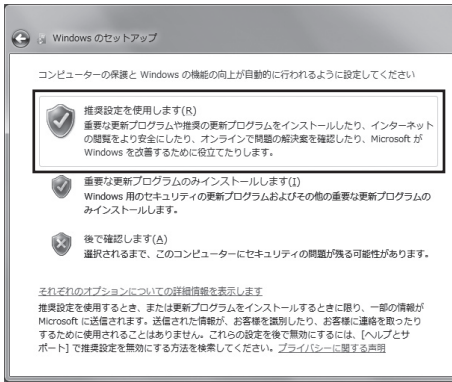
  セットアップ作業をやりなおす(再セットアップする)など、パソコンのトラブルを解決する際に必要になる場合があります。
- コンピュータ名が同じパソコン同士はネットワークで接続できません。コンピュータ名が同じパソコンがあるときは、別のコンピュータ名を入力してください。
- 次の文字列は、パソコンのシステムで使われているため、入力しないでください。
  CON、PRN、AUX、CLOCK$、NUL、COM1 ～ COM9、LPT1 ～ LPT9

参考

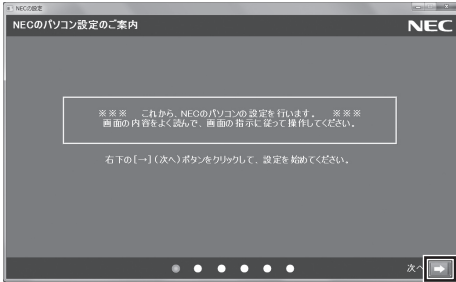
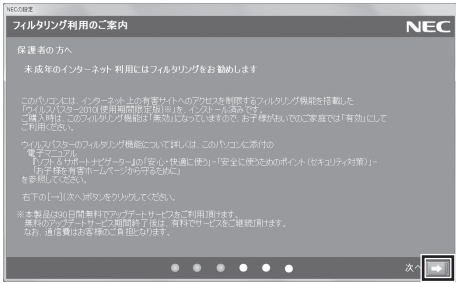
セットアップが終わってからユーザー名を追加、変更することもできます。

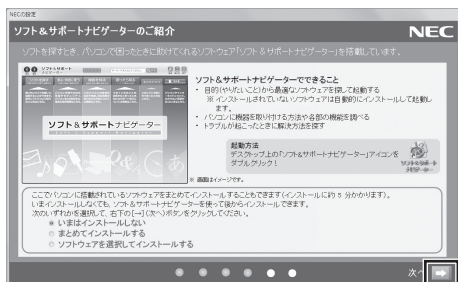
3 「次へ」をクリックする

パスワードは、ここでは入力しないでください。

4 画面の内容を確認し、「ライセンス条項に同意します」の□をクリックして☑にし、「次へ」をクリックする

画面右のスクロールバーを上下に動かすことで、表示されていない文章を読むことができます。

5 「推奨設定を使用します」をクリックする

これでWindowsのセットアップは完了です。
続けてパソコンの設定をおこないます。次ページの画面が表示されるまでそのままお待ちください。

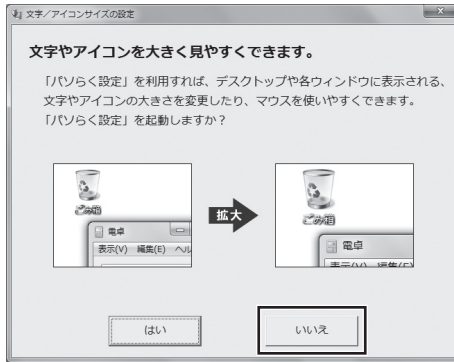
NEC独自の設定をおこなう

1 「NECのパソコン設定のご案内」が表示されたら ➡ をクリックする

2 BIGLOBE ホームページまたはYahoo! JAPANホームページのいずれかを選んで ◉ にし、➡ をクリックする

3 注意文を読んで ➡ をクリックする

4 ➡ をクリックする

参考

- はじめてパソコンを使われるかたのために、パソコンを活用するためのソフトをインストールすることもできます。画面の説明を読んで、必要に応じて「まとめてインストールする」や「ソフトウェアを選択してインストールする」の◎をクリックして◉にしてから、➡をクリックしてください。その後は画面の説明にしたがって操作してください。パソコンを活用するためのソフトは、セットアップが終わってからインストールすることもできます。
- このマニュアルより詳しい説明が「ソフト＆サポートナビゲーター」にある場合には、参照ページを記載しています。その際にはセットアップ作業終了後、「ソフト＆サポートナビゲーター」を起動してご活用ください。

しばらくするとパソコンが再起動し、手順5の画面が表示されます。

5 「いいえ」をクリックする

参考

- 文字サイズを拡大する設定をおこなう場合は、「はい」をクリックしてください。その後は画面の説明にしたがって操作してください。
- 「パソらく設定」で設定を変更すると、ソフトにより正しく表示されないことがあります。その場合は、第4章の「文字やアイコンサイズの変更」(p.95)をご覧になり、設定を変更してください。

これでセットアップは完了です。次回からは、電源スイッチを押すと、デスクトップ画面が表示されるようになります。

参考

USBコネクタに接続するタイプのマウスをご利用になる場合、USB 3.0対応コネクタ(SS⇔)に接続すると、再セットアップ、Windows修復機能の利用中にマウスを使用できません。

■セットアップの画面が表示されないときは

はじめて本機の電源を入れたときに、「Press F2 to Enter BIOS Setup」と表示された場合は、次の手順にしたがってください。

❶ **【F2】を押す**
BIOS(バイオス)セットアップユーティリティが表示されます。

❷ **【+】、【−】で時間(24時間形式)を設定し【Enter】を押す**
時刻の値は数字キーでも入力できます。

❸ **【Tab】や【↓】【↑】で項目を移動し、同様に分、秒、月、日、年(西暦)を設定する**

❹ **【F9】を押す**
セットアップ確認の画面が表示されます。

❺ **「Yes」または「OK」を選択し、【Enter】を押す**
BIOSセットアップユーティリティが表示されます。

❻ **【F10】を押す**
セットアップ確認の画面が表示されます。

❼ **「Yes」または「OK」を選択し、【Enter】を押す**
BIOSセットアップユーティリティが終了し、Windowsが自動的に再起動します。

この後は、「Windowsをセットアップする」の手順2(p.34)をご覧になり、作業を続けてください。

Windowsのパスワードを設定する

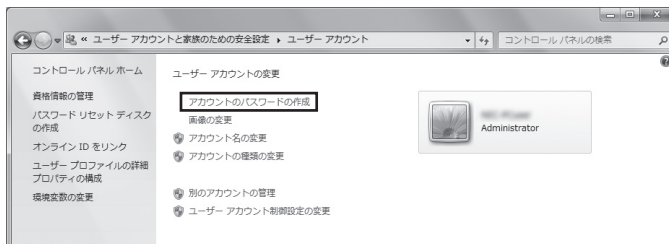
パソコン内の情報保護のため、パスワードを設定しておくことをおすすめします。
設定すると、電源を入れたときにパスワードの入力が必要になります。正しいパスワードが入力されないとパソコンを使うことができないため、第三者がパソコンを起動して情報を見ることを防ぐことができます。

■Windowsのパスワードを設定する

1 「（スタート）」-「コントロールパネル」をクリックする

2 「ユーザーアカウントと家族のための安全設定」をクリックする

3 「Windowsパスワードの変更」をクリックする

4 「アカウントのパスワードの作成」をクリックする

5 パスワードを入力する

パスワードは次のように設定してください。大文字、小文字も入力したとおりに区別されます。

参考

・入力したパスワードは「●●●」のように表示されます。これは、他人に見られてもわからないようにするためです。
・「パスワードのヒントの入力」欄に、パスワードを思い出すためのヒントを入力しておくことができます。パスワードを正しく入力できない場合にヒントを表示することができます。

これでWindowsのパスワードの設定は完了です。 [x] をクリックして画面を閉じてください。

パスワードを忘れたときのために

パスワードを忘れてしまうと、パソコンを使うために再セットアップが必要になります。万一に備えて「パスワード リセット ディスク」を作成しておきましょう。「パスワード リセット ディスク」を使うと新しいパスワードを作成することができます。「パスワード リセット ディスク」について詳しくは、「スタート」-「ヘルプとサポート」をご覧ください。

この後の操作について

続いて次の作業についての説明をご覧になり、設定をしてください。
ここでいったんパソコンを終了したいかたは「パソコンを終了する」(次ページ)をご覧ください。

参照

・インターネットの設定をおこなう、「ひかりTV」を利用する
▶「第3章 インターネットを始める」(p.55)

・テレビの設定をおこなう
▶『テレビを楽しむ本』

またパソコンをさらに安心・快適に使うためのいろいろな設定や作業について説明しています。ぜひご覧ください。

ソフトの探し方について知る
▶「ソフトを探す」(p.47)

トラブルのための対策をとる
▶「トラブル対策をする」(p.51)
または
▶『トラブルの予防と解決』の「第1章 トラブルの予防」

古いパソコンからデータや周辺機器を移行する
▶「パソコンを買い替えたかたへ」(p.52)

3D画像や3D映像を楽しむ(3D対応モデルのみ)
▶『3D対応モデルをご購入いただいたお客様へ』

パソコンを終了する

画面の操作で電源が切れないときなど緊急の場合を除き、通常はマウスを使ってパソコンを終了してください。電源スイッチで終了しないでください。

■パソコンの電源を切る

1 「スタート」-「シャットダウン」をクリックする

画面が暗くなり、電源ランプが消灯します。これでパソコンを終了することができました。

再びパソコンを使い始める場合

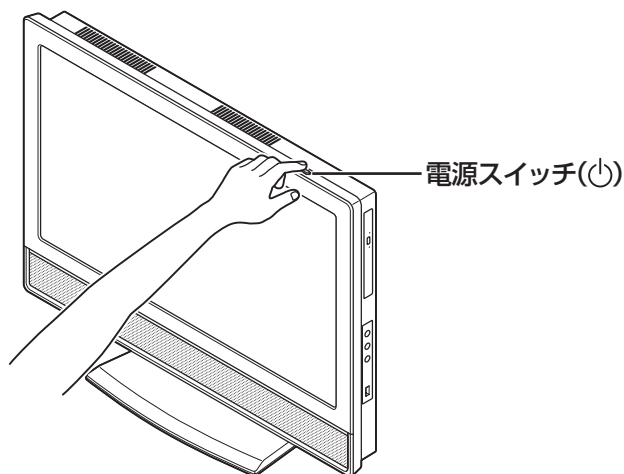
▶「パソコンを使い始める」(次ページ)

セットアップする

パソコンを使い始める

いったん電源を切ってから電源を入れなおすときは、電源が切れてから5秒以上待って電源スイッチを押してください。

■パソコンの電源を入れる

1　電源スイッチを押す

パスワードを設定している場合は、パスワードを入力するための画面が表示されます。パスワードを入力し、➡をクリックしてください。
しばらくするとデスクトップ画面が表示され、パソコンを使い始めることができます。

ソフトを探す

「ソフト＆サポートナビゲーター」を使うと、目的に合ったソフトを探して、起動することができます。
このパソコンでは、ハードディスクに入っていてもインストールされていないソフトは「スタート」メニューからも探すことができない場合があります。その場合にも「ソフト&サポートナビゲーター」を使うことで、ソフトを探して自動的にインストールしてから起動できます。

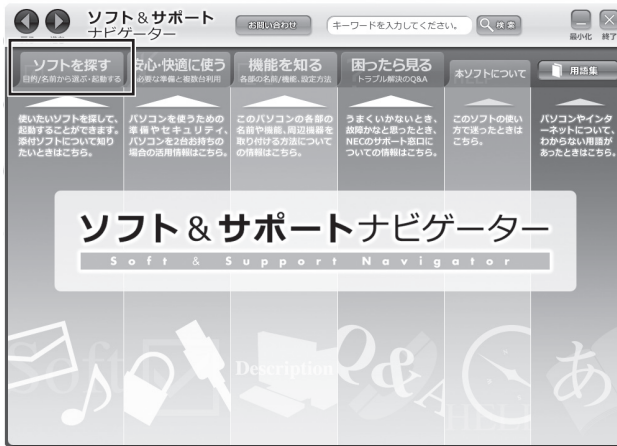
■ソフトを探して起動する

ここでは、例としてパソコンの使い方を学べるソフト「パソコンのいろは3」を探して起動します。

1 タスクバーの（ソフト&サポートナビゲーター）アイコンをクリックする

（ソフト＆サポートナビゲーター）アイコンをクリックする

「ソフト&サポートナビゲーター」の最初の画面が表示されます。

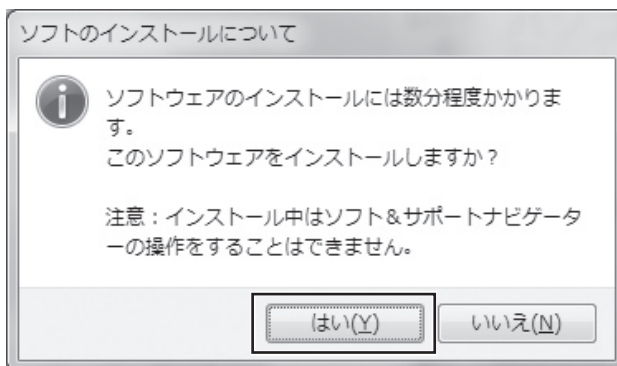
2 「ソフトを探す」をクリックする

3 「ゲーム・学習」をクリックし、「パソコンの基本操作を学ぶ」をクリックする

4 「ソフトを起動」をクリックする

重要

- ソフト名の下に「インストール済み」と表示されているソフトの場合
  →「ソフトを起動」をクリックするとすぐにソフトが起動します。

- ソフト名の下に「未インストール」と表示されているソフトの場合
  →ハードディスクに入っていてもインストールされていないソフトです。「ソフトを起動」をクリックしてインストールしてから起動します。

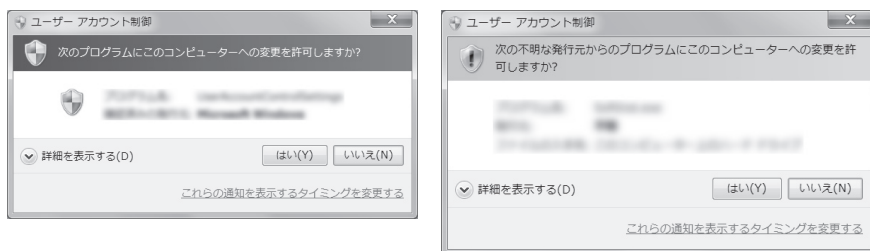
5 「はい」をクリックする

「ユーザー アカウント制御」が表示されます。

6 「ユーザー アカウント制御」が表示されたら「はい」をクリックする

インストールが開始されます。
インストールが終了すると、自動的に「パソコンのいろは3」が始まります。
これで「パソコンのいろは3」を起動することができました。
「パソコンのいろは3」を終了するには、画面右下に表示されている「終了」をクリックしてください。画面中央に確認の画面が表示されるので、「終了します」をクリックしてください。

次からは「ソフトを起動」をクリックしても、インストール作業なしにソフトを起動できます。また「スタート」メニューからも起動できます。

■ユーザー アカウント制御について

Windowsには、ユーザーの操作やプログラムの実行を監視し、処理を続行する前に画面を表示してユーザーの許可を求める「ユーザー アカウント制御」機能があります。
ソフトを起動したり、操作しているときに、次のような「ユーザー アカウント制御」画面が表示されることがあります。

※プログラムによっては、メッセージが異なることがあります。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示されたときは、操作やプログラムの内容をよく確認し、「はい」をクリックしてください。不正なアクセスやウイルスなどによって、悪意のある操作やプログラムの実行がおこなわれようとしたとき、キャンセルすることで被害を防げることがあります。
「標準ユーザー」でパソコンを使用しているときは、「ユーザー アカウント制御」画面で「管理者」のユーザーのパスワードを入力する必要があります。

トラブル対策をする

パソコンにトラブルが起こったときのために、あらかじめ対策をとっておくと被害を少なくできることがあります。ここではいくつかの対策を紹介します。詳しい手順や注意は『トラブルの予防と解決』の「第1章 トラブルの予防」で説明していますので、あわせてご覧ください。

■再セットアップディスクを作成する

トラブルがどうしても解決できないときにおこなう「再セットアップ」は、通常、ハードディスク内にある再セットアップ用データを使います。しかし、ハードディスクが故障した場合は、この方法で再セットアップすることができなくなります。そのような場合に備え、再セットアップディスクを作成しておき、そのディスクから再セットアップできるようにしておいてください。

再セットアップディスクは、ご購入時の製品構成以外では、作成できないことがあります。

参照

再セットアップディスクの作成について
▶『トラブルの予防と解決』第1章の「再セットアップディスクを作成する」

■バックアップを取る

ハードディスクの故障や寿命によって、大切なデータが失われないように、データの控え（バックアップ）を残しておきましょう。このパソコンには、バックアップを取る際に手助けになるソフトが用意されています。

バックアップを取るための手順

詳しい手順については『トラブルの予防と解決』で説明しています。第1章の「大切なデータの控えを取っておく（バックアップの種類と方法）」をご覧ください。

パソコンを買い替えたかたへ

ここでは、パソコンを買い替えた場合に、古いパソコンからこのパソコンへソフトや周辺機器、データを移行する方法について説明します。

64ビット版Windows 7に対応していないソフトやドライバなどをインストールすると、不具合が起こる場合があります。移行する際には十分な確認をおこなってください。

■データを移行するには

このパソコンには、古いパソコンからデータを移行するために次のソフトが入っています。
・「Windows 転送ツール」
・「ファイナルパソコンデータ引越し」

「ファイナルパソコンデータ引越し」でのデータ移行の作業手順をご案内する動画を用意しています。
この動画では、データ移行に必要な準備や古いパソコンの設定方法などをわかりやすく解説しています。実際の移行作業の前に、デスクトップ画面にある「データ引越し動画ナビ」アイコンをダブルクリックし、動画をご覧ください。

移行できるデータには次のようなものがあります。

□ユーザーアカウント	□電子メール※	□ドキュメント
□お気に入りのサイト	□音楽・ビデオ・画像	□その他

※データ移行前にメールソフトを起動していた場合や、お使いのメールソフトの種類によっては、手動での設定(インポート)が必要になることがあります。詳しい設定方法については、「ファイナルパソコンデータ引越し」のヘルプをご覧ください。

移行のためのソフトについて
→「Windows 転送ツール」
▶「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 94131522 で検索

→「ファイナルパソコンデータ引越し」
▶「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 94061608 で検索

データを移行する

移行は次の順番でおこないます。

● データ移行の準備をする

データの移行にはUSBメモリーまたは外付けハードディスクなどにデータを転送する方法や、ネットワークを経由してデータを転送する方法などがあります。必要に応じてケーブルやハードディスク、LAN環境などを用意してください。

● 移行のためのソフトをどちらか選んで起動する

● 画面の表示にしたがい操作する

ソフトの説明をよく読んで操作してください。古いパソコンとこのパソコンの両方で操作が必要になる場合があります。

■ソフトを移行するには

ソフトの移行は次の順番でおこないます。ソフト自体に移行する機能がある場合は、ソフトに添付のマニュアルをご覧ください。

● ソフトが64ビット版Windows 7に対応しているかチェックする

メーカのホームページやマニュアルなどでソフトが64ビット版Windows 7に対応しているか確認します。対応していない場合、このパソコンでは利用できません。

● ソフトのインストールに必要な情報を確認する

インストールする際にユーザー名やライセンスキーなどが必要な場合は、それらの情報をメモしておきましょう。

● 使用していたパソコンからソフトをアンインストールする

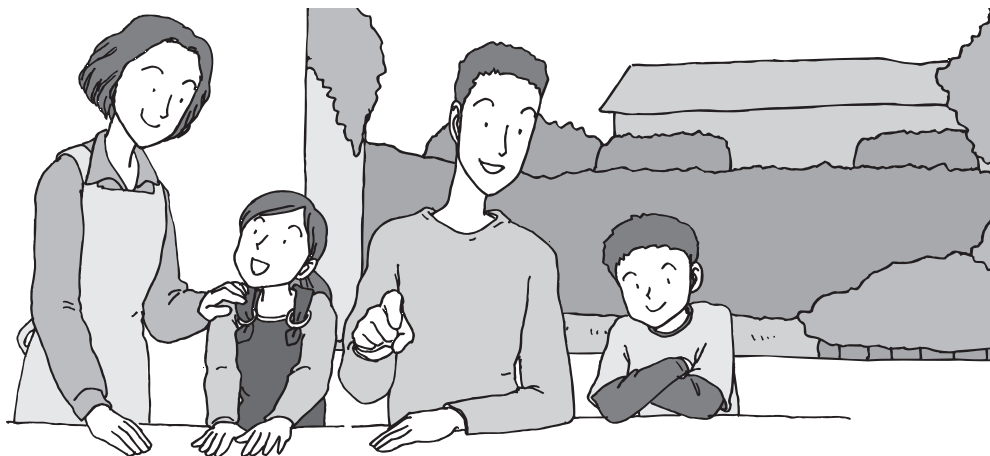
アンインストールの方法については、ソフトに添付のマニュアルをご覧ください。

● このパソコンにソフトをインストールする

マニュアルなどをご覧になり、このパソコンにインストールしてください。必要に応じて、インストール後の設定作業をおこなってください。

■周辺機器を使えるようにするには

周辺機器の移行をする前に、メーカのホームページやマニュアルなどで機器が64ビット版Windows 7に対応しているか確認してください。最新のドライバ(周辺機器を利用するためのソフト)があればダウンロードしておき、接続が済んだらインストールをしてください。周辺機器の取り外しや接続については、機器のマニュアルをご覧ください。

準備編

第3章 インターネットを始める

この章では、インターネットを利用するための設定やウイルス対策について説明します。はじめてインターネットを始めるかたは、最初から通してご覧いただき、インターネット接続業者（プロバイダ）との契約の流れや設定に必要なものについて確認してください。

インターネットに接続する前に

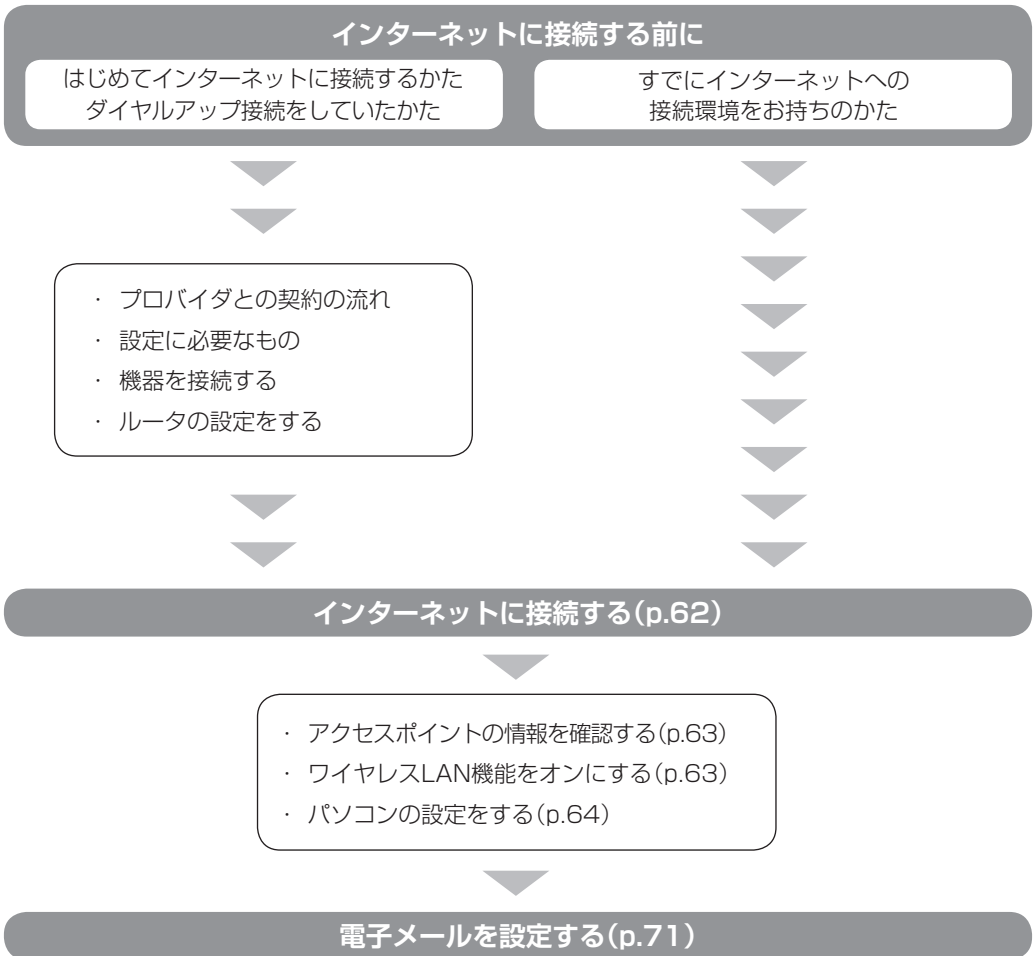
■インターネットに接続するための回線

このパソコンでインターネットに接続できる回線は、次の3つです。

このパソコンでは、ダイヤルアップ接続はご利用になれません。

回線	説明
FTTH **（エフティーティーエイチ）**	光ファイバーを使ってインターネットに接続する方法です。ほかのブロードバンド接続よりも高速な通信をおこなえます。使用するために工事が必要になる場合があります。接続には回線終端装置などの機器を使用します。
ADSL **（エーディーエスエル）**	家庭にあるアナログ回線（一般の電話回線）を使って、インターネットに接続する方法です。接続にはモデムなどの機器を使用します。
CATV **（ケーブルテレビ/シーエーティーブイ）**	ケーブルテレビ会社の回線を使ってインターネットに接続する方法です。接続にはモデムなどの機器を使用します。

■説明の流れ

お使いの環境によりお読みいただく説明が異なります。ここで、おおまかな作業の流れを確認してください。

■「ひかりTV」のご利用を予定されているかた

「ひかりTV」をご利用になる場合は、次の点などにご注意ください。

●**プロバイダとの契約時に、NTT東日本またはNTT西日本のフレッツ光のコースを選択してください。**

フレッツ光以外の回線では「ひかりTV」をご利用になれません。

●**「ひかりTV」をワイヤレスLANでご利用になる場合、動作確認済みのワイヤレスLANルータ/ワイヤレスLANアクセスポイントをご使用ください。**
動作確認済み以外のワイヤレスLANルータ/ワイヤレスLANアクセスポイントをお使いの場合、「ひかりTV」の映像が乱れ、視聴できない場合があります。

参照
「ひかりTV」を視聴するための準備について
▶『ひかりTVを楽しむ本』PART 1の「こんな準備が必要です」

●**『ひかりTVを楽しむ本』との記載の違いについて**
添付のマニュアル『ひかりTVを楽しむ本』に記載されている情報とこのパソコンの操作とで一部相違があります。詳しくは付録の「添付マニュアルとの記載の違いについて」(p.143)をご覧ください。

■プロバイダとの契約の流れ

ここでは、FTTHで回線終端装置を使う場合を例として説明します。その他の接続方法については各回線事業者にお問い合わせください。

1 プロバイダや申し込みたいコース(料金プラン)を決める

入会するプロバイダを特に決めていない場合、BIGLOBEに入会することをおすすめします。

2 プロバイダに申し込む

入会するプロバイダとコース(料金プラン)を決めたら、電話または書面で入会を申し込みます。
FTTHを利用できるか適合チェックをおこなってから、回線終端装置の準備や光ファイバーの導入工事などをおこないます。

3 回線の開通を待つ

申し込みから開通までは、通常、数週間かかります。申し込みから回線の開通までについて詳しくは、各回線事業者にお問い合わせください。

4 回線終端装置を接続する

回線や機器によって接続方法や設定が異なります。詳しくは各機器のマニュアルをご覧ください。

プロバイダに入会する(BIGLOBEの場合)

インターネットプロバイダBIGLOBEでは、お電話で入会申し込みを受け付けております。
BIGLOBE 電話で入会センター(受付時間9:00 ～ 21:00　365日)
0120-15-0962
※電話番号はおかけ間違えのないようにご注意願います。
※携帯電話、PHSからもご利用になれます。

そのほかのプロバイダに入会する

BIGLOBE以外にもさまざまなプロバイダがあります。入会方法については、各プロバイダにお問い合わせください。

ルータについて

ルータは、インターネットに接続可能な機器や複数のパソコンを接続するときに必要になります。またセキュリティの観点からも、ルータを使った接続をおすすめします。
このマニュアルではルータが接続されている例を使って説明します。

■設定に必要なもの

プロバイダに入会し回線が開通したら、インターネットに接続するために必要なものを用意してください。

□**回線事業者やプロバイダから入手した資料**
プロバイダの会員証など、ユーザー名やパスワードがわかる資料を用意してください。また、プロバイダから入手した接続設定用説明書やCD-ROMなどがある場合、その説明書やCD-ROMなどにしたがって設定をおこなってください。

□**回線終端装置**

□**ワイヤレスLANアクセスポイントまたはワイヤレスLANルータ**
このマニュアルではワイヤレスLANを使ってインターネットに接続する例で説明します。このパソコンで使用できるワイヤレスLANの種類について、次の表で確認してください。

	IEEE802.11a (5GHz)	IEEE802.11b/g	IEEE802.11n (2.4GHz)	IEEE802.11n (5GHz)
高速11n対応ワイヤレスLAN(abgn)モデル	○	○	○	○

機器を購入するときは、回線終端装置やワイヤレスLANの種類を見て接続できるかどうか確認してください。

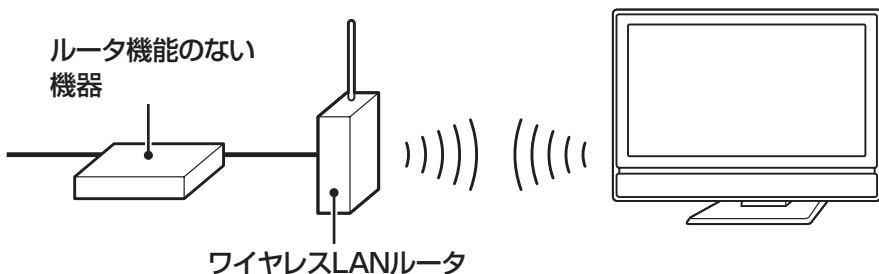
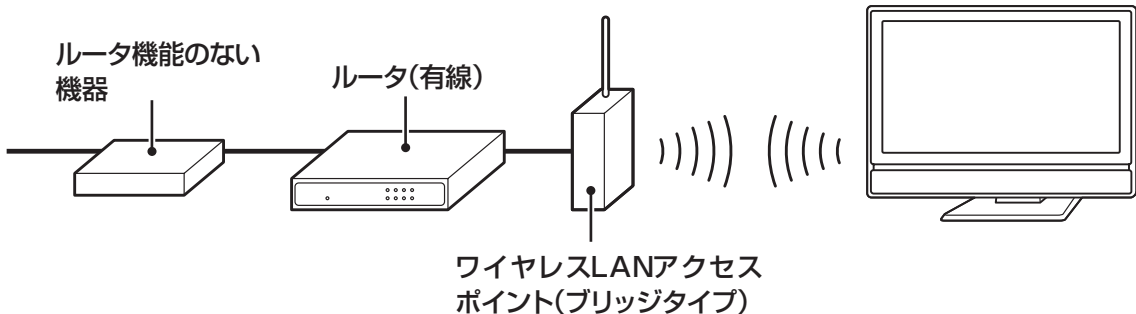
有線LANを使ってインターネットに接続する場合
→「LANについて」
▶「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 93100010 で検索

■機器を接続する

回線終端装置とネットワーク機器を次のように接続してください。

重要

- プロバイダから送られてくる接続機器(回線終端装置など)にルータ機能が内蔵されている場合、ルータの設定が不要な場合があります。詳しくはプロバイダから入手した説明書などを確認してください。
- 詳しい接続方法については、機器に添付されている説明書、プロバイダから入手した説明書などをご覧ください。

ワイヤレスLANルータと接続する場合

ワイヤレスLANアクセスポイント(ブリッジタイプ)と接続する場合

プロバイダから送られてくる機器がルータ機能付きである場合や、機器とワイヤレスLANアクセスポイントの間にルータ(有線)を接続している場合は、通信が不安定になる場合があるため、ワイヤレスLANアクセスポイントのルータ機能を停止することをおすすめします。
ルータ機能を停止する設定方法については、各ワイヤレスLANアクセスポイントのマニュアルをご覧ください。

■ルータの設定をする

はじめてインターネットに接続する場合は、ルータにプロバイダから送られてきた接続情報が設定、登録されていないと、インターネットに接続できません。詳しくは、機器に添付されている説明書、プロバイダから入手した説明書などをご覧になり設定してください。

機器の接続や設定が終わったらパソコンの設定を変更します。

インターネットに接続する

プロバイダへの入会やネットワーク機器との接続が完了したら、パソコンの設定を変更してインターネットに接続します。このマニュアルではワイヤレスLANを使ってインターネットに接続する例で説明します。このパソコンで使用できるワイヤレスLANの種類について、次の表で確認してください。

	IEEE802.11a (5GHz)	IEEE802.11b/g	IEEE802.11n (2.4GHz)	IEEE802.11n (5GHz)
高速11n対応ワイヤレスLAN(abgn)モデル	○	○	○	○

・CATV接続を利用されていたかたは、ご契約のケーブルテレビ局にパソコンを買い替えたときの設定方法についてお問い合わせください。
・機器を購入するときは、回線終端装置やワイヤレスLANの種類を見て接続できるかどうか確認してください。

参照

有線LANを使ってインターネットに接続する場合
→「LANについて」
▶「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 93100010 で検索

■アクセスポイントの情報を確認する

パソコンの設定では、接続するワイヤレスLANアクセスポイントのネットワーク名(SSID)、セキュリティキーが必要になります。設定を確認して次の欄に設定を控えてください。

ネットワーク名(SSID)	セキュリティの種類

暗号化の種類※	セキュリティキー

※セキュリティの種類によっては、暗号化の種類を設定しない場合があります。

参考

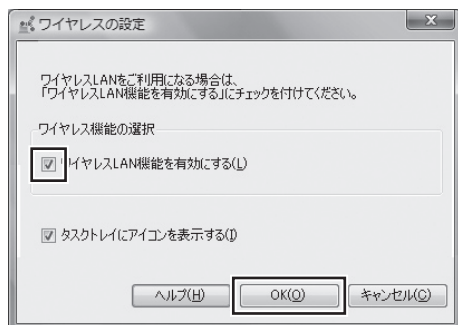
セキュリティキーは、接続するワイヤレスLANアクセスポイントのメーカにより「暗号化キー」「ネットワークキー」「WEPキー」「WPAキー」などと呼ばれている場合があります。

■ワイヤレスLAN機能をオンにする

このパソコンはご購入時の状態ではワイヤレスLAN機能を使用することができません。ワイヤレスLANを使用するには、次の手順で設定してください。

1 デスクトップの(ワイヤレスの設定)をダブルクリックする

「ワイヤレスの設定」が表示されます。
「ワイヤレスの設定」は、画面右下の通知領域にあるをクリックし、アイコン( )を右クリックして「設定画面を表示」を選択しても表示されます。

2 「ワイヤレスLAN機能を有効にする」の□をクリックして☑にし、「OK」をクリックする

ワイヤレスLAN機能がオンになると、画面右下の通知領域のがになります。

■パソコンの設定をする

ルータとの接続を設定するためにパソコンの設定を変更してください。
ここでは、ワイヤレスLANルータ(もしくはアクセスポイント)を手動で追加する方法を説明しています。ここで説明する方法以外にもワイヤレスLANアクセスポイントを自動でスキャンしてから接続する方法にも対応しています。

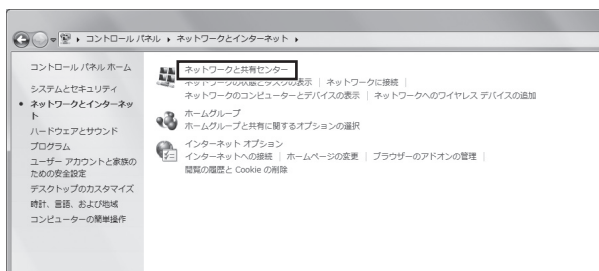
参照

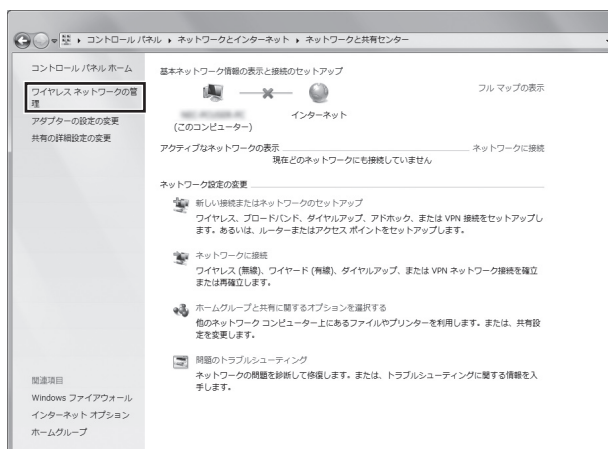
ワイヤレスLANアクセスポイントをスキャンして接続する場合
→「ワイヤレスLANの設定」
▶「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 93100140 で検索

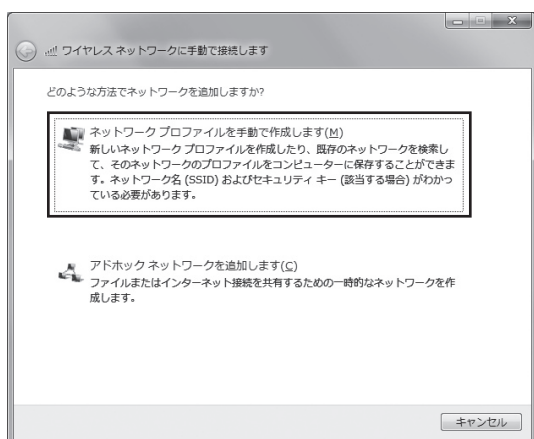
1 「スタート」-「コントロールパネル」をクリックする

コントロールパネルが表示されます。

2 「ネットワークとインターネット」をクリックする

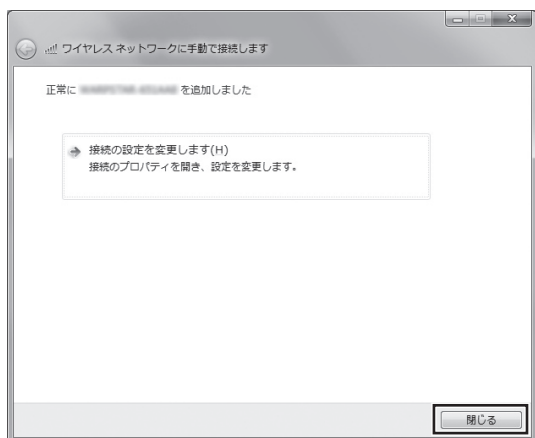
3 「ネットワークと共有センター」をクリックする

「ネットワークと共有センター」が表示されます。

4 「ワイヤレスネットワークの管理」をクリックする

5 「追加」をクリックする

6 「ネットワークプロファイルを手動で作成します」をクリックする

7 確認したアクセスポイントの情報を使って、接続するネットワークの情報を入力し、「次へ」をクリックする

ワイヤレスLANはセキュリティの対策をしっかりしないと外部からネットワークに入られて無断で利用され、情報を読まれてしまう危険があります。ワイヤレスLANを使うときは暗号化など、セキュリティをしっかり設定してください。

ワイヤレスLANのセキュリティについて
→「ワイヤレスLANのセキュリティに関するご注意」
▶「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 93100120 で検索

8 「閉じる」をクリックする

ワイヤレスLANが接続され、デスクトップ画面右下の通知領域にが表示されます。

「ネットワークの場所の設定」の画面が表示された場合は、画面の説明を読んで設定してください。

これでインターネットに接続するための設定は終わりです。
タスクバーの(Internet Explorer)アイコンをクリックし、接続を試してください。

ワイヤレスLAN通信がうまくいかない場合には、『トラブルの予防と解決』第3章の「インターネットに関するトラブルのとき」をご覧ください。

Office 2010モデルをご購入いただいたお客様へ

参考

ここでは、Office 2010モデルに搭載されている「Office Home & Business 2010」または「Office Personal 2010」を「Microsoft Office 2010」として説明しています。

「Microsoft Office 2010」のソフトを初めて起動したときに、プロダクトキー入力やライセンス認証が必要となります。

プロダクトキーの入力について

「Microsoft Office 2010」のソフトをはじめて起動したときに、プロダクトキーを入力する必要があります。

画面はモデルによって異なります。

重要

プロダクトキーは、添付の「Microsoft Office 2010」のパッケージの中に入っているDVD-ROMケースに記載されています。

ライセンスの認証について

お使いのパソコンがインターネット接続できる状態になっていれば、プロダクトキーの入力画面で「続行」をクリックした後、自動でライセンス認証が実行されます。インターネット接続できない場合、「Microsoft Office 2010」のソフトをはじめて起動した日から、30日以内にインターネット経由またはMicrosoft社のライセンス認証専用窓口へ電話でライセンス認証をおこなう必要があります。ライセンス認証について、詳しくは、添付の「Microsoft Office 2010」のパッケージに同梱されている、『お使いになる前に』をご覧ください。

- 30日以内にライセンス認証を実施しないと、機能制限モードとなりライセンス認証をおこなうまで使用できる機能が制限されます。
- 再セットアップなどで「Microsoft Office 2010」を再インストールする場合、プロダクトキー入力やライセンス認証も再度必要となります。「Microsoft Office 2010」のパッケージは大切に保管してください。

電子メールを設定する

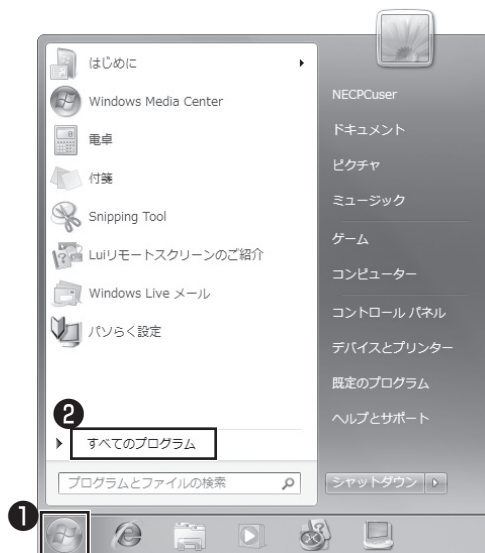
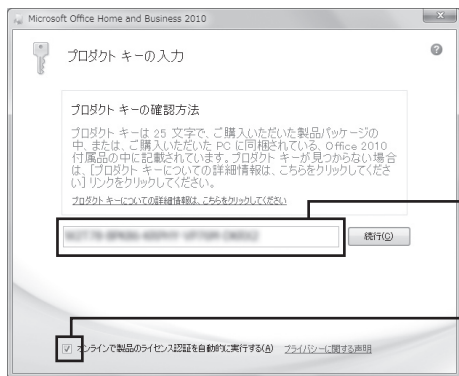
ここでは、Office 2010モデルで「Outlook 2010」を使った設定を説明します。

重要

・ Outlookのセットアップ、インストールについての不明点はマイクロソフト株式会社にお問い合わせください。お問い合わせ先については「ソフトのサポート窓口一覧」(「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 92145010 で検索)をご覧ください。
・ 使用する機器やプロバイダによっては、ここでの説明とは異なる設定が必要になることがあります。プロバイダの資料やホームページに設定例などが記載されている場合は、そちらもあわせてご覧になり、設定することをおすすめします。

参考

ここでは、Office 2010モデルに搭載されている「Office Home & Business 2010」または「Office Personal 2010」を「Microsoft Office 2010」として説明しています。

1 「スタート」-「すべてのプログラム」をクリックして、リストから「Microsoft Office」-「Microsoft Outlook 2010」をクリックする

はじめて「Microsoft Office 2010」を起動した場合には、「プロダクト キーの入力」が表示されます。

2 プロダクトキーを入力する

プロダクトキーを入力し終わるとキーの確認がおこなわれます。

プロダクトキーは、添付の「Microsoft Office 2010」のパッケージの中の、DVD-ROMケースに記載されています。

3 「続行」をクリックする

参考

ライセンスの認証について

お使いのパソコンがインターネット接続できる状態になっていれば、「続行」をクリックした後、自動でライセンス認証が実行されます。インターネット接続できない場合、「Microsoft Office 2010」のソフトをはじめて起動した日から、30日以内にインターネット経由またはMicrosoft社のライセンス認証専用窓口へ電話でライセンス認証をおこなう必要があります。詳しくは、添付の「Microsoft Office 2010」のパッケージに同梱されている、『お使いになる前に』をご覧ください。

重要

- 30日以内にライセンス認証を実施しないと、機能制限モードとなりライセンス認証をおこなうまで使用できる機能が制限されます。
- 再セットアップする場合など、「Microsoft Office 2010」を再インストールするときは、プロダクトキーの入力やライセンス認証が再度必要です。「Microsoft Office 2010」のパッケージは大切に保管してください。

4 画面の内容を確認し、「「マイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項」に同意します」の□をクリックして☑にし、「続行」をクリックする

5 「閉じる」をクリックする

「Microsoft Outlook 2010 スタートアップ」が開始されます。

6 「次へ」をクリックする

7 「次へ」をクリックする

8 自動アカウント設定のための情報を入力する

❶ 自分の名前を入力します。日本語、アルファベット、どちらで入力してもかまいません。

❷ ご利用の電子メールアドレスを入力します。

❸ プロバイダの会員証などを見て、メールパスワードとして記載されているものを入力します。確認のため、パスワードを再度入力します。

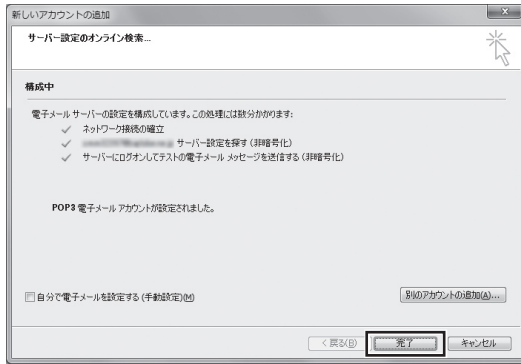
参考

サーバーの自動アカウント設定に失敗した場合は手順8の画面下にある「自分で電子メールやその他のサービスを使うための設定をする(手動設定)」をクリックして◉にし、「次へ」をクリックします。次に「新しいアカウントの追加」の画面で「インターネット電子メール」を◉にして「次へ」をクリックします。表示された画面に情報を入力し、画面の説明を読んで設定します。

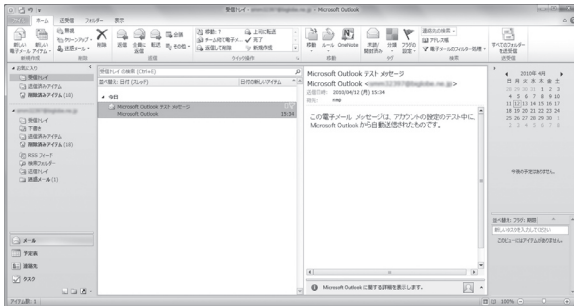
9 設定が終わったら「次へ」をクリックする

重要

サーバーの自動アカウント設定に失敗したときは、もう一度設定内容を確認し、「次へ」をクリックしてください。

10 「完了」をクリックする

重要

「完了」をクリックすると、「ユーザー名の指定」画面、プライバシーオプションを設定する画面やMicrosoft Updateを利用するための登録画面などが表示されます。説明をよく読んで、画面の指示にしたがって進めてください。

次の画面が表示されれば完了です。

メールの設定がうまくいかないときやほかのパソコンからメールのデータを移行したいときは

→「メール接続」
▶「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 92060040 で検索

→「メール操作・設定」
▶「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 92060050 で検索

続けてウイルス対策をしてください。

ウイルス対策をする

ウイルスなどの不正プログラムからパソコンを守るためには、定期的な対策が必要です。

■「ウイルスバスター」でウイルス対策を開始する

ここでは、このパソコンにあらかじめ用意されている「ウイルスバスター」を使ったウイルス対策の流れを説明します。

●インターネット接続の設定
▶「インターネットに接続する」(p.62)

↓

パソコンをご購入後、はじめてインターネットに接続してから3日間はユーザー登録をしていなくてもインターネット経由で自動的に「ウイルスバスター」が更新(アップデート)されます。

●ユーザー登録(無料)

↓

●アップデート(90日間無料)

↓

●製品版(有料)を購入し、アップデートを継続

ウイルス対策を始めるための詳しい手順について
→「ウイルス対策ソフトを使い始める」
▶「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 91040020 で検索

すでに製品版をお持ちのかたは、そのシリアル番号で登録できる場合があります。お持ちのシリアル番号がご使用のパソコンで登録できるかどうかはウイルスバスタークラブセンターへお問い合わせください。

ユーザー登録後はじめてアップデートした日から90日は、無料でアップデートをおこなうことができます。90日を過ぎると、すべての機能が利用できなくなり、セキュリティ対策をおこなうことができません。無料期間終了後も継続してご利用いただくには、ダウンロード販売またはパッケージなどの製品版を購入し、シリアル番号を入力していただく必要があります。

参考

ご購入時にインストールされている「ウイルスバスター」では、このパソコンに搭載されているソフトの通信を遮断しないよう、あらかじめ設定されています。無償試用期間終了後にライセンスを購入して製品版へアップグレードすれば、その設定が引き継がれます。
なお市販のセキュリティソフトをお使いになると、通信をブロックする可能性があります。その場合はセキュリティソフトのマニュアルやヘルプをご覧になり、アクセス許可の設定をしてください。

■その他のセキュリティ対策について

「ウイルスバスター」のほかに、パソコンを保護するために、次のようなセキュリティ対策があります。

●Windows Updateをする

このパソコンのWindowsの状態などをチェックし、更新プログラムを無料配布するMicrosoftのサポート機能です。ご購入時の状態では、Windowsの更新プログラムの自動更新機能が有効に設定されています。インターネット経由でWindowsを最新の状態にし、ウイルスや不正アクセスに備えることができます。

→「Windowsの更新」
▶「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 91060010 で検索

●ファイアウォール機能を使う

ファイアウォール機能とは、外部(インターネット)からの不正侵入を防ぎ、情報の流出を防ぐ機能のことです。このパソコンでは「Windowsファイアウォール」または「ウイルスバスター」のファイアウォール機能を使うことができます。セットアップ後には「Windowsファイアウォール」が有効になっています。

・「Windowsファイアウォール」と「ウイルスバスター」のファイアウォール機能を同時に使用することはできません。
・「ウイルスバスター」のファイアウォール機能を使うには、ファイアウォール機能の追加インストールが必要です。

→「不正アクセスの防止」
▶「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 91050010 で検索

「ソフト＆サポートナビゲーター」ではこのほかに、ワイヤレスLANの通信の暗号化やお子様を有害ホームページから守るための方法など、さまざまなセキュリティ対策について説明しています。ご使用の状況に合わせてご覧ください。

→「安全に使うためのポイント（セキュリティ対策）」
▶「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 91030010 で検索

お客様登録のお願い

「お客様登録」とは、お名前、電話番号、パソコンの型番、製造番号、購入年月日などの情報を、121wareに登録することです。121wareでは「お客様登録」することで、さまざまなメリットを提供しています。

■登録のメリット

1 登録料・会費無料

登録料や会費は無料です。
法人のお客様としてご使用の場合も、登録をおすすめします。

2 電話での「使い方相談」※

無料で1年間、使い方の相談ができます。
NECサポート窓口(121コンタクトセンター)からお電話をさしあげる「電話サポート予約サービス」も利用可能になります。
NECサポートサイト(121ware.com)の次のURLから予約ができます。
http://121ware.com/support/reserve-tel/
※使い方相談のご利用には、お客様登録が必要です。

3 あなただけのマイページ

マイページは、あなた専用のページです。
登録した商品を元に、あなたのパソコンに合ったサポートやサービスに関する情報が表示されます。

4 NEC Directの優待サービス&ポイントもGet

NEC Directの優待サービスでお買い物。ポイントももらえます。
NEC商品を登録されているお客様は、NEC Directの優待サービスが受けられます。

その他の特典

買い取り
不要になったパソコンの買い取りサービスがインターネットからできます。

修理
インターネットで修理を申し込むと、修理料金が割引されます。

メールニュース
商品広告・活用提案・サポート・キャンペーンなどの情報をお届けします。

※サービス内容などは予告なしに変更される場合があります。

参考

パソコン本体以外の商品／NEC Refreshed PC(再生パソコン)の「使い方相談」の無料期間は、各商品の保証書に記載の保証期間となります。

参照

お客様登録の方法について
▶『トラブルの予防と解決』第5章の「お客様登録のお願い」
▶121ware.com(http://121ware.com/my/)でも詳しくご紹介しています。

■お客様登録に関するお問い合わせ先

「121ware(ワントゥワンウェア)登録センター」
電話:フリーコール 0120-469-121(携帯電話・PHSでもご利用になれます)
受付時間:9:00 ～ 17:00(土・日・祝日、および弊社休業日を除く)
※:システムメンテナンスのため、サービスを休止させていただく場合があります。

サービス内容などは予告なしに変更することがあります。最新の情報については、NECパーソナル商品総合情報サイト121ware(http://121ware.com)をご覧ください。

基本編

第4章

基本機能

この章では、音量の調節や消費電力を抑える方法、メモリーカードやDVDなどのディスクをセットする方法など、このパソコンを使うときのもっとも基本的な操作を説明します。

ソフト＆サポートナビゲーター（画面で見るマニュアル）

「ソフト＆サポートナビゲーター」は、パソコンの詳しい使い方を知りたいときや困ったときに役立つ、画面で見るマニュアルとしての機能を持っています。また目的に合ったソフトを探して使い方を見たり、そのままインストールや起動をしたりすることができます。「ソフト＆サポートナビゲーター」は次のようなときに便利です。

・ Windowsの便利な使い方を知りたい。
・ 目的に合ったソフトを探したり、見つけたソフトをすぐに起動したい。
・ うまくいかないときや、故障かな？と思ったときの対処法を知りたい。
・ パソコンの省電力機能や表示機能など、パソコンの機能についてより詳しく知りたい。
・ 用語集でわからない単語の意味を調べたい。

ソフト＆サポートナビゲーターを起動する

タスクバーの（ソフト＆サポートナビゲーター）アイコンをクリックして起動します。

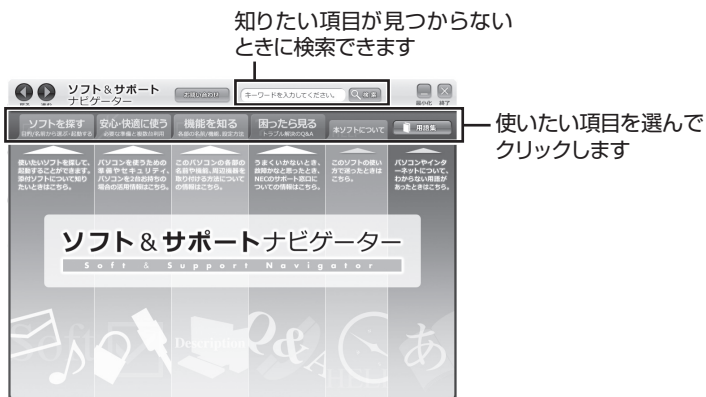
（ソフト＆サポートナビゲーター）アイコンをクリックする

「ソフト＆サポートナビゲーター」の最初の画面が表示されます。

参考

デスクトップのアイコン（ソフト＆サポートナビゲーター）をダブルクリックするか、キーボード上部にあるワンタッチスタートボタン（ソフト）を押すことでも起動できます。

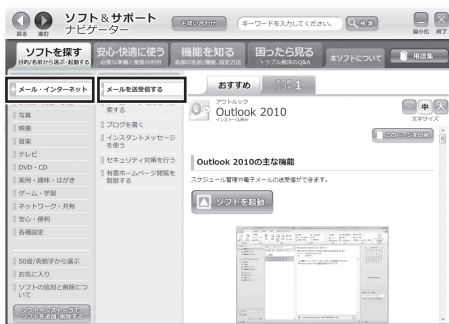
ソフト＆サポートナビゲーターを使う

知りたい項目があるときは項目を選んでクリックします。「ソフト＆サポートナビゲーター」で知りたい項目が見つからないときは、キーワードを入力して「検索」をクリックします。

画面はモデルによって異なります。

目的からソフトを探す

「ソフト＆サポートナビゲーター」は、使いたい機能からソフトを探すことができます。

1 「ソフトを探す」をクリックする

2 一覧から使いたい目的をクリックする

画面はモデルによって異なります。

目的に合ったソフトが表示されます。複数のソフトがあるときは上のタブをクリックしてソフトを選択します。

参考

はじめて検索をおこなうときは、CyberSupport for NECの「使用許諾契約書」が表示されます。内容をよく読み、「同意する」をクリックしてください。クリック後、検索が再開されますので少しお待ちください。

ソフトをインストールする

「ソフト＆サポートナビゲーター」の画面上からソフトをインストールすることができます。

1 インストールしたいソフトの説明を表示させる

インストールされていないソフトはソフト名の下に「未インストール」と表示されています。

2 「ソフトを起動」をクリックする

画面はモデルによって異なります。

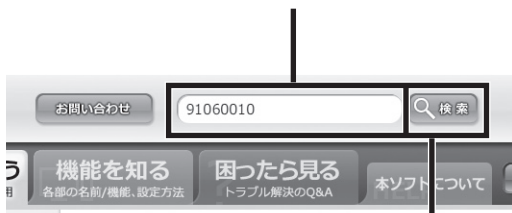
「ソフトのインストールについて」が表示されます。

3 「はい」をクリックする

インストールが開始されます。
画面の指示にしたがってインストールしてください。

番号検索について

マニュアルに出てくる検索番号を「ソフト＆サポートナビゲーター」で入力して検索すると、詳しい説明や関連する情報を表示できます。

例）検索番号が「91060010」の場合

パソコンのいろは3 (パソコン練習ソフト)

「パソコンのいろは3」を使って、パソコンやWindows 7、「Microsoft Office 2010」の基本操作を学ぶことができます。

「パソコンのいろは3」とは

初心者のかたがパソコンを学ぶためのソフトです。マウスやキーボードの使い方から電子メールやホームページの見方といった「パソコンのいろは」を学ぶことができます。パソコンやWindowsの基本操作をまず覚えたいかたは、「パソコンのいろは3」で学習を始めてください。

参考

- ここでは、Office 2010モデルに搭載されている「Office Home & Business 2010」または「Office Personal 2010」を「Microsoft Office 2010」として説明しています。
- Office 2010モデルでは「Microsoft Office 2010」の操作も学習できます。

「パソコンのいろは3」を起動する

1 **「ソフト&サポートナビゲーター」-「ソフトを探す」-「50音／英数字から選ぶ」-「パソコンのいろは3」の「ソフトを起動」をクリックする**

自動的に「パソコンのいろは3」が始まります。
ソフトがインストールされていない場合は、画面の指示にしたがってインストールしてください。

参考

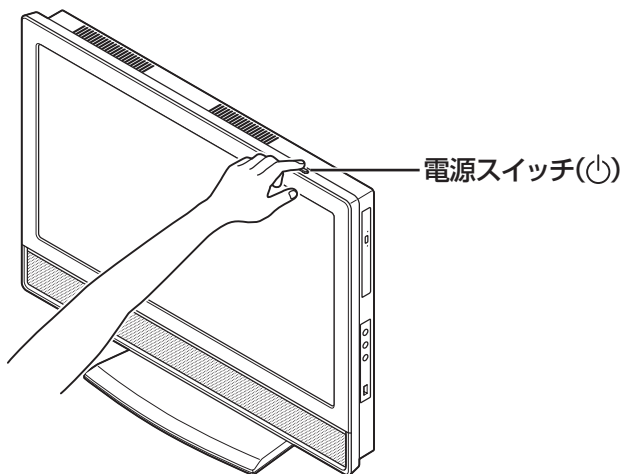
「Microsoft Office 2010」の操作を学習したいときは、「パソコンのいろは3 Office 2010編」(「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 94091808 で検索)の「ソフトを起動」をクリックします。
ソフトがインストールされていない場合は、画面の指示にしたがってインストールしてください。

「パソコンのいろは3」を終了する

画面右下に表示されている「終了」をクリックしてください。画面中央に確認の画面が表示されるので、「終了します」をクリックしてください。

電源の入れ方/切り方

電源の入れ方

1 電源スイッチを押す

2 使う人の名前を選択する画面が表示された場合には、名前の上のアイコンをクリックする

パスワードを設定している場合には、パスワードを入力し、➔をクリックします。

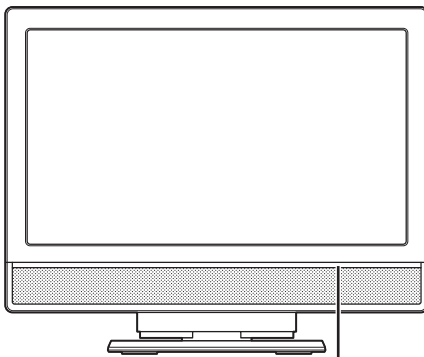
デスクトップ画面が表示されます。

参考

電源スイッチを押した後、デスクトップ画面が表示されて、内蔵ドライブアクセスランプ(◎⊟)が点滅しなくなるまで、電源スイッチを押さないでください。無理に電源を切ると、故障の原因になります。

電源の切り方

1 「スタート」-「シャットダウン」をクリックする

数秒後に画面が暗くなり、自動的に電源が切れます。

2 電源ランプが消えるのを確認する

参照

スリープ状態について
→「省電力機能」
▶「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 93160010 で検索

重要

いったん電源を切ってから電源を入れなおすときは、電源が切れてから5秒以上待って電源スイッチを押してください。

「スタート」メニューの操作で電源が切れないとき

画面の表示が動かなくなったり、操作の途中でマウスやキーボードが反応しなくなったりして、パソコンの電源が切れなくなってしまうことがあります。その場合、次の方法で電源を切ることができます。

1 パソコン本体の電源スイッチを4秒以上押し続ける

2 電源が切れてから5秒以上待ち、もう一度電源スイッチを押す

3 パソコンの電源が入ったら、改めて前ページの操作で電源を切る

重要

- 強制的に電源を切る場合は、内蔵ドライブアクセスランプ( )やデュアルメモリースロットアクセスランプなどが点灯していないことを確認してください。また、各種メディアは取り出しておいてください。
- パソコン本体の電源スイッチを押し続けて強制的に電源を切ると、パソコンに負担がかかります。何度も繰り返すと、パソコンが起動しなくなってしまうこともあるため、この方法で電源を切ることは、できるだけ避けてください。

参照

デュアルメモリースロットアクセスランプについて
▶「各部の名称(2)」(p.ⅲ)

省電力機能

このパソコンでは、操作していない時間が続くとき、消費電力を節約するために自動的に画面を暗くするなど、省電力機能が設定されています。

省電力状態の概要

次の省電力状態で消費電力が節約できます。

●次の時間の経過後ディスプレイを暗くする
Windows 7では、パソコンを使用しないでしばらくすると画面は自動的に暗くなります。ご購入時は、5分に設定されています。

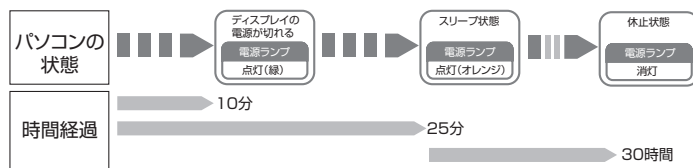
●ディスプレイの電源を切る
何も操作しない状態が続いたとき、ディスプレイの電源を自動的に切る時間が設定できます。ご購入時は、10分でディスプレイの電源が切れるように設定されています。

●スリープ状態にする
ディスプレイの電源が切れてからも、操作しない状態が続いたとき、ハードディスクなどの電源を切って消費電力を節約するように設定できます。ご購入時は、25分でスリープ状態になるよう設定されています。

●休止状態にする
パソコンの状態や作業中のデータをディスクに保存した上で、Windowsは終了せずにパソコンの電源を切るように設定できます。ご購入時には、スリープ状態に移行してから30時間で自動的に休止状態になります。

操作していない時間と省電力状態の概要

●パソコンを使っていない時間と省電力状態

参照

省電力機能の詳細、設定の変更について
→「省電力機能」
▶「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 93160010 で検索

参考

ご購入時、このパソコンにはハイブリッドスリープが設定されています。ハイブリッドスリープとは、スリープ状態になるとき、ハードディスクに作業中のデータを保存するような設定です。スリープ状態時に電源コードが抜けるなどの不測の事態が発生しても、問題なく作業を再開することができます。

画面が暗くなったときには

省電力機能で画面が暗くなっているときは、キーボードのキー(【Shift】など)を押してください。
それでも画面が明るくならないときは、電源スイッチを軽く1回押してください。

参照

マウスやキーボードの操作でスリープ状態から復帰させたいとき
→「省電力機能を使う」
▶「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 93160020 で検索

電源ランプ

パソコンの電源の状態は電源ランプでわかります。

●電源ランプ(⏻)と電源の状態

パソコン本体の電源ランプ	電源の状態
緑色に点灯	電源が入っている
オレンジ色に点灯	スリープ状態
消灯	電源が切れている、または休止状態

リモコンでスリープ状態にする

リモコンの【電源】を押すと、パソコンをスリープ状態にしたり、スリープ状態から復帰することができます。

重要

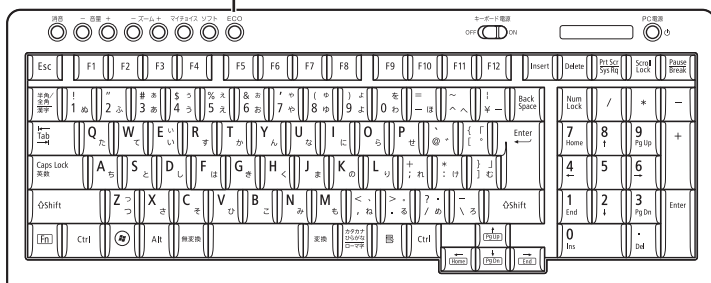
テレビの視聴中やほかのソフトを起動しているときは、電源を切る前に【アプリ終了】を押して、終了させてください。

ECOボタン

Windows 7では、消費電力に関する設定を「電源プラン」と呼びます。このパソコンではECOボタンを押すだけで、パソコンの消費電力を節約するための電源プランに切り換えることができます。現在の電源プランは、画面右下の通知領域にあるをクリックし、隠れている電源プランのアイコン(または)で確認します。もとに戻すときには、もう一度ECOボタンを押すだけで設定を切り換えることができます。

参考

「ECOモード設定ツール」で電源の設定を変更することができます。

ECOモード設定ツールについて
→「ECOモード設定ツール」
▶「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 94050315で検索

ECOボタンの設定について

ご購入時は、ECOボタンを押すたびに、「VALUESTAR」と「ECO」の2つの電源プランを交互に切り換えるように設定されています。

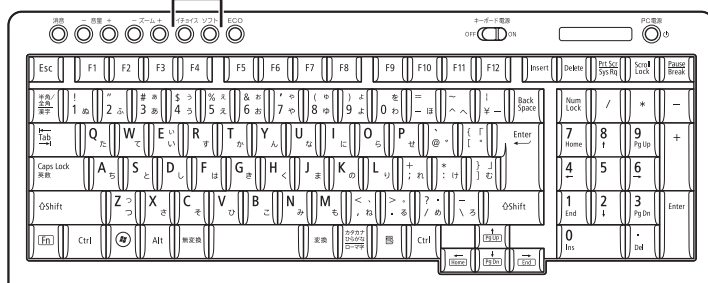
参考

電源プランを「ECO」にすると、節電のために画面の輝度が下がります。

電源プラン		VALUESTAR(ご購入時)	ECO
アイコン		(青色)	(緑色)
電源プランの概要		パフォーマンスと電力の節約のバランスをとった設定	パフォーマンスよりも電力の節約を優先した設定
項目	ディスプレイの電源を切る	10分	5分
	ハードディスクの電源を切る	なし	10分
	スリープ状態にする	25分	15分
	休止状態にする	スリープ状態に移行してから30時間	

ワンタッチスタートボタンの設定

ワンタッチスタートボタンは、押すだけでソフトを起動できます。

ワンタッチスタートボタンと機能

ボタン	説　明
マイ チョイス※	自分が登録したソフトを起動します。
ソフト	「ソフト＆サポートナビゲーター」を起動します。

※はじめて【マイ　チョイス】を押したときに、【マイ　チョイス】にどのソフトを登録するか選択します。

ワンタッチスタートボタンの設定を変更する

「スタート」-「すべてのプログラム」-「ワンタッチスタートボタンの設定」-「ワンタッチスタートボタンの設定」をクリックして起動する「ワンタッチスタートボタンの設定」でワンタッチスタートボタンで起動するソフトを変更することができます。

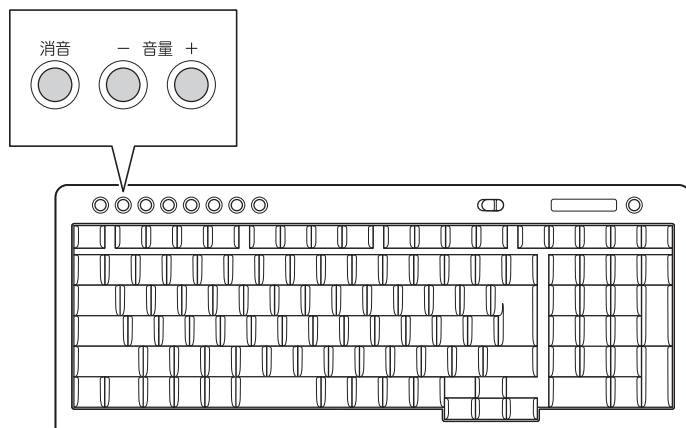
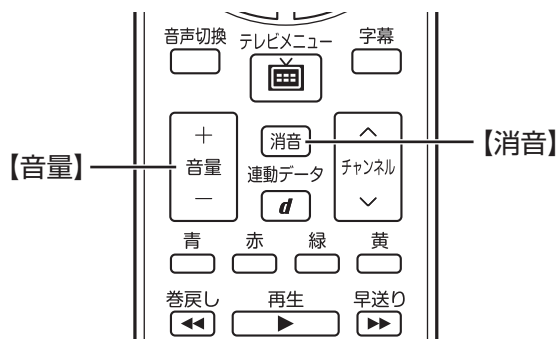
ワンタッチスタートボタンの設定を変更する
▶「スタート」-「すべてのプログラム」-「ワンタッチスタートボタンの設定」-「ワンタッチスタートボタンの設定ヘルプ」

音量の調節

パソコンの音が大きすぎたり、小さすぎたりすると感じるときは、キーボードやリモコンでスピーカの音量を調節することができます。

キーボード、リモコンから音量を調節する

【音量】のーを押すと、音が小さくなります。
【音量】の＋を押すと、音が大きくなります。
【消音】を押すと音声のオン/オフが切り換えられます。画面右下の通知領域にが表示されているときは音声が消え、が表示されているときは音声が聞こえます。

●キーボード

●リモコン

参考

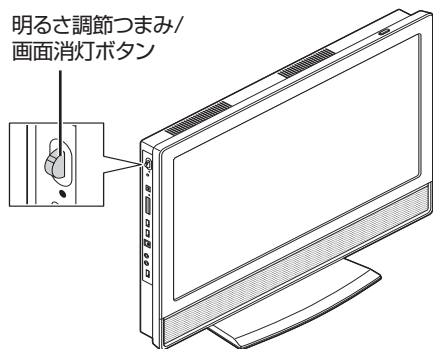
キーボードから音量を変更するとき、起動しているソフトによっては、音量の表示が変わらない場合があります。

基本機能

画面の明るさの調節

パソコンの画面が明るすぎたり、暗すぎたりすると感じるときは、明るさ調節つまみ/画面消灯ボタンからディスプレイの輝度(画面の明るさ)を調節できます。

上にまわすごとに、明るくなります。
下にまわすごとに、暗くなります。

明るさ調節つまみを押すと画面消灯ボタンとして働きます。画面消灯ボタンを押すとディスプレイのバックライトが消灯し、画面が暗くなり、音声が消えます(ナイトモード)。ナイトモードのときは画面消灯ランプが点灯します。もう一度押すと、再び画面が表示されます。

参考

- ナイトモードとは、パソコン本体の電源が入ったまま、映像と音声を消すことのできる機能のことです。たとえば、就寝中に、ブルーレイディスクへ映像を保存したりテレビ番組の予約録画をおこなうなど、映像や音声を消したままパソコンを長時間使用したいときに便利な機能です。
- ナイトモードでは、液晶ディスプレイのバックライトを消灯します。画面の表示内容は消えません。そのため、明るい場所では画面の表示内容が薄く見える場合があります。
- パソコンを使用しないでしばらくすると、画面は自動的に暗くなります。

参照

ナイトモードについて
→「各部の名称と役割」
▶「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 93010010 で検索

文字やアイコンサイズの変更

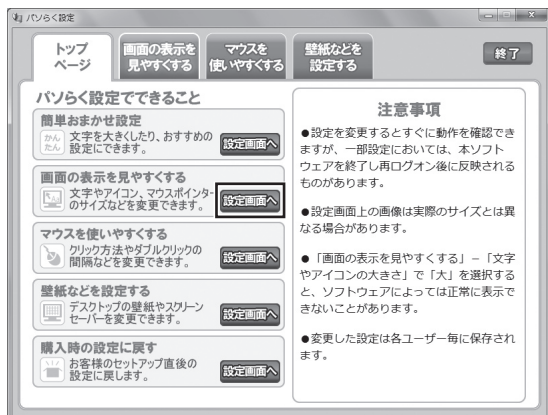
画面の文字が小さいときなどに、文字やアイコンの大きさを変更できます。

「パソらく設定」で変更する

「パソらく設定」はWindowsの設定の変更をお手伝いするソフトです。

1 **「ソフト&サポートナビゲーター」-「ソフトを探す」-「50音／英数字から選ぶ」-「パソらく設定」の「ソフトを起動」をクリックする**

「パソらく設定」が起動します。

2 **「画面の表示を見やすくする」の「設定画面へ」をクリックする**

3 **好みのサイズを選んでクリックする**

4 **「終了」をクリックする**

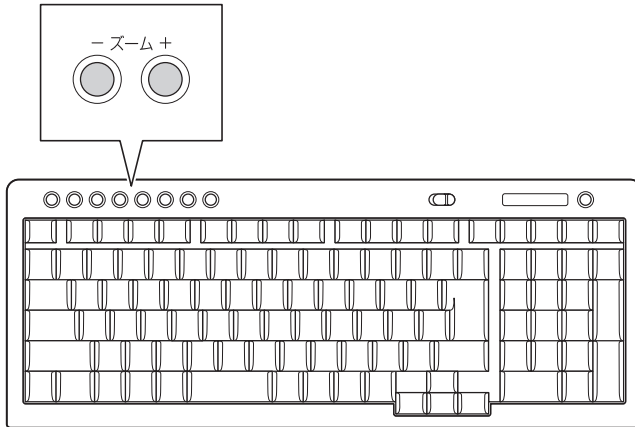
5 **「保存して終了」をクリックする**

6 **「今すぐログオフ」をクリックする**

参考

- 「標準(100%)」以外の文字を選択した場合、画面の一部が切れて表示されないことがあります。画面の大きさ(ウィンドウサイズ)の変更や操作ができなくなった場合は、文字サイズを小さく設定してください。
- 「パソらく設定」では、文字やアイコンの大きさを変更するほかに、デスクトップの壁紙やスクリーンセーバーの変更もできます。
- 変更した設定をもとに戻すときは、「パソらく設定」のトップページで「購入時の設定に戻す」の「設定画面へ」をクリックし、表示された画面で「戻す」をクリックしてください。以降の操作は、画面の指示にしたがってください。

ズームボタンで変更する

キーボードのズームボタンを使うと、Internet ExplorerやOutlook 2010などズーム機能に対応しているソフトで、文字サイズを変更できます。

ズームボタンについての注意や、動作するソフトについて
→「キーボード上部のボタンなど」▶「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 93040040で検索

メモリーカード

使用できるメモリーカードの種類

このパソコンでは、次のメモリーカードを使用することができます。

- SDメモリーカード
- SDHCメモリーカード
- SDXCメモリーカード
- メモリースティック
- メモリースティック PRO

参照

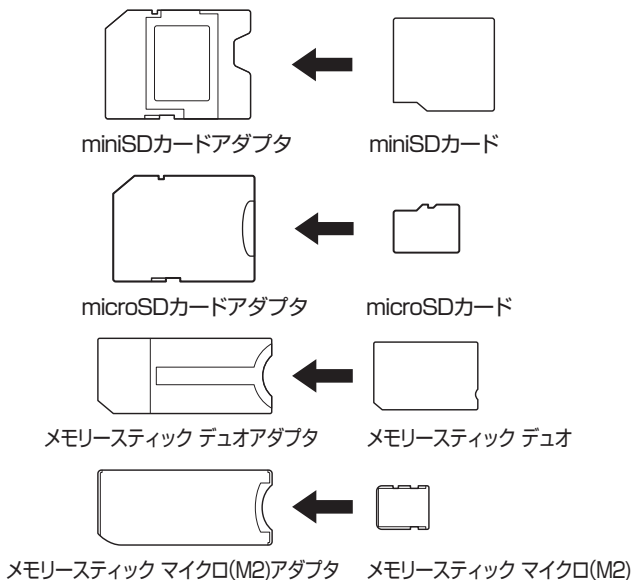
メモリーカードやアダプタの形状、注意事項などの詳細について

→「デュアルメモリースロット」▶「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 93015105で検索

市販のアダプタが必要なメモリーカード

miniSDカード、microSDカード、メモリースティック デュオ、メモリースティック マイクロ(M2)は必ず市販のアダプタにセットしてから、スロットに差し込んでください。

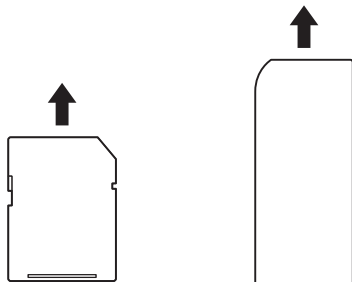
重要

- **必ずアダプタにセットしてから使用してください。市販のアダプタを使用せずそのままメモリースロットに差し込むとメモリーカードが取り出せなくなります。**
- **各メモリーカードの説明書もあわせてご覧になり、注意事項を確認してから使用してください。**

メモリーカードを使用するときの注意

- メモリーカードの取り扱い上の注意については、添付の『安全にお使いいただくために』を参照し、あらかじめ確認してください。
- NECでは市販のメモリーカードに関する動作保証やサポートはおこなっていません。販売元にお問い合わせください。
- メモリーカードの説明書などをよく読んでから使用してください。

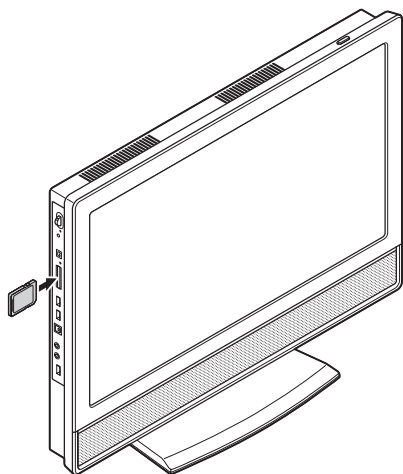
メモリーカードをセットする

1 メモリーカードを差し込む向きを確認する

メモリーカードはそれぞれ次の図の向きで差し込んでください。

SDメモリーカード
SDHCメモリーカード
SDXCメモリーカード

メモリースティック
メモリースティック PRO

2 メモリーカードを差し込む

メモリーカードの表面を手前にして向きに注意し、奥までしっかり差し込んでください。

重要

- メモリーカードには表面と裏面があります。またスロットへ差し込む方向が決まっています。間違った向きで無理に差し込むと、カードやスロットが破損することがあります。詳しくは、メモリーカードの説明書をご覧ください。
- メモリーカードは誤った操作方法で取り扱わないでください。誤った操作によってパソコンが故障した際は、有償での修理となる場合がありますのでご注意ください。

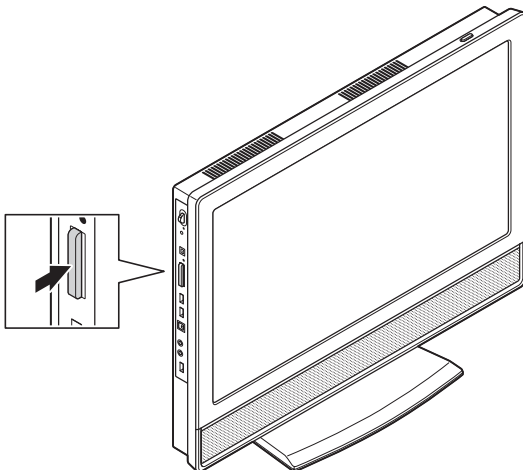
メモリーカードを取り出す

1 画面右下の通知領域にある▲をクリックして隠れているアイコンを表示させ、またはをクリックする

接続されている機器のリストが表示されます。

2 取り外す機器名をクリックする

「xxxxはコンピューターから安全に取り外すことができます。」というメッセージが表示されます。

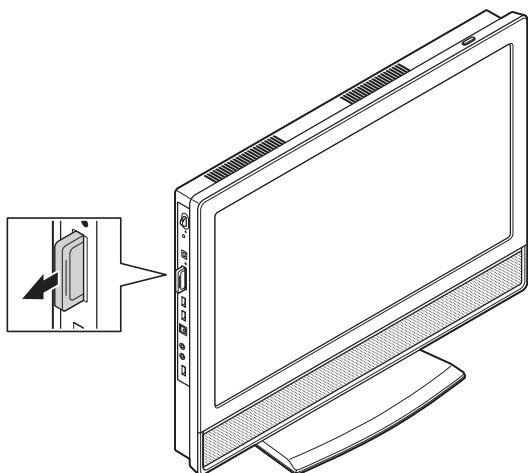
3 メモリーカードを軽く押す

メモリーカードが少し出てきます。

重要

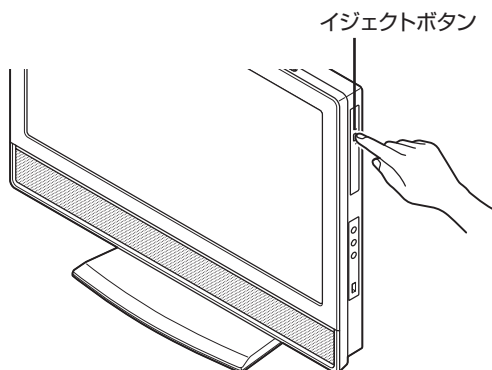
デュアルメモリースロットアクセスランプ点灯中は、メモリーカードを絶対に取り出さないでください。ドライブの故障やデータの不具合の原因になります。

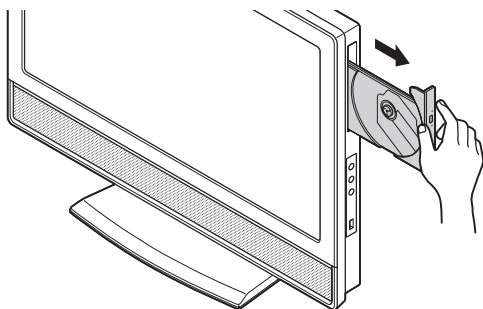
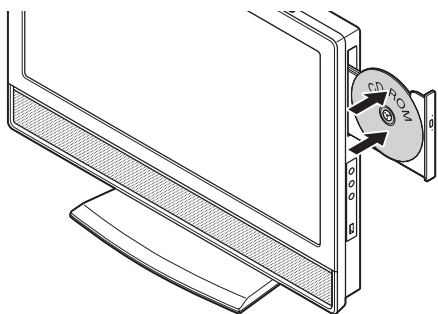
デュアルメモリースロットアクセスランプについて

▶「各部の名称(2)」(p. iii)

4 **メモリーカードをまっすぐに引き抜く**

ディスク(DVD/CDなど)

ディスクをセットする

1 イジェクトボタンを押し、ディスクトレイを出す

ディスクトレイが少し飛び出します。

2 ディスクトレイを手で引き出す

3 ディスクのデータ面(表裏にご注意ください)を背面側にしてディスクトレイの中央に置き、ディスクを軸にしっかりはめ込む

重要

- CDやDVDなどの取り扱い上の注意については、添付の『安全にお使いいただくために』を参照し、あらかじめ確認してください。また、すべてのCDやDVDの動作を保証することはできません。
- ブルーレイディスクドライブモデルで使用できるブルーレイディスクも、CDやDVDと同じように扱います。
- ディスクトレイは、パソコンの電源が入っているときのみ出すことができます。
- DVD/CDドライブ内のレンズには触れないでください。

重要

- 8cmと12cmのディスクが利用できます。
- 星型や名刺型などの円形ではない異形ディスクや、規格外に容量の大きな書き込みディスクなどは利用できません。

参照

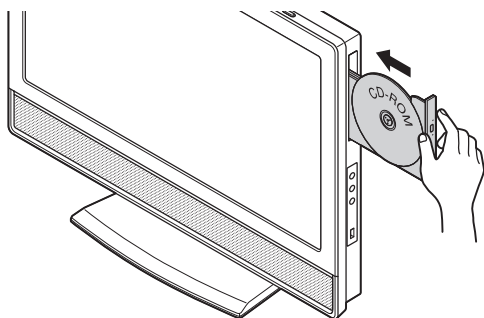
使用できるディスクやデータ形式について

→「ブルーレイディスク/DVD/CDドライブ」
▶「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 93070010で検索

4 ディスクトレイを押して、ディスクトレイをもとの位置に戻す

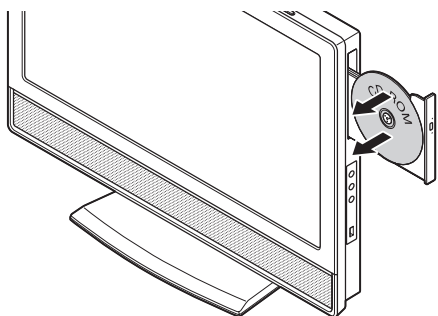
> **! 重要**
> ディスクトレイを戻す際には、無理な力を加えずに、まっすぐにゆっくりとディスクトレイを押してください。

ディスクを取り出す

> **! 重要**
> ・ ディスクトレイは、パソコンの電源が入っているときのみ出すことができます。
> ・ DVD/CDドライブ内のレンズには触れないでください。

1 イジェクトボタンを押す

ディスクトレイが少し飛び出します。

2 ディスクトレイを手で引き出す

3 ディスクを取り出す

4 ディスクトレイを押して、ディスクトレイをもとの位置に戻す

> **! 重要**
> ディスクトレイを戻す際には、無理な力を加えずに、まっすぐにゆっくりとディスクトレイを押してください。

CPRMのサポートに関する画面が表示されたら

3D対応モデル以外で、DVD/CDドライブにディスクを入れた直後に次の画面が表示された場合は、CPRMコンテンツを再生するためのデバイス鍵をダウンロードしてください。

1 **表示された画面で「OK」をクリックする**

自動的にInternet Explorerが起動し、登録画面が表示されます。

Corelオンライン登録ページにユーザー登録をおこなった電子メールアドレスとパスワードを入力して「サインイン」をクリックします。

2 **「DownloadNow」をクリックして、CPRM Packをダウンロードする**

3 **ソフトを終了する**

4 **ダウンロードしたCPRM.exeを起動する**

インストールが開始されます。画面の指示にしたがい操作してください。

5 **「Pack is successfully installed」と表示されたら、「OK」をクリックする**

重要

- CPRMはDVDなどに採用されている著作権保護機能です。この機能を含んだデータが録画されたDVDを視聴するためには、デバイス鍵をダウンロードする必要があります。
- CPRM Packのダウンロードをするには、インターネットに接続する必要があります。
- 3D対応モデルに搭載されている「PowerDVD 3D」を使用してCPRMコンテンツを再生する際は、デバイス鍵をダウンロードする必要はありません。

参考

Corelオンライン登録ページにユーザー登録をおこなっていない場合は、「登録」をクリックし登録をおこなってください。

6 **「Corel WinDVD AVC」または「Corel WinDVD BD」を起動し、CPRMコンテンツを含むディスクをセットする**

7 **「ユーザー アカウント制御」画面が表示されたら、「はい」をクリックする**

「Corel WinDVD AVC」または「Corel WinDVD BD」が再起動され、再生が始まります。

ディスクが取り出せなくなったときは

パソコンの電源が入っているにもかかわらずディスクトレイが出てこなくなった場合は、『トラブルの予防と解決』第3章の「その他のトラブルがおきたとき」-「DVD/CDドライブからディスクを取り出せなくなった」をご覧になり、解決しない場合は、次の操作でディスクを取り出してください。

注意

ペーパークリップを使うときは、ペーパークリップのとがった部分で指を切ったりしないように、注意して作業してください。

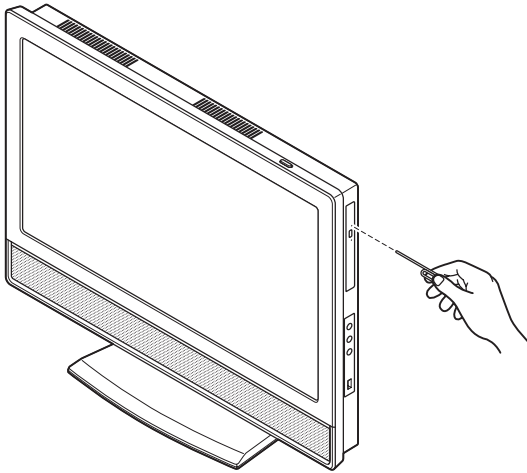
参考

パソコンの電源が入っていないと、イジェクトボタンを押してもディスクは出てきません。

1 パソコン本体の電源を切る

2 太さが1.3mm程度、まっすぐな部分の長さが45mm程度(指でつまむ部分を除く)の針金を用意する

大きめのペーパークリップを伸ばして作ることができます。

3 非常時ディスク取り出し穴に、手順2で作った針金を差し込み、押し込む

ディスクトレイが少し飛び出します。

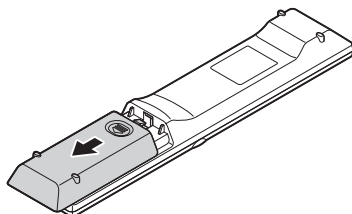
4 ディスクトレイを引き出し、ディスクを取り出す

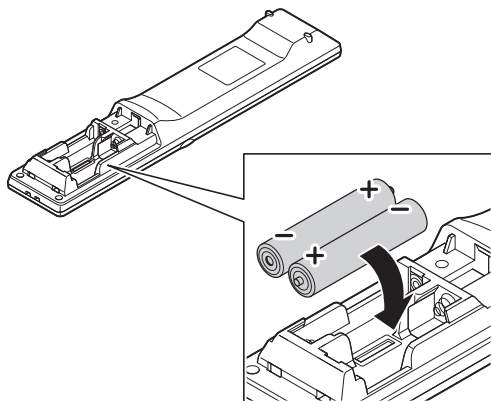
電源の切り方について
▶「電源の入れ方/切り方」(p.86)

穴の位置はモデルにより異なります。

リモコン

リモコンに乾電池を入れる

1 リモコン背面の電池カバーをスライドして取り外す

2 添付の単3形の乾電池を入れる

電池の向きに注意して入れてください。

3 電池カバーをもとのように取り付ける

リモコンの使用範囲について

リモコンを使うときは、本体から約3mの範囲で操作してください。

リモコンが使えるソフトについて

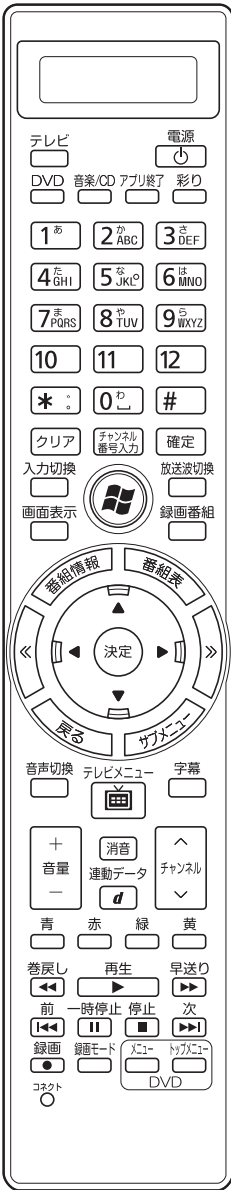
リモコンは、次のソフトで使うことができます。これ以外のソフトでリモコンを使用した場合には、ボタンが正しく動作しない可能性があります。

・「SmartVision」
・「WinDVD」(3D対応モデル以外)※
・「PowerDVD 3D」(3D対応モデルのみ)
・「Windows Media Center」
・「ぱっと観スライドショー」
・「ホームネットワークプレーヤー powered by DiXiM」

※「Corel WinDVD AVC」または「Corel WinDVD BD」

SmartVisionの操作について詳しくは『テレビを楽しむ本』をご覧ください。

ここでは、パソコンの電源が入っているときに、リモコンで使えるソフトのボタンと動作について説明しています。

リモコン対応ソフトの操作可能なボタンと動作（1）

ボタン	Windows Media Center	WinDVD※1
【DVD】※12	WinDVD※1またはPowerDVD 3Dの起動（全画面）	WinDVD※1の起動（全画面）
【音楽/CD】	Windows Media Center（音楽メニュー）の起動	－
【アプリ終了】	ソフトの終了	ソフトの終了
【彩り】	※2	※2
【1】から【12】、【＊】、【0】	数字や文字の入力※3	チャプター選択※3
【#】	文字入力時：入力モードの切換	－
【クリア】	選択したファイルの削除※4	全画面表示/ウインドウ表示の切り替え
【確定】	決定	メニュー再生時：選択 タイトル再生時：再生/一時停止
【Media Center】（ ）	Windows Media Centerのトップ画面を表示	Windows Media Centerを起動
【録画番組】	録画一覧を表示	－
【番組表】	Windows Media Centerを起動（Windows Media Centerが起動している場合はメッセージを表示）	－
【矢印】（▲ ▼ ◀ ▶）	項目の移動	メニュー再生時：項目の移動 タイトル再生時： 【▶】：早送り/【◀】：巻き戻し
【決定】	決定	メニュー再生時：選択 タイトル再生時：再生/一時停止
【《】	メニュー表示時：メニューの先頭項目へ移動	－
【》】	メニュー表示時：メニューの最後の項目へ移動	停止
【戻る】	ひとつ前の画面に戻る	－
【サブメニュー】	サブメニューを表示※3	右クリックメニューを表示
【音声切換】	－	音声モードの切換※11 （コンテンツが対応している場合のみ）
【字幕】	－	字幕のあるディスクで字幕を表示（字幕が2つ以上ある場合は順番に切換）
【音量】	音量を変更	音量を変更※5
【消音】	消音	消音
【チャンネル】	一覧が表示されている場合：項目の移動※3	－
【青】、【赤】、【緑】、【黄】	－	※6
【巻戻し】	巻戻し（押すごとに2倍速→3倍速→4倍速と変化）	巻き戻し※7
【再生】	再生	再生
【早送り】	早送り（押すごとに2倍速→3倍速→4倍速と変化）	早送り※7
【前】、【次】	前後のチャプターに移動	前後のチャプターに移動
【一時停止】	一時停止	一時停止/再生
【停止】	停止	停止
DVD 【メニュー】	－（DVD再生はWinDVDまたはPowerDVD 3Dでおこなう）	・DVD再生時 DVDのメニューを表示 ・ブルーレイディスク再生時 トップメニューを表示※8
DVD 【トップメニュー】	－	・DVD再生時 DVDのトップメニューを表示※9 ・ブルーレイディスク再生時 ポップアップメニューを表示※10

リモコン対応ソフトの操作可能なボタンと動作(2)

ボタン	ホームネットワークプレーヤー powered by DiXiM
【DVD】※12	−
【音楽/CD】	−
【アプリ終了】	ソフトの終了
【彩り】	※2
【1】から【12】、【＊】、【0】	ソフト上のキーボードで数字を入力※3
【#】	ソフト上のキーボードで#を入力
【クリア】	ソフト上のキーボードで1文字削除(前の文字)
【確定】	決定
【Media Center】()	Windows Media Centerを起動
【番組情報】	番組情報を表示(デジタル放送の番組、ビデオ、画像、音楽)
【矢印】(▲▼◀▶)	項目の移動
【決定】	決定 再生中は動作しない
【《】	ソフト上のキーボードで、入力位置の移動
【》】	ソフト上のキーボードで、入力位置の移動
【戻る】	一覧画面に戻る ユーザーマーク設定画面および再生リスト画面:一つ前の画面に戻る
【サブメニュー】	サブメニューを表示(フォーカス位置で異なる)
【音声切換】	音声モードの切換(コンテンツが対応している場合のみ)
【音量】	音量を変更
【消音】	消音
【青】	一覧画面:絞込み設定の全解除 ソフト上のキーボード画面:文字入力領域への移動
【赤】	一覧画面:表示モード切換 ソフト上のキーボード画面:文字入力切換などの領域への移動
【緑】	一覧画面:前のソートインデックスへ移動 ソフト上のキーボード画面:予測変換領域への移動
【黄】	一覧画面:次のソートインデックスへ移動 ソフト上のキーボード画面:文字変換領域への移動
【巻戻し】	ビデオの場合:巻戻し(押すごとに3倍速→15倍速→60倍速→240倍速と変化) 音楽の場合:− 写真の場合:−
【再生】	再生
【早送り】	ビデオの場合:早送り(押すごとに3倍速→15倍速→60倍速→240倍速と変化) 音楽の場合:早送り(押すごとに2倍速→4倍速→8倍速と変化) 写真の場合:−
【前】、【次】	・前のコンテンツへ移動、または最初に戻る(【前】) ビデオの場合、30秒前にスキップ(【前】) ・次のコンテンツへ移動(【次】) ビデオの場合、30秒後にスキップ(【次】)
【一時停止】	一時停止
【停止】	停止

基本機能

リモコン対応ソフトの操作可能なボタンと動作(3)

ボタン	ぱっと観スライドショー
【DVD】※12	―
【音楽/CD】	―
【アプリ終了】	ソフトの終了
【彩り】	※13
【確定】	【決定】と同じ動作
【決定】	フォトムービー・フォトブック画面(サブメニュー表示時):フォーカス中の項目を実行 フォトムービー・フォトブック画面(一時停止、サブメニュー非表示時):表示モード(通常サイズ(1倍)/全画面表示/拡大表示/ピクセル等倍/2枚表示)の切換 一覧画面:フォーカスのある写真を先頭にしてフォトムービー開始 選んで取り込む画面:フォーカス中の項目を実行 写真の選択・選択解除
【Media Center】()	Windows Media Centerを起動
【矢印】(▲▼◀▶)	フォトムービー画面:左右:写真戻し/送り フォトブック画面:左右:ページもどり/めくり 一覧画面:サムネイルのフォーカスを上下左右に移動
【決定】	フォトムービー・フォトブック画面(サブメニュー表示時):フォーカス中の項目を実行 フォトムービー・フォトブック画面(一時停止、サブメニュー非表示時):表示モード(通常サイズ(1倍)/全画面表示/拡大表示/ピクセル等倍/2枚表示)の切換 一覧画面:フォーカスのある写真を先頭にしてフォトムービー開始 アップロード写真選択画面:フォーカス中の項目を実行 写真の選択・選択解除
【《】	フォトムービー画面:先頭の写真へ フォトブック画面:先頭のページへ 一覧画面:先頭の写真へフォーカスが移動
【》】	フォトムービー画面:最後の写真へ フォトブック画面:最後のページへ 一覧画面:最後の写真へフォーカスが移動
【戻る】	ひとつ前の画面に戻る
【サブメニュー】	サブメニュー(画面右側のメニュー)表示/非表示
【音量】	音量を変更
【消音】	消音
【前】	フォトムービー画面:写真戻し フォトブック画面:ページ戻し 一覧画面:前の写真へフォーカスが移動
【再生】	再生
【次】	フォトムービー画面:写真送り フォトブック画面:ページめくり 一覧画面:次の写真へフォーカスが移動
【一時停止】	一時停止
【停止】	停止

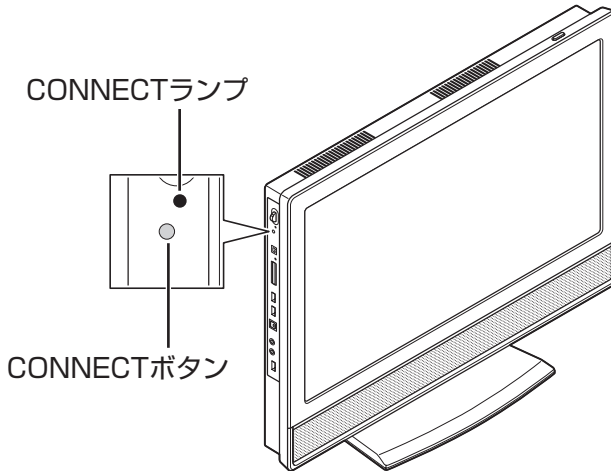
リモコン対応ソフトの操作可能なボタンと動作(4)(3D対応モデルのみ)

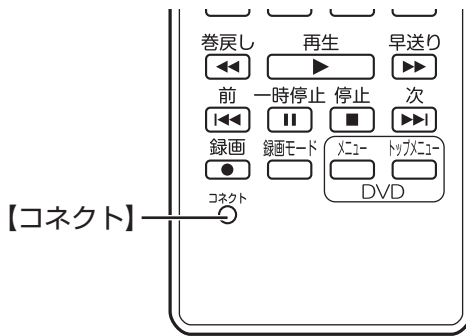
ボタン	PowerDVD 3D
【DVD】※12	PowerDVDの起動(全画面)
【アプリ終了】	ソフトの終了
【彩り】	※2
【確定】	決定
【Media Center】(⊞)	Windows Media Centerを起動
【矢印】(▲ ▼ ◀ ▶)	項目の移動
【決定】	決定
【サブメニュー】	右クリックメニューを表示
【音声切換】	音声モードの切換(コンテンツが対応している場合のみ) (音声モードが2つ以上ある場合は順番に切換)
【字幕】	字幕のあるディスクで字幕を表示(字幕が2つ以上ある場合は順番に切換)
【音量】	音量を変更※5
【消音】	ミュート
【青】、【赤】、【緑】、【黄】	ブルーレイディスクで使用(動作はコンテンツによる)
【巻戻し】	巻き戻し(押すごとに1.1倍速→1.2倍速→1.5倍速→2.0倍速→3.0倍速→4.0倍速→8.0倍速→16.0倍速→32.0倍速と変化)
【再生】	再生
【早送り】	早送り(押すごとに1.1倍速→1.2倍速→1.5倍速→2.0倍速→3.0倍速→4.0倍速→8.0倍速→16.0倍速→32.0倍速と変化)
【前】、【次】	前後のチャプターに移動
【一時停止】	一時停止
【停止】	停止
DVD【メニュー】	・DVD再生時 DVDのメニューを表示 ・ブルーレイディスク再生時 トップメニューを表示※8
DVD【トップメニュー】	・DVD再生時 DVDのトップメニューを表示※9 ・ブルーレイディスク再生時 ポップアップメニューを表示※10

※ 1: 3D対応モデル以外に搭載されている「Corel WinDVD AVC」または「Corel WinDVD BD」を指します(ご購入のモデルによって添付されるソフトは異なります)。
※ 2: 「彩りプラスの設定」が搭載されているモデルでは「彩りプラスの設定」がそれ以外のモデルでは「彩りの設定」が動作します。「彩りプラスの設定」または「彩りの設定」について詳しくは、「第6章 おすすめ機能」の「彩りプラスの設定」または「彩りの設定」をご覧ください。
※ 3: 操作するソフトやメニューによって、使用できるボタンは異なります。
※ 4: メニューによっては、動作しない場合があります。
※ 5: Windowsの音量が変化します。
※ 6: ブルーレイディスクによって、使用する場合があります。詳しくはディスクに添付されているマニュアルをご覧ください。
※ 7: 押すたびに速度が変化します(速度はディスクによって異なります)。
※ 8: タイトルによってはディスクに収められたプログラム(BD-J)の動作にしたがうために、メニューが表示されないことがあります。
※ 9: トップメニューがあるタイトルのみ。
※10: ポップアップメニューがあるタイトルのみ。
※11: 一部のディスクタイトルやテレビ放送から作成したディスクでは、[サブメニュー]-[音声切換]-[ステレオ/主音声/副音声] で切換可能。
※12: SmartVision起動中は動作しません。
※13: 「彩りプラスの設定」が搭載されているモデルでは「彩りプラスの設定」が動作します。「彩りの設定」が搭載されているモデルでは動作しません。

リモコンを登録しなおす

リモコンが正しく動作しないときは、何らかの原因でパソコン側の登録が解除されてしまったことが考えられます。
次の手順でリモコンを登録しなおしてください。

1 本体左側面にあるCONNECTボタンを押す

CONNECTランプが点滅します。

2 CONNECTランプが点滅している間に、つま楊枝の根元の部分など先端に丸みのあるもので、リモコンの【コネクト】を約1秒間押す

登録が完了するとCONNECTランプは消灯します。リモコンを操作して、正常に動作するかを確認してください。

参考

パソコンを修理･交換した場合も、登録しなおす必要があります。

参考

CONNECTランプは約30秒間で消灯します。

基本編

第5章

パソコンに取り付ける

この章では、パソコンにいろいろな機器を取り付けるためのコネクタについてや、内部に新しい部品を取り付けたりする方法を説明します。
パソコン内部に部品を取り付けるときは、内部のほかの部品を傷つけたりしないよう、説明をよく読んでから作業してください。

周辺機器を取り付ける

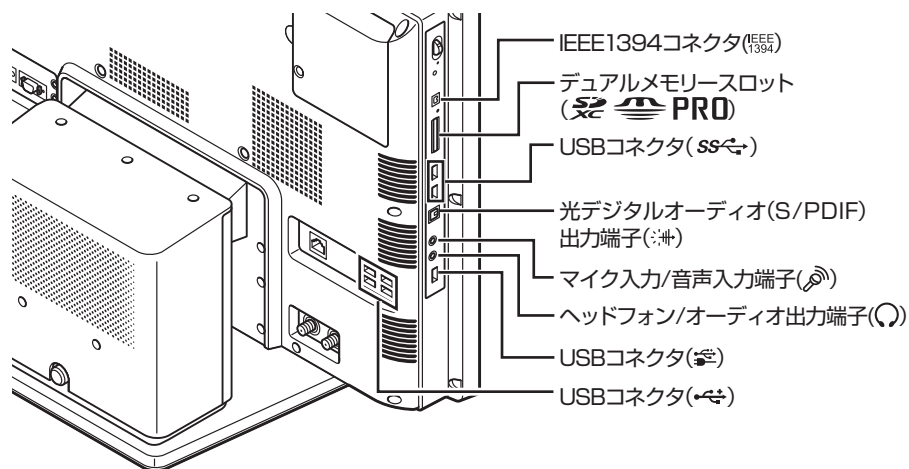
ここではこのパソコンに取り付けられる周辺機器や取り付けるためのコネクタの位置などについて説明します。具体的な取り付けの手順や注意については、各周辺機器のマニュアルや「ソフト&サポートナビゲーター」をご覧ください。

取り付ける周辺機器と使用するコネクタ

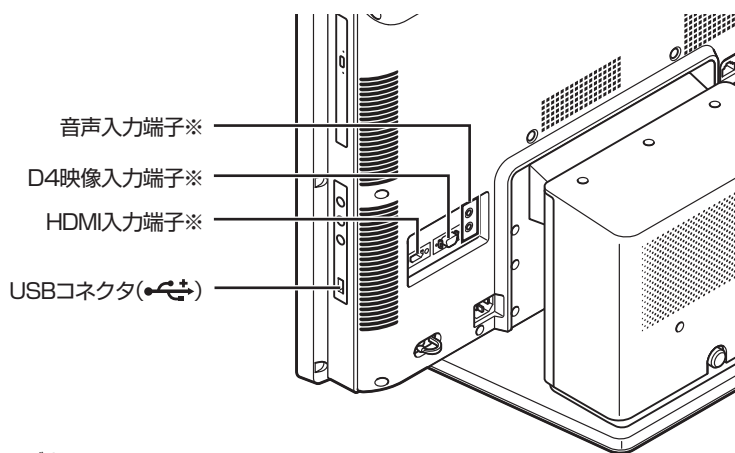
取り付けられる機器	使用するコネクタ
プリンタ、イメージスキャナ、USBマウス、USBメモリーなど	USBコネクタ →「USBコネクタ」 ▶「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 93015010で検索
IEEE1394規格に対応した、デジタルビデオカメラ、外付け用ハードディスクなど	IEEE1394コネクタ →「IEEE1394(DV)コネクタ」 ▶「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 93015020で検索
SDメモリーカード、メモリースティックなど	デュアルメモリースロット →「デュアルメモリースロット」 ▶「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 93015105で検索
D端子出力(コンポーネント端子出力)に対応した、ゲーム機やハードディスクプレーヤなどの機器※	音声入力端子、D4映像入力端子 →「外部入力端子」 ▶「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 93015260で検索 外部映像を表示する →「外部入力機能」 ▶「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 93192010で検索
HDMI出力に対応した、ゲーム機やハードディスクプレーヤなどの機器※	HDMI入力端子 →「外部入力端子」 ▶「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 93015260で検索 外部映像を表示する →「外部入力機能」 ▶「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 93192010で検索

※:HDMI/D端子を搭載しているモデルのみ

取り付けられる機器	使用するコネクタ
マイクロフォン	マイク入力/音声入力端子 →「マイク入力/音声入力端子」 ▶「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 93015195 で検索
ヘッドフォン、オーディオ入力のあるAV機器	ヘッドフォン/オーディオ出力端子 →「ヘッドフォン/オーディオ出力端子」 ▶「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 93015180 で検索
AVアンプなど、デジタル入力機能を持ったオーディオ機器	光デジタルオーディオ(S/PDIF)出力端子 →「光デジタルオーディオ(S/PDIF)出力端子」 ▶「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 93015150 で検索

本体左側面

本体背面/右側面

※:HDMI/D端子を搭載しているモデルのみ

パソコンに取り付ける

メモリ

より大きな容量のメモリをパソコンの内部に取り付けることで、ソフトを同時に起動したり、大きなデータを扱う際、より高速に処理することができるようになります。

参考

このパソコンでは最大8Gバイトのメモリを搭載可能ですが、PCIデバイスなどのメモリ領域を確保するために、すべての領域を使用することはできません。また、装置構成によってご利用可能なメモリ容量は異なります。

メモリを増やす流れ

●増設の準備

▶ メモリ容量を確認する(p.117)
▶ メモリスロットを確認する(p.117)
▶ このパソコンで使えるメモリ(p.118)

●増設メモリ(別売)を購入

●増設メモリの取り付け

▶ メモリを取り扱うときのご注意(p.118)
▶ メモリを取り外す(p.119)
▶ メモリを取り付ける(p.120)

●メモリが増えているか確認

▶ 増やしたメモリ容量を確認する(p.121)

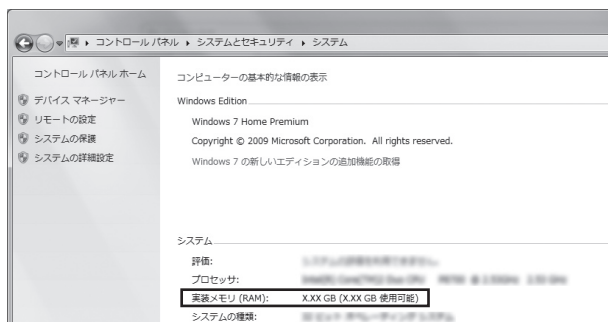
メモリ容量を確認する

次の手順でお使いのモデルのメモリ容量を確認できます。
メモリをどれぐらい増やせるかの参考にしてください。

1 「スタート」-「コントロールパネル」-「システムとセキュリティ」-「システム」をクリックする

表示された画面の「実装メモリ(RAM)」を確認してください。

参考

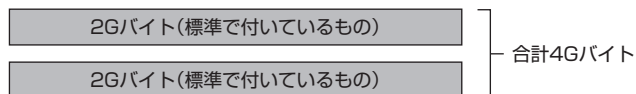
メモリ容量は実際より少なく表示される場合がありますが、故障ではありません。

メモリスロットを確認する

●このパソコンのメモリスロットについて

このパソコンには、メモリを差し込むスロット(コネクタ)が、2つ用意されています。

●メモリスロットへの取り付けについて

ここでは、ご購入時に各スロットに2Gバイトのメモリが取り付けられている場合を例として、増設メモリをメモリスロットへ取り付ける手順を説明します。

2Gバイト(標準で付いているもの)
2Gバイト(標準で付いているもの)
合計4Gバイト

この場合、すでにスロットにメモリが差し込まれている状態で、空いているスロットがありません。そのため、ご購入時に付いているメモリを取り外してスロットを空け、より大きな容量の増設メモリを取り付けなおすことで、メモリを増やします。

参考

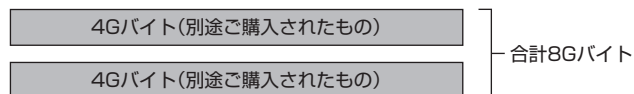
このパソコンはデュアルチャネルに対応しています。デュアルチャネルとは、同容量の2枚のメモリに同時にアクセスすることで、メモリのデータ転送性能を高速化する技術のことです。

重要

- **デュアルチャネルメモリの性能を最大限に引き出すために、2つのスロットに同容量のメモリを搭載しています。スロットごとに異なる容量のメモリを搭載しても動作しますが、一部のソフトでは十分な性能が出ない場合があるため、動作保証しておりません。増設時は、2つのスロットが同容量になるように、増設することをおすすめします。**
- **このパソコンでは最大8Gバイトの容量までメモリを搭載できます。その場合、4Gバイトずつのデュアルチャネルで動作します。**

例:メモリを8Gバイト(最大)に増やす場合

まず、ご購入時に各スロットに取り付けられている2Gバイトのメモリ2枚を取り外して、いったんスロットを空にします。次に空になった各スロットに4Gバイトの増設メモリを取り付けます。

4Gバイト(別途ご購入されたもの)
4Gバイト(別途ご購入されたもの)
合計8Gバイト

このパソコンで使えるメモリ

次のタイプの増設メモリ(別売)をおすすめします。

型　名	メモリ容量
PC-AC-ME048C	4Gバイト

(DDR3 SDRAM/SO-DIMM、PC3-8500タイプ)

重要

- 左のタイプ以外の増設メモリには、このパソコンで使えないものがあります。ご購入前に確認してください。
- NECでは市販の増設メモリに関する動作保証やサポートはおこなっていません。販売元にお問い合わせください。

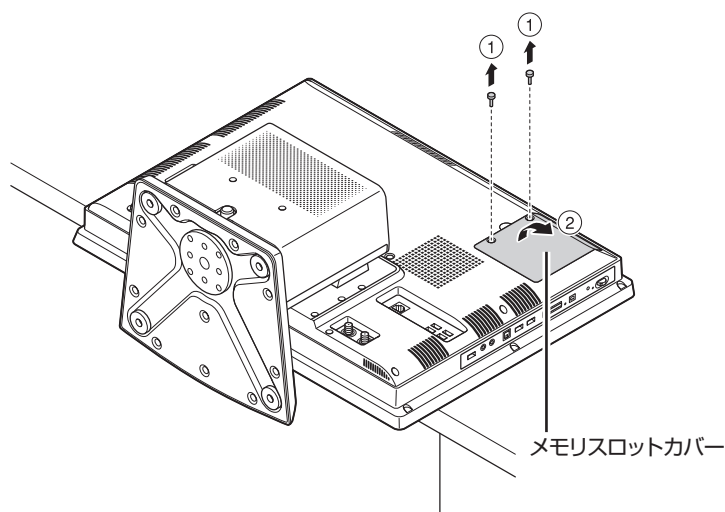
メモリを取り扱うときのご注意

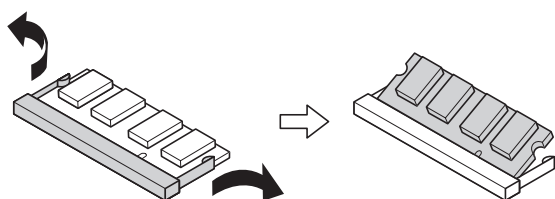
- メモリは静電気に大変弱い部品です。身体に静電気を帯びた状態で扱うと破損する原因になりますので、アルミサッシやドアのノブなど身近な金属に触れて静電気を取り除いてください。
- メモリは、大変壊れやすい部品です。メモリを取り外した際は、大切に保管してください。再セットアップをおこなうときに必要となる場合があります。
- メモリがパソコン内部に落下しないように、メモリの取り外しや取り付けをおこなう際は、かならずディスプレイ側を下にしてパソコン本体を伏せて作業してください。

メモリを取り外す

1 **本体に接続されたケーブルをすべて取り外し、ディスプレイ側を下にして伏せる**

2 **メモリスロットのカバーを取り外す**

図のネジをゆるめて、メモリスロットカバーを外します。

3 **メモリスロットの両端を左右に押し広げる**

メモリが起き上がります。

4 **起き上がったメモリをそのまま斜めに引き抜く**

5 **メモリスロットのカバーをもとに戻し、外したネジでカバーを取り付ける**

6 **本体を立て、手順1で取り外したケーブルを取り付ける**

参考

イラストは実際の製品と異なることがあります。

重要

- 本体を伏せるときはディスプレイを傷つけないよう、厚手の紙や布などを下に敷いてください。
- 本体を伏せるときは、ディスプレイの高さ調節機能を必ずロックし、スタンドがはみ出るように机の端などに置いて伏せてください。

参照

ディスプレイの高さ調節機能のロックについて

▶「高さ調節機能をロックする」(p.10)

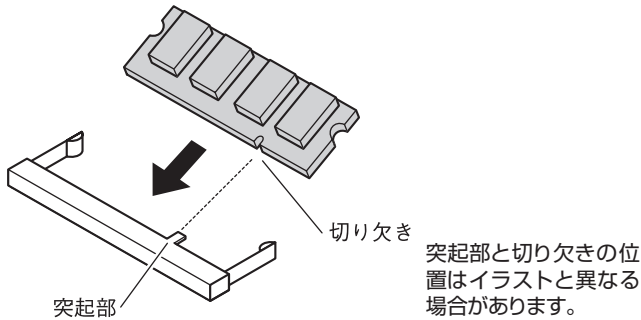
重要

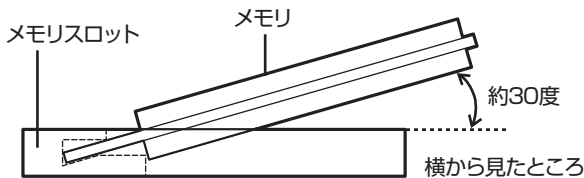
- メモリスロットの両端を開きすぎて破損してしまわないように気を付けてください。
- メモリスロットの周りの部品を傷つけないよう気を付けてください。

メモリを取り付ける

1 「メモリを取り外す」の手順1 ～ 2をおこない、メモリスロットのカバーを取り外す

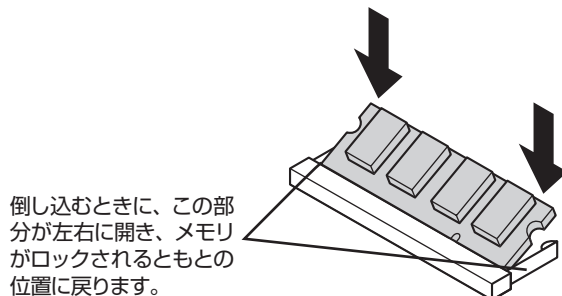
2 メモリの切り欠き部分と、メモリスロットにある突起部を合わせる

突起部と切り欠きの位置はイラストと異なる場合があります。

3 メモリをメモリスロットに奥まで差し込む

メモリの端子部分(金色)がメモリスロットの奥に当たるまで差し込みます。

端子部分のほとんどが、メモリスロットに差し込まれた状態になります。

4 メモリを強く倒し込む

カチッと音がする位置まで強く倒し込みます。

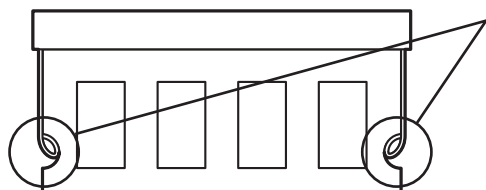
参考

イラストは実際の製品と異なることがあります。

重要

- メモリの金属端子部分には手を触れないでください。接触不良など、故障の原因になります。
- メモリの表と裏が間違っている場合、差し込むことができません。間違った向きのままで無理に取り付けようとすると、メモリスロットやメモリが破損する原因になりますので注意してください。

重要

差し込むときに、メモリスロットが固いことがありますが、奥までしっかり押し込んでください。しっかり押し込まずに次の手順をおこなうと、メモリスロットやメモリを破損するおそれがあります。

5 **メモリがメモリスロットにロックされたことを確認する**

正しくロックされている場合は、メモリが水平で、端子の金色の部分が少し(1mm程度)見える状態です。

6 **メモリスロットのカバーをもとに戻し、外したネジでカバーを取り付ける**

7 **本体を立て、取り外したケーブルを取り付ける**

重要

確実にロックされていないと、メモリスロットやメモリの故障の原因になります。また、パソコンが正しくメモリを認識できません。

増やしたメモリ容量を確認する

パソコンの電源を入れ、メモリを増やす前に確認したときと同様の手順で、メモリ容量が増えているか確認できます。

● **表示されたメモリ容量が増えていなかった場合**

次のことを確認してください。

・正しく取り付けられているか？

・このパソコンで使えるメモリを取り付けているか？

参照

メモリ容量を確認する

▶「メモリ容量を確認する」(p.117)

重要

メモリを増設した場合、初期化のため、電源を入れてからディスプレイの画面が表示されるまで時間がかかることがあります。

参考

実際に利用できるメモリ容量は、取り付けたメモリの総容量より少ない値になります。

基本編

第6章 おすすめ機能

この章では、このパソコン特有の機能について説明しています。パソコンの設定が終わったら、説明を読んでパソコンをさらに使いこなしてみましょう。

複数のパソコンを使う

このパソコンには、複数のパソコンでデータを共有する機能や、ネットワークを作ってほかのパソコンやオーディオ機器にある写真、映像、音楽を視聴する機能など、このパソコンをほかのパソコンと連携させて活用するための便利な機能が用意されています。

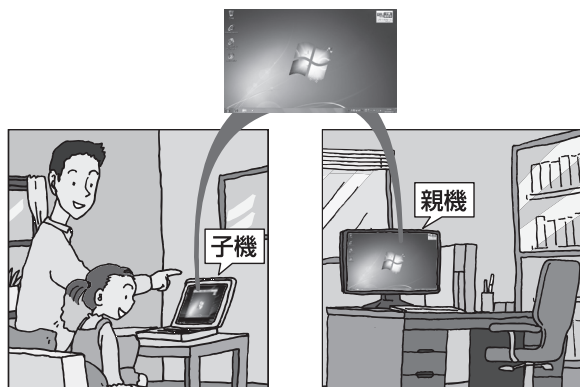
ここでは、複数のパソコンを使う際に用意されている機能について紹介します。詳しい内容については、各マニュアルをご覧ください。

参照
→「複数台利用でできること」
▶「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 91090010 で検索

機能	使用するソフト	機能の説明
パソコンを遠隔操作する（次ページ）	「Luiリモートスクリーン（親機版）」 「Luiリモートスクリーン（子機版）」	自宅のパソコンを、別の部屋にあるパソコンから遠隔操作したり、外出先からインターネット経由で利用したりできます。
データや設定を移行する	「ファイナルパソコンデータ引越し」	パソコンのデータや設定などをまとめて一度に、このパソコンへ移行します。
データを同期・共有する	「FlyFolder」	複数のパソコンで、特定のフォルダを常に同期をとるように設定すると、最新のデータを共有できます。
写真、映像、音楽コンテンツをやりとりする	「ホームネットワークサーバー powered by DiXiM」 「ホームネットワークプレーヤー powered by DiXiM」	DLNAに対応したほかのパソコンとの間で写真、映像、音楽コンテンツなどを相互に視聴することができます。
テレビ番組をやりとりする	「ホームネットワークサーバー powered by DiXiM」 「ホームネットワークプレーヤー powered by DiXiM」	ほかのパソコンやハードディスクレコーダー※で録画したデジタル放送の番組を視聴することができます。また、SmartVisionで録画したデジタル放送の番組を配信することができます。

※：配信機能があるDTCP-IP対応機器。

パソコンを遠隔操作する（Luiリモートスクリーン）

Luiリモートスクリーンを使うと、家庭内のネットワークやインターネットに接続した2台のパソコンで、自宅内はもちろん、自宅外からも、一方のパソコンから他方のパソコンを操作できるようになります。

※親機の画面が子機に表示され、子機側で親機の画面を操作できます。

利用するためには、ソフトのインストールや接続の設定が必要になります。機能の説明について詳しくは、デスクトップにある（「Luiリモートスクリーンのご紹介」アイコン）をダブルクリックして、表示される説明をご覧ください。
デスクトップにアイコンがない場合には、「ソフト&サポートナビゲーター」からもご覧いただけます。「ほかのパソコンを遠隔操作する（Luiリモートスクリーン）」（「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 91090020で検索）をご覧ください。

また使い方については、次のマニュアルも参照してください。

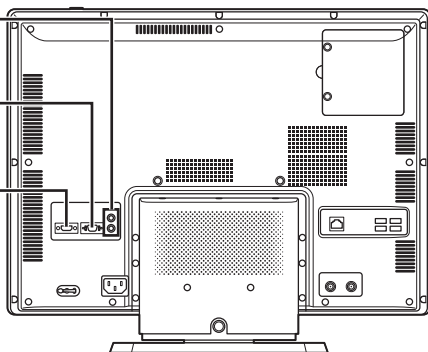
● **家の中だけで使いたいときの設定方法**
→「Luiかんたんスタートマニュアル」

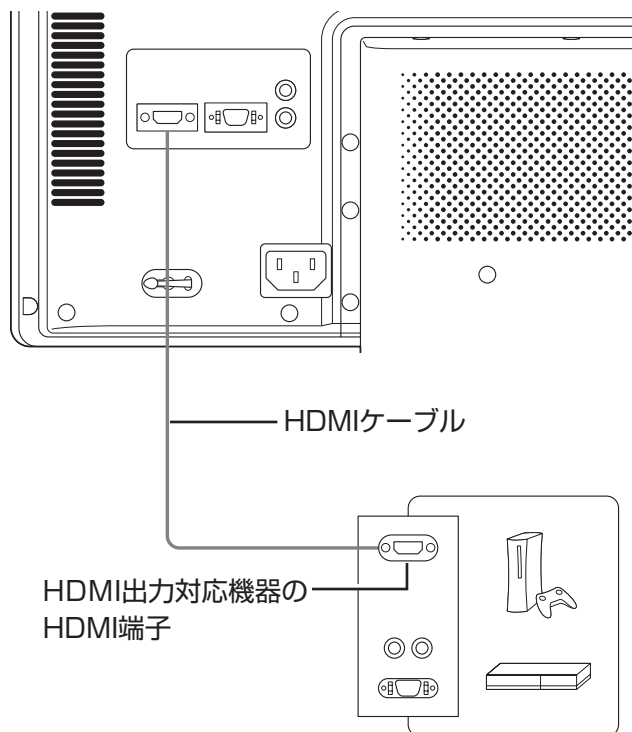
● **モバイル通信などを利用して、家の外からも接続するときの設定方法**
→「Luiリモートスクリーンマニュアル」

参照

→「Luiかんたんスタートマニュアル」
▶「スタート」-「すべてのプログラム」-「Luiリモートスクリーン」-「Luiかんたんスタートマニュアル」
→「Luiリモートスクリーンマニュアル」
▶「スタート」-「すべてのプログラム」-「Luiリモートスクリーン」-「Luiリモートスクリーンマニュアル」

HDMIコネクタ/D4端子(外部入力)

HDMI/D端子を搭載しているモデルでは、HDMI入力端子やD4映像入力端子に、HDMI出力またはD端子出力に対応したゲーム機やDVDプレーヤーなどの機器を接続し、各機器の外部ディスプレイとして映像を表示させることができます。この機能は、パソコンの電源が切れている状態でも利用できます。

●HDMI入力端子に接続する場合

パソコンとHDMI出力に対応した、ゲーム機やハードディスクプレーヤーなどの機器を、HDMIケーブルでパソコンと接続します。

重要

外部入力端子はディスプレイ表示用の入力端子です。映像の取り込み用途には使用できません。

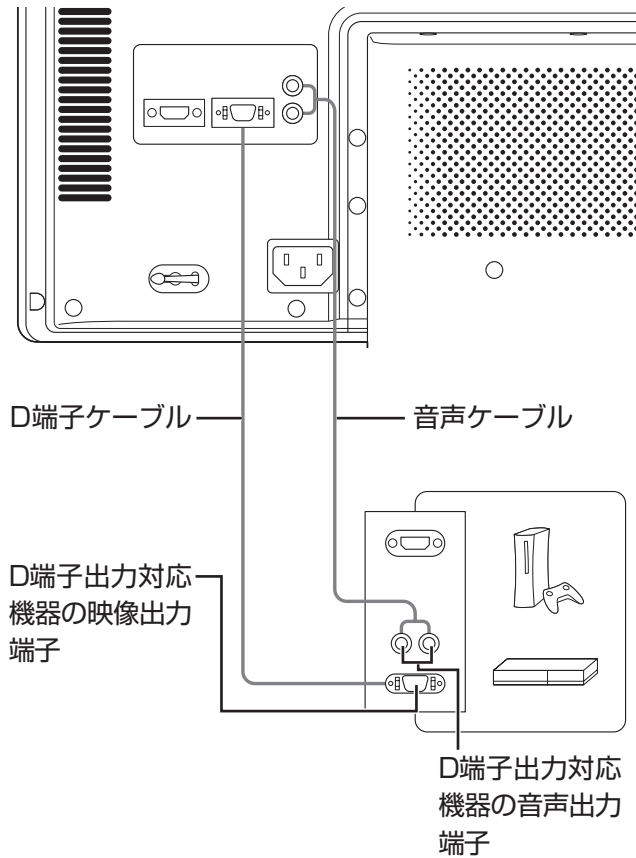
参照

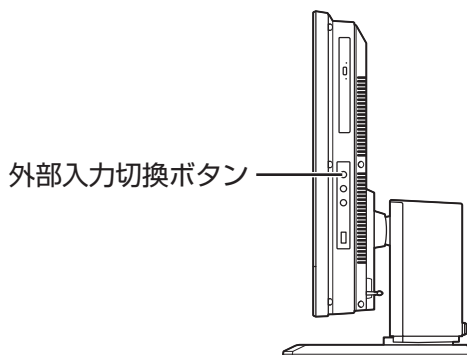
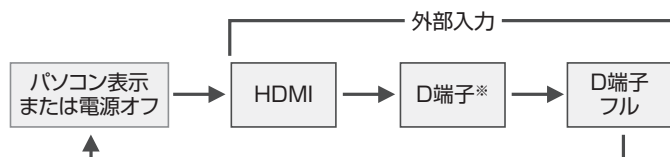
接続方法について詳しくは、
▶パソコンに入力する各機器のマニュアル
または
→「外部入力端子」
▶「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 93015260 で検索

重要

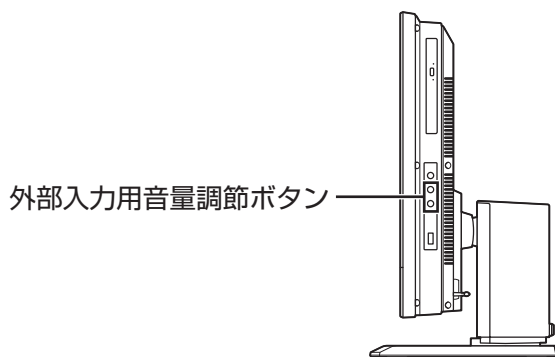
- **パソコンに接続するケーブルの名称や種類、ケーブルを接続する端子名は各機器によって異なる場合があります。詳しくは、パソコンに入力する各機器のマニュアルなどを参照してください。**
- **HDMIケーブルやD端子ケーブルは、別途市販のものをお買い求めください。**
- **すべてのHDMI規格やD4端子の規格に準拠した機器との動作を保証するものではありません。**
- **HDMIケーブルはHDMIロゴの入っているものをお使いください。**
- **3D対応モデルで3D機能に対応した市販の機器を接続しても、3Dコンテンツの表示はおこなえません。**

●D4映像入力端子に接続する場合

パソコンとD端子出力(コンポーネント端子出力)に対応した、ゲーム機やハードディスクプレーヤーなどの機器をD端子ケーブルおよび音声ケーブルなどで接続します。

画面の入力を切り換える

画面の入力の切り換えは、本体右側面の外部入力切換ボタンでおこないます。

外部入力切換ボタンを押すたびに、次のように画面の表示を切り換えることができます。外部入力のモードのときは、本体前面のD4 HDMIが点灯します。

※D4映像入力端子の映像を「D端子」で表示したとき、縦横比が合わずに映像が縦に引き延ばされた場合には「D端子フル」に切り換えてお使いください。

外部入力の音量を調節する

パソコンのディスプレイを、HDMI規格やD4端子の規格に準拠した機器のモニタとして利用しているときの音量の調節は、本体右側面の外部入力用音量調節ボタンでおこないます。

参考

リモコンの【入力切換】を押して、画面の入力を切り換えることもできます。

参照

外部入力機能
→「外部入力機能」
▶「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 93192010で検索

参考

- 電源オフを表示した状態にすると3秒後に本体の電源が切れます。
- リモコンの【入力切換】を押して、画面の入力を切り換えることもできます。外部入力モードのときは、リモコンの液晶部分にD4 HDMIが表示されます。

重要

パソコンにHDMIコネクタやD4端子に接続した機器の画面を表示させているときは、キーボードの音量ボタンで音量を調節することはできません。

参考

リモコンの【音量】を押して外部入力の音量を調節することもできます。

彩りプラスの設定

「彩りプラスの設定」が搭載されているモデルでは、「ダイナミックモード」で赤や緑をより鮮やかに表示したり、「シネマモード」で落ち着いた色合いに表示するなど、お好みの画質を選択することができます。

参考

彩りプラスの設定をおこなうことであらかじめ選択できるソフト以外にほかのソフトを追加することもできます。

彩りプラス機能が使えるソフト

- 「WinDVD」(3D対応モデル以外)※
- 「PowerDVD 3D」(3D対応モデルのみ)
- 「Windows Media Player」
- 「Windows Media Center」
- 「SmartVision」
- 「ぱっと観スライドショー」
- 「ホームネットワークプレーヤー powered by DiXiM」

※「Corel WinDVD AVC」または「Corel WinDVD BD」

画質モードを切り換える

● **リモコン**

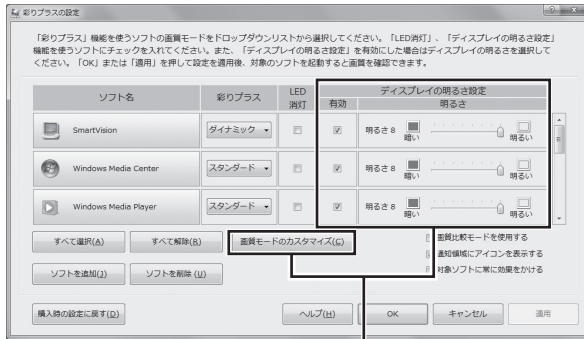
リモコンでは【彩り】を押すたびに、「ダイナミック」→「スタンダード」→「シネマ」→「フォト」→無効…と画質モードが切り換わります。

重要

リモコンでは、機能を使えるソフトが起動しているときにのみ【彩り】が動作します。

「SmartVision」では「ダイナミック」→「スタンダード」→「シネマ」→無効…と画質モードが切り換わります。

設定を変更するには

「スタート」-「すべてのプログラム」-「彩りプラスの設定」-「彩りプラスの設定」をクリックして表示される「彩りプラスの設定」画面で設定を変更します。

画質や明るさを調節できます。

「彩りプラスの設定」の機能を使えるソフトについて、機能を有効にして明るさやコントラストなどの画質を設定すると、ソフトを起動したとき自動的に設定した画質に切り換わります。詳しくは、「彩りプラスの設定」のヘルプをご覧ください。

重要

3D対応モデル以外で「彩りプラスの設定」が有効になっていると、「Corel WinDVD AVC」または「Corel WinDVD BD」の「アドバンス設定-カラー」では画質調節をおこなえないことがあります。「彩りプラスの設定」で調節してください。
「アドバンス設定-カラー」で画質を調節する場合は、「彩りプラスの設定」の効果を無効にしてください。無効にする方法について詳しくは、「彩りプラスの設定」のヘルプをご覧ください。

彩りの設定

「彩りの設定」が搭載されているモデルでは、「彩りの設定」の機能を使って、映像の画質を変えることができます。

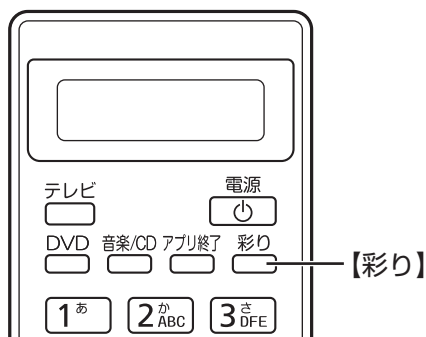
この機能が使えるソフト

- 「WinDVD」※
- 「Windows Media Player」
- 「Windows Media Center」
- 「SmartVision」
- 「ホームネットワークプレーヤー powered by DiXiM」

※「Corel WinDVD AVC」または「Corel WinDVD BD」

参考

「Corel WinDVD AVC」または「Corel WinDVD BD」をお使いの場合、ディスク形式によっては「彩りの設定」が反映されないことがあります。

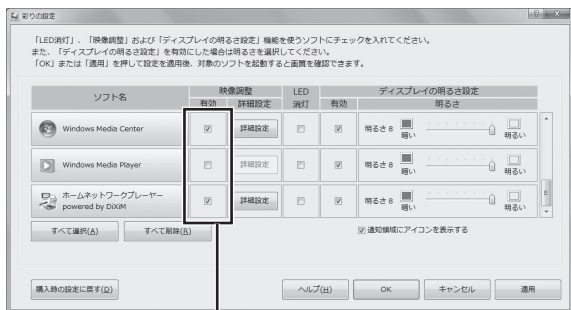
彩りの設定の有効/無効を切り換える

●リモコン

1回ボタンを押すと、現在の設定状況が表示されます。もう一度ボタンを押すと有効/無効が切り換わります。

重要

リモコンでは、機能を使えるソフトが起動しているときにのみ【彩り】が動作します。

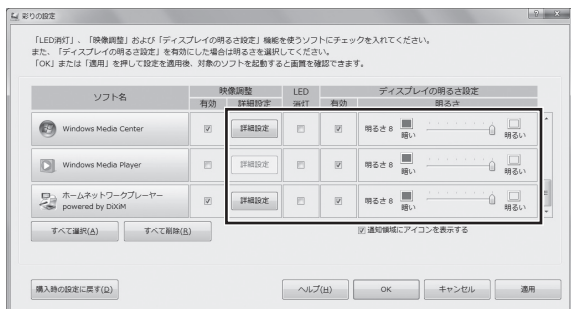
●「彩りの設定」設定画面

「スタート」-「すべてのプログラム」-「彩りの設定」-「彩りの設定」をクリックして「彩りの設定」を起動します。

彩りの設定を有効にするときは☑、無効にするときは□にして「OK」をクリックする

参考

あらかじめ設定画面で彩りの設定が有効になっているソフトは、画面右下の通知領域から「彩りの設定」の有効/無効を一時的に切り換えることもできます。画面右下の通知領域に が表示されている場合は、右クリックをして表示されたメニューから設定します。通知領域のアイコンは隠れている場合がありますので、 をクリックして確認してください。

設定を変更するには

「スタート」-「すべてのプログラム」-「彩りの設定」-「彩りの設定」をクリックして表示される「彩りの設定」画面で設定を変更します。

「彩りの設定」の機能を使えるソフトについて、機能を有効にして明るさやコントラストなどの画質を設定すると、ソフトを起動したとき自動的に設定した画質に切り換わります。詳しくは、「彩りの設定」のヘルプをご覧ください。

重要

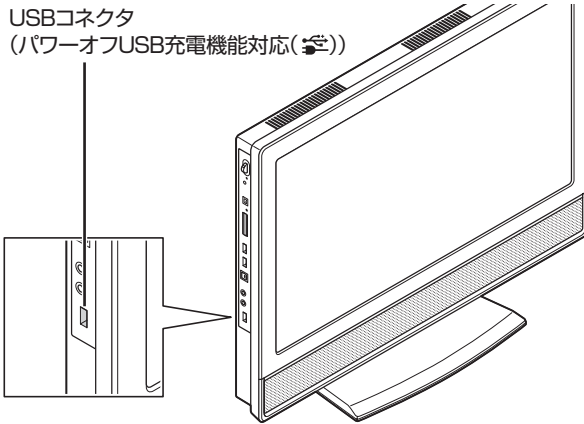
「彩りの設定」が有効になっていると、「Corel WinDVD AVC」または「Corel WinDVD BD」の「アドバンス設定-カラー」では画質調節をおこなえないことがあります。「彩りの設定」で調節してください。
「アドバンス設定-カラー」で画質を調節する場合は、「彩りの設定」の効果を無効にしてください。無効にする方法について詳しくは、「彩りの設定」のヘルプをご覧ください。

参考

「LED消灯」を有効にして、「彩りの設定」の機能を使えるソフトを「全画面表示」にしたとき、ディスプレイの周りのLEDランプを自動的に消灯するように設定することもできます。詳しくは、「彩りの設定」のヘルプをご覧ください。

パワーオフUSB充電機能

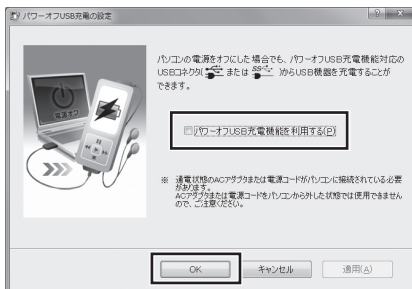
このパソコンの左側面には、パワーオフUSB充電機能に対応したUSBコネクタがあります。

このUSBコネクタでは、USBケーブルを使って充電できる機器※1を充電するとき、電源が切れた状態でも充電できます※2。このほかの(一般の)USBコネクタでは、電源が入っているときのみ充電できます。

※1: 動作確認済み機器に関しては次のホームページをご覧ください。(http://121ware.com/navigate/products/pc/connect/usb/list.html)

※2: この機能は通電状態の電源コードを接続している場合のみ使えます。電源コードを外した状態では使えません。

パワーオフUSB充電機能は、ご購入時の状態ではオフに設定されています。

設定を切り換える

「スタート」-「すべてのプログラム」-「パワーオフUSB充電の設定」-「パワーオフUSB充電の設定」をクリックして起動する「パワーオフUSB充電の設定」で、機能のオン/オフを切り換えることができます。

重要

周辺機器によっては本機能を使用できない場合があります。本機能を使用できない周辺機器については、パソコンの電源を入れた状態で充電してください。

付　録

お手入れについて

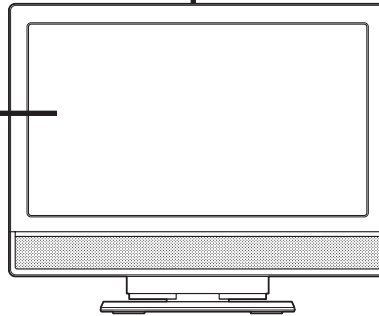
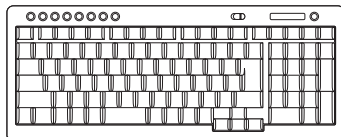
準備するもの

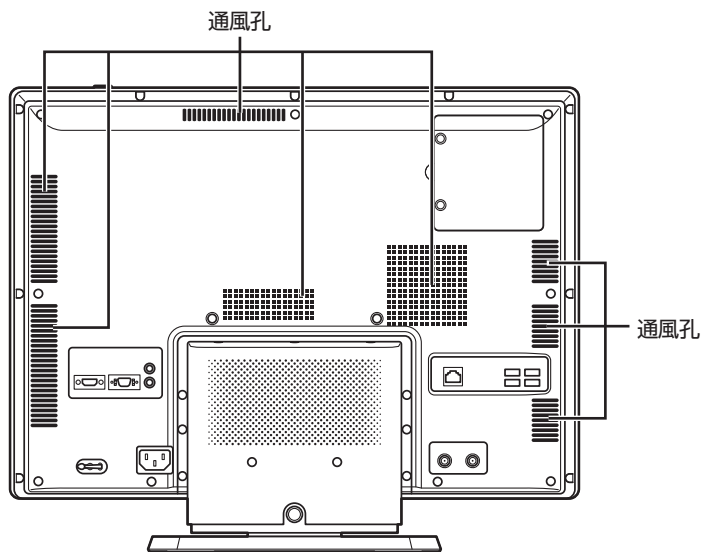
乾いたきれいな布

水かぬるま湯を含ませて、
よくしぼった布

お手入れをするときのご注意

・ シンナーやベンジンなど、揮発性の有機溶剤は使わないでください。これらの有機溶剤を含む化学ぞうきんも使わないでください。キーボードなどを傷め、故障の原因になります。
・ 水かぬるま湯を含ませた布は必ずよくしぼり、パソコン本体、キーボード、マウス、リモコンの汚れをふき取る際に水が入らないよう十分注意してください。
・ 水やぬるま湯は、絶対にパソコン本体やキーボードに直接かけないでください。故障の原因になります。
・ お手入れの前に第4章の「電源の切り方」(p.87)の手順で電源を切ってください。電源コードはコンセントから抜いてください。電源を切らずにお手入れを始めると、感電することがあります。

パソコン各部の清掃のしかた

通風孔のお手入れについて

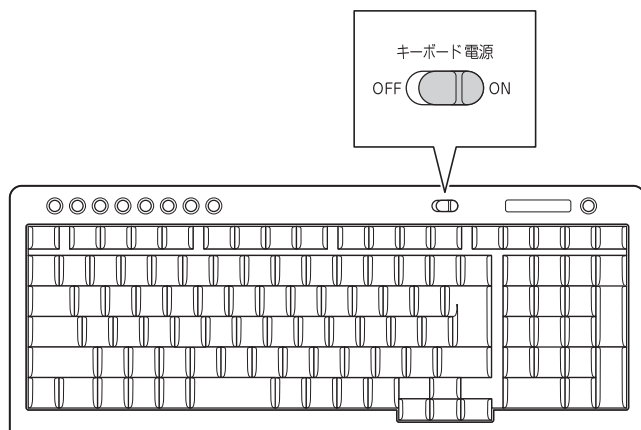
通風孔とは、パソコン内部の熱によってパソコンが故障したり誤作動したりすることを防ぐための換気口です。ほこりがたまってしまうと通風孔の機能が低下し、パソコンの故障や誤作動などのトラブルの原因になる場合があります。定期的にお手入れをしてください。

お手入れの際は、掃除機などを使って本体の外側からほこりを取り除いてください。ほこりの付着がひどい場合には、ハケや綿棒、使用済み歯ブラシなどを使って、ほこりをかき出しながら掃除機で吸引するときれいに掃除することができます。

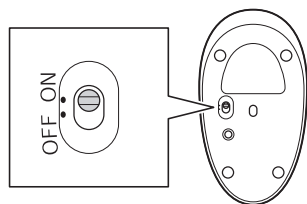
キーボードやマウスを登録しなおす

キーボードやマウスが正しく動作しないときは、何らかの原因でパソコン側の登録が解除されてしまったことが考えられます。
次の手順でキーボードとマウスを登録しなおしてください。

1 パソコン本体の電源が入っていることを確認する

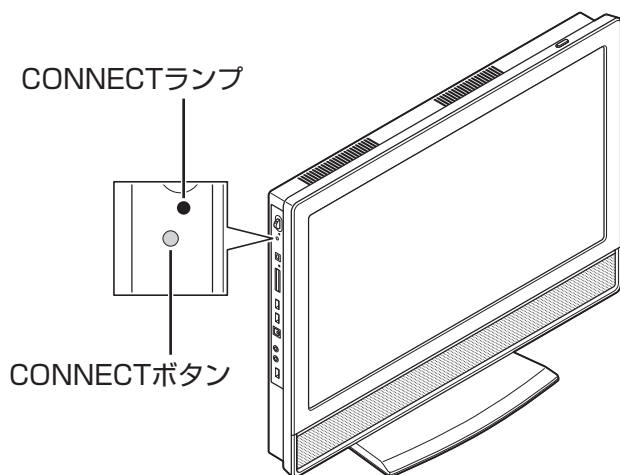
2 登録したい機器の電源スイッチを「ON」にする

●キーボードの場合

●マウスの場合

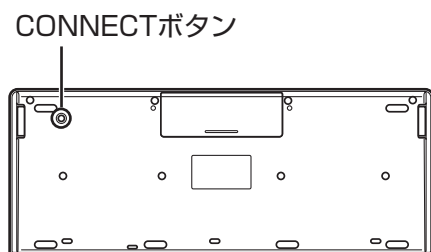
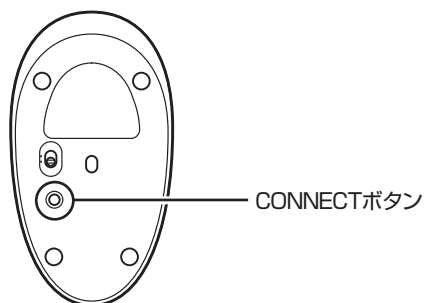
参考

- パソコンを修理·交換した場合も、登録しなおす必要があります。
- リモコンを再登録したいときは第4章の「リモコン」(p.106)をご覧ください。

重要

キーボードとマウスを連続して登録するときは、一方を登録した後、約30秒間隔をあけて次の登録をおこなってください。

3 **パソコン本体の左側面にあるCONNECTボタンを約1秒間押す**

CONNECTランプが点滅します。

4 **CONNECTランプが点滅している間に、登録したい機器にあるCONNECTボタンを約1秒間押す**

●キーボードの場合

●マウスの場合

重要

CONNECTボタンは、2回以上押さないでください。2回以上押すと、キーボードが動かなくなることがあります。CONNECTボタンを2回以上押してキーボードが動かなくなったときは、手順1からやりなおしてください。

参考

このパソコンを複数隣接して使用した場合など、ひとつのキーボード、マウスで2台反応したときは、パソコンを置く位置を変更するか、または、どちらか1台のパソコンの電源を切り、電源コードを抜いてから、もう1台のキーボードとマウスを登録しなおしてください。

アフターケアについて

保守サービスについて

保守サービスについては、NECサポート窓口(121コンタクトセンター)にお問い合わせください。

参照
NECサポート窓口(121コンタクトセンター)について
▶『トラブルの予防と解決』第5章の「NECのサポート窓口に電話する」

保守サービスに依頼するときのご注意

NECサポート窓口(121コンタクトセンター)などにこのパソコンの修理を依頼する場合は、設定したパスワードを解除しておいてください。

消耗品と有寿命部品について

このパソコンには、消耗品と有寿命部品が含まれています。安定してご使用いただくためには、定期的な保守による部品交換が必要になります。特に長期間連続して使用する場合には、安全などの観点から早期の部品交換が必要です。

種類	内容説明	該当品または部品（代表例）
消耗品	使用頻度や使用量により消耗の進行が異なります。お客様ご自身でご購入いただき、交換していただくものです。本体の保証期間内であっても有償になります。	フロッピーディスク、CD-ROMディスク、DVD-ROMディスク、SDメモリーカード、メモリースティック、乾電池など
有寿命部品	使用頻度や経過時間、使用環境によって摩耗、劣化の進行に大きな差が生じ、修理による再生ができなくなる部品です。本体の保証期間内であっても部品代は有償になる場合があります。詳しくは、NECサポート窓口(121コンタクトセンター)の修理受付窓口にご相談ください。	ディスプレイ、ハードディスクドライブ、DVD/CDドライブ、キーボード、マウス、ファン

※ 記載部品は代表例です。機種により構成部品が異なります。詳しくは、「仕様一覧」または『VALUESTAR Gシリーズをご購入いただいたお客様へ』の「仕様一覧」をご覧ください。

消耗品や有寿命部品に関するご注意

- 有寿命部品の交換時期の目安は、1日8時間のご使用で1年365日として約5年です。上記期間はあくまでも目安であり、上記期間中に故障しないことや無償修理をお約束するものではありません。
  また、長時間連続使用などのご使用状態や、温湿度条件などのご使用環境によっては早期に部品交換が必要となり、製品の保証期間内であっても有償となることがあります。
- 本製品の補修用性能部品の保有期間は、パソコン本体、オプション製品については製造打切後6年です。

24時間以上の連続使用について

- 本製品は24時間連続使用を前提とした設計になっておりません。
  24時間連続稼働した場合、標準保証の対象外となり、製品保証期間内であっても有償修理となります。

添付マニュアルとの記載の違いについて

添付のマニュアル『ひかりTVを楽しむ本』に記載されている情報とこのパソコンの操作とで一部相違があります。次の各項目について読み替えてご覧ください。

参照先について

PART1の「こんな準備が必要です」-「接続と設定は済んでいますか？」に記載されている次の参照先を次のように読み替えてください。

●『ひかりTVを楽しむ本』の記載

参照

インターネット接続について
→「LAN」
▶「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 93100010 で検索
→「ワイヤレスLAN(無線LAN)」
▶「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 93110010 で検索

●変更後の記載

参照

インターネット接続について
→「LANについて」
▶「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 93100010 で検索
→「ワイヤレスLAN(無線LAN)について」
▶「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 93100110 で検索

付録の「ワイヤレスLANを使う」に記載されている参照先を次のように読み替えてください。

●『ひかりTVを楽しむ本』の記載
パソコンとワイヤレスLANルータ、ワイヤレスLANアクセスポイントとの接続や設定については、『準備と基本』の「第3章 インターネットを始める」および、「ワイヤレスLAN(無線LAN)」(「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 93110010 で検索)をご覧ください。

●変更後の記載

パソコンとワイヤレスLANルータ、ワイヤレスLANアクセスポイントとの接続や設定については、『準備と基本』の「第3章 インターネットを始める」および、「ワイヤレスLAN(無線LAN)について」(「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 93100110 で検索)をご覧ください。

ネットワークアダプタの切り換えについて

『ひかりTVを楽しむ本』付録の「ネットワークアダプタ切換ツールを使う」の記載について次のように読み換えてご覧ください。

●『ひかりTVを楽しむ本』の記載

ひかりTVの利用時にこのパソコンが使用するネットワークアダプタは、ひかりTVのテレビ初期設定の途中で自動的に設定されます。

通常はそのまま使用しても問題ありませんが、映像がカクつく場合など、より速いネットワークアダプタを使用したいときは、「ネットワークアダプタ切換ツール」を使って手動で変更することができます。

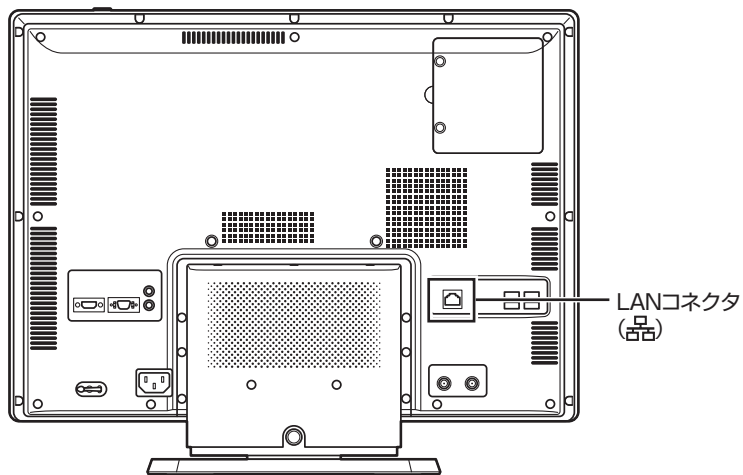
●変更後の記載

「ひかりTV」の利用時にこのパソコンが使用するネットワークアダプタは、SmartVision(「ひかりTV」)の初回起動時に自動で設定します。

その後、ブロードバンド回線の接続方法を変更した場合(例えば、ワイヤレスLAN接続から有線接続に切り換えた場合など)は、「ネットワークアダプタ切換ツール」を使って、ご使用になるネットワークアダプタを次のように切り換えてください。

- 有線で接続する場合:「Broadcom NetLink(TM) Gigabit Ethernet」
- ワイヤレスLANで接続する場合:「Broadcom 802.11n ネットワーク アダプタ」

LANコネクタの位置について

添付のマニュアル『ひかりTVを楽しむ本』に記載されているパソコンのLANコネクタの位置は、このパソコンと異なります。このパソコンではLANケーブルを次のコネクタに差し込んでください。

パソコンの売却、処分、改造について

パソコンを他人に売却、処分するときの注意事項を説明します。また、パソコンの改造はおこなわないでください。

このパソコンを売却するには

ご使用済みパソコンの買い取りサービスをおこなっております。買い取り対象機種や上限価格は、随時変更されます。サービス内容の詳細や最新情報については、次のホームページをご覧ください。
http://121ware.com/support/recyclesel/

パソコンを譲渡する際のご注意

パソコン内のハードディスクには個人的に作成した情報が多く含まれています。第三者に情報が漏れないように、譲渡の際にはこれらの情報を削除することをおすすめします。

参照

このパソコンのハードディスクのデータを消去する方法について
▶『トラブルの予防と解決』第4章の「再セットアップディスクを使って再セットアップする」-「ハードディスクのデータ消去」

このパソコンを譲渡するには

譲渡するお客様へ

このパソコンを第三者に譲渡(売却)する場合は、次の条件を満たす必要があります。

1. 本体に添付されているすべてのものを譲渡し、複製物を一切保持しないこと。
2. 各ソフトウェアに添付されている「ソフトウェアのご使用条件」の譲渡、移転に関する条件を満たすこと。
3. 譲渡、移転が認められていないソフトウェアについては、削除した後譲渡すること(本体に添付されている「ソフトウェア使用条件適用一覧」をご覧ください)。

重要

第三者に譲渡(売却)する製品をお客様登録している場合は、121ware.comのマイページ(http://121ware.com/my/)の保有商品情報で削除してください。

譲渡を受けたお客様へ

NECパーソナル商品総合情報サイト「121ware.com」(http://121ware.com/my/)にアクセスし、登録をお願いします。

参照

お客様登録の方法について
▶『トラブルの予防と解決』第5章の「お客様登録のお願い」

このパソコンを廃棄するには

本製品は「資源有効利用促進法」に基づく回収再資源化対応製品です。PCリサイクルマークが銘板(パソコン本体の背面にある型番、製造番号が記載されたラベル)に表示されている、またはPCリサイクルマークのシールが貼り付けられている弊社製品は、弊社が責任を持って回収、再資源化いたします。希少資源の再利用のため、不要になったパソコンのリサイクルにご協力ください。

当該製品をご家庭から排出する場合

弊社規約に基づく回収・再資源化にご協力いただける場合は、別途回収再資源化料金をご負担いただく必要はありません。詳細については次のサイトや窓口を確認してください。

廃棄時の詳細について

NECパーソナル商品総合情報サイト
「121ware.com」
(http://121ware.com/support/recyclesel/)

廃棄についてのお問い合わせ

NECサポート窓口(121コンタクトセンター)
フリーコール 0120-977-121

※電話番号をよくお確かめになり、おかけください。

携帯電話やPHS、もしくはIP電話など、フリーコールをご利用いただけないお客様は下記電話番号へおかけください。
03-6670-6000(東京)(通話料金はお客様負担になります)
NECサポート窓口(121コンタクトセンター)の詳しい情報は添付の『トラブルの予防と解決』をご覧ください。
また、最新の情報については、(http://121ware.com/121cc/)をご覧ください。

当該製品が事業者から排出される場合(産業廃棄物として廃棄される場合)

当社は資源有効利用促進法に基づき、当社の回収・リサイクルシステムにしたがって積極的に資源の有効利用につとめています。廃棄時の詳細については、下記のホームページで紹介している窓口にお問い合わせください。

http://www.nec.co.jp/eco/ja/business/recycle/it/

※ 本文に記載された電話番号や受付時間などは、将来予告なしに変更することがあります。

ハードディスク、メモリーカード上のデータ消去に関するご注意

お客様が廃棄・譲渡などをおこなう際、ハードディスクおよびメモリーカード上の重要なデータの流出トラブルを回避するために、記録された全データをお客様の責任において消去することが重要です。データを消去するためには、専用ソフトウェアまたはサービス(ともに有償)を利用するか、ハードディスクやメモリーカードを物理的に破壊して、読めないようにします。
なお、物理的に破壊する場合、専門技術が必要になります。また、お客様のけが防止のため、専門業者へ依頼することを推奨します。

このパソコンでは、再セットアップディスクを作成して、ハードディスクのデータ消去ができます。
「データやファイルの消去」、「ハードディスクの初期化(フォーマット)」、「メモリーカードの初期化(フォーマット)」、「パソコンの再セットアップ」などの操作をおこなうと、記録されたデータの管理情報が変更されるためにWindowsでデータを探すことはできなくなりますが、ハードディスクやメモリーカードに磁気的に記録された内容が完全に消えるわけではありません。
このため、データ回復用の特殊なソフトウェアを利用すると、ハードディスクやメモリーカードから消去されたはずのデータを読み取ることが可能な場合があり、悪意のある人によって予期しない用途に利用されるおそれがあります。

重要
本内容は「パソコンの廃棄・譲渡時のハードディスク上のデータ消去に関するご注意」の趣旨に添った内容で記載しています。詳細は以下のJEITA(社団法人電子情報技術産業協会)の文書をご参照ください。
(http://it.jeita.or.jp/perinfo/committee/pc/JEITA_HDDdata100219F.pdf)

参照
再セットアップディスクによるハードディスクの消去について
▶『トラブルの予防と解決』第4章の「再セットアップディスクを使って再セットアップする」-「ハードディスクのデータ消去」

重要
ハードディスクやメモリーカード上のソフトウェア(OS、アプリケーションソフトなど)を削除することなく譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合があります。十分な確認をおこなってください。

地上デジタル放送で使用する個人情報の消去に関するご注意

お客様が廃棄・譲渡などをおこなう際、地上デジタル放送のデータ放送で使用した個人情報を消去することが必要になります。個人情報の消去にはSmartVisionを使用します。

参照
SmartVisionで個人情報を消去する方法について
▶『テレビを楽しむ本』付録の「個人情報を消去する」

パソコンの改造はおこなわない

添付されているマニュアルに記載されている以外の方法で、このパソコンを改造・修理しないでください。記載されている以外の方法で改造・修理された製品は、当社の保証や保守サービスの対象外になることがあります。

仕様一覧

本体仕様一覧

VALUESTAR Gシリーズの仕様一覧については、『VALUESTAR Gシリーズをご購入いただいたお客様へ』をご覧ください。

●VW970/CS、VW770/CS6B、VW770/CS6R、VW770/CS6C

型名			VW970/CS	VW770/CS6B VW770/CS6R VW770/CS6C
型番			PC-VW970CS	PC-VW770CS6B PC-VW770CS6R PC-VW770CS6C
インストールOS・サポートOS			Windows® 7 Home Premium 64ビット 正規版※1※2	
CPU			インテル® Core™ i5-460M プロセッサー	
	動作周波数		2.53GHz(インテル® ターボ・ブースト・テクノロジーに対応:最大2.80GHz)	
	コア数/スレッド数		2コア/ 4スレッド(インテル® ハイパースレッディング・テクノロジーに対応)	
	キャッシュメモリ		3MB(3次キャッシュ)	
バスクロック	システムバス		2.5GT/s DMI※3	
	メモリバス		1066MHz	
チップセット			モバイル インテル® HM55 Express チップセット	
メインメモリ※4※5※7※8	標準容量/最大容量		4GB(DDR3 SDRAM/SO-DIMM 2GB×2、PC3-8500対応、デュアルチャネル対応)/ 8GB※11※12	
	スロット数		SO-DIMMスロット×2[空き:0]	
表示機能	標準ディスプレイ		23型ワイド(偏光板方式3D) (スーパーシャインビュー EX IPS液晶)(Full HD) [ディスプレイ本体一体型]	23型ワイド (スーパーシャインビュー EX IPS液晶)(Full HD) [ディスプレイ本体一体型]
		表示寸法(アクティブ表示エリア)	509(W)×286(H)mm	
		画素ピッチ	0.265mm	
		LCDドット抜けの割合※13	0.00013%以下	
	表示色(解像度)	標準ディスプレイ	最大1677万色(1920×1080ドット、1280×1024ドット※14、1280×768ドット※14、1024×768ドット※14、800×600ドット※14)	
	グラフィックアクセラレータ		NVIDIA® GeForce® GT 330M	インテル® HD グラフィックス(CPUに内蔵)
	グラフィックスメモリ※16		最大2747MB※9※10	最大1696MB※6
ドライブ	ハードディスクドライブ※17		約1.5TB(Serial ATA、5400回転/分)	約1TB(Serial ATA、高速7200回転/分)
	BD/DVD/CDドライブ(詳細は別表(p.152)をご覧ください)		ブルーレイディスクドライブ(DVDスーパーマルチドライブ機能付き)※18	
サウンド機能	スピーカ		内蔵2.1chステレオスピーカー スピーカー 3W+3W ウーファー 6W(SR-Bass方式搭載)※19	
	音源/サラウンド機能		インテル® High Definition Audio準拠(最大192kHz/24ビット※21)、MaxxAudio®機能※20、マイク機能(ノイズ抑制、音響エコーキャンセル、ビームフォーミング)	
	サウンドチップ		RealTek社製 ALC262搭載	
通信機能	LAN		1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T対応	
	ワイヤレスLAN		高速11n対応ワイヤレスLAN本体内蔵※22※23※24※25(IEEE802.11a/b/g/n準拠)	
TV機能(詳細は別表(p.153)をご覧ください)			地上デジタル・BSデジタル・110度CSデジタル放送対応(ダブルチューナー搭載)・「ひかりTV」サービス対応※26※27	
入力装置	キーボード		ワイヤレスキーボード※28※29※30(109キーレイアウト準拠、ワンタッチスタートボタン、マイ チョイスボタン、ECOボタン、ズームボタン付き)	
	マウス		ワイヤレスレーザーマウス※28※30※31(横スクロール機能付き※32)	
	リモコン		無線リモコン※30	
	ボタン		明るさ調節つまみ/画面消灯ボタン、外部入力ボタン(入力切替、音量※37)	明るさ調節つまみ/画面消灯ボタン

型名			VW970/CS	VW770/CS6B VW770/CS6R VW770/CS6C
外部インターフェイス	USB※36		USB 3.0×2※33、USB 2.0×6(パソコン本体左側面の端子にパワーオフUSB充電機能付き※34※35)	
	IEEE1394		4ピン×1	
	LAN		RJ45×1	
	映像入力	HDMI入力	HDMI入力端子×1[1080p/1080i/720p/480p/480i]※15	−
		D端子	D端子×1[D1/D2/D3/D4]、音声入力端子(L/R)×1	−
	サウンド関連	光デジタルオーディオ(S/PDIF)出力	角型×1	
		マイク入力※38	ステレオミニジャック×1[マイク入力インピーダンス 64kΩ、入力レベル 100mVrms(マイクブースト有効時は5mVrms)、バイアス電圧 2.5V]	
		ヘッドフォン出力	ステレオミニジャック×1[ヘッドフォン出力インピーダンス 16 ～ 100Ω(推奨32Ω)、出力電力 5mW/32Ω]	
		ライン入力	マイク入力と共用(ライン入力インピーダンス 64kΩ、入力レベル 1Vrms)	
		ライン出力	ヘッドフォン出力と共用(ライン出力レベル 1Vrms)	
	カードスロット	メモリーカード	デュアルメモリースロット×1※39[SDメモリーカード(SDHCメモリーカード、SDXCメモリーカード)※40※41、メモリースティック(メモリースティック PRO、メモリースティック PRO-HG デュオ)※42]	
	TV		BS・110度CSデジタル放送アンテナ入力端子×1、地上デジタル放送アンテナ入力端子×1、B-CASカードスロット×1	
外形寸法	本体(突起部除く)		573(W)×253(D)×467(H)mm (ディスプレイ最小傾斜時) 647(W)×337(D)×530(H)mm (ディスプレイ最大傾斜・最大回転時)	
	キーボード		392(W)×153(D)×32(H)mm	
	リモコン		50(W)×258(D)×27.5(H)mm	
質量	本体		約19kg	
	キーボード/マウス/リモコン/3Dメガネ		約715g※43 /約72g※43 /約140g※43 /約22g	約715g※43 /約72g※43 /約140g※43 /−
電源			AC100V±10%、50/60Hz	
消費電力	標準/最大/スリープ状態時		約74W /約198W /約4W	約69W /約162W /約3W
電波障害対策			VCCI ClassB	
温湿度条件			10 ～ 35℃、20 ～ 80%(ただし結露しないこと)	
本体色			ファインブラック	・VW770/CS6Bの場合 ファインブラック ・VW770/CS6Rの場合 クランベリーレッド ・VW770/CS6Cの場合 ハニーブラウン
主なソフトウェア			Microsoft® Office Home and Business 2010※44	
主な添付品			マニュアル、電源コード、B-CASカード、無線リモコン、乾電池(単三アルカリ:6本 キーボード・マウス・リモコン用)、3Dメガネ(偏光板方式)(VALUESTAR W専用)	マニュアル、電源コード、B-CASカード、無線リモコン、乾電池(単三アルカリ:6本 キーボード・マウス・リモコン用)

上記の内容は本体のハードウェアの仕様であり、オペレーティングシステム、アプリケーションによっては、上記のハードウェアの機能をサポートしていない場合があります。

※　1: 日本語版です。添付のソフトウェアは、インストールされているOSでのみご利用になれます。別売のOSをインストールおよびご利用になることはできません。
※　2: ネットワークでドメインに参加する機能はありません。
※　3: DMIはDirect Media Interfaceの略です。
※　4: 増設メモリは、PC-AC-ME048C(4GB、PC3-8500)を推奨します。
※　5: 他メーカ製の増設メモリの装着は、動作を保証するものではありません。他メーカ製品との接続は各メーカにご確認の上、お客様の責任において行ってくださるようお願いいたします。
※　6: グラフィックスメモリは、メインメモリを使用します。
※　7: 実際にOSが使用可能な領域は一部制限されます。
※　8: メインメモリの一部をグラフィックスメモリとして使用します。
※　9: グラフィックスメモリは、専用グラフィックスメモリとメインメモリの一部の両方を使用します。
※ 10: グラフィックボード上に1024MB搭載。
※ 11: 最大メモリ容量にする場合、本体に標準実装されているメモリを取り外して、別売の増設メモリ(4GB)を2枚実装する必要があります。
※ 12: 2つのメモリスロットに異なる容量のメモリを搭載するメモリ構成はサポートしておりません。
※ 13: ISO13406-2の基準にしたがって、副画素(サブピクセル)単位で計算しています。
※ 14: 最高解像度以外の解像度ではアスペクト比(画面縦横比)を保つために画面の左右または上下左右が黒表示となる場合があります。擬似的に画素を拡大して表示しているため文字などの線がぼやけて表示される場合があります。
※ 15: HDMI端子経由で3D映像を表示することはできません。
※ 16: パソコンの動作状況により、使用可能なメモリ容量、グラフィックスメモリ容量が変化します。また本機のハードウェア構成、ソフトウェア構成、BIOSおよびディスプレイドライバの更新によりグラフィックスメモリの最大値が変わる場合があります。搭載するメインメモリの容量によって利用可能なグラフィックスメモリの最大値は異なります。利用可能なグラフィックスメモリの最大値とは、OS上で一時的に使用する共有メモリやシステムメモリを含んだ最大の容量を意味します。
※ 17: 1GBを10億バイト、1TBを1兆バイトで計算した場合の数値です。
※ 18: ブルーレイディスクの再生はソフトウェアを用いているため、ディスクによっては操作および機能に制限があったり、CPU負荷などのハードウェア資源の関係で音がとぎれたり映像がコマ落ちする場合があります。
※ 19: SR-BassはYAMAHA特許の新低音再生技術です。
※ 20: MaxxAudio®は内蔵スピーカ専用の機能です。ヘッドフォン/オーディオ出力端子、光デジタルオーディオ(S/PDIF)出力、USBオーディオなどを使用した外部機器では動作しません。
※ 21: 量子化ビットやサンプリングレートは、OSや使用するアプリケーションなどのソフトウェアによって異なります。

※ 22： IEEE802.11nはWPA-PSK(AES)、WPA2-PSK(AES)対応、IEEE802.11a/b/gはWEP(64/128bit)、WPA-PSK(TKIP/AES)、WPA2-PSK(AES)対応です。5GHz帯ワイヤレスLANは、IEEE802.11a/n(W52/W53/W56)準拠です。
※ 23： 理論上の最大通信速度は送受信ともに300Mbpsですが、実際のデータ転送速度を示すものではありません。接続先の11nワイヤレスLAN機器の仕様により、接続時の速度が異なります。
※ 24： IEEE802.11a/n(W52/W53)ワイヤレスLANの使用は、電波法令により屋内に限定されます。
W52/W53/W56は社団法人 電子情報技術産業協会による表記です。詳細はホームページ（http://it.jeita.or.jp/perinfo/committee/pc/050516_5ghz/index.html）をご覧ください。
※ 25： IEEE802.11b/g(2.4GHz)とIEEE802.11a(5GHz)は互換性がありません。接続対象機器、電波環境、周囲の障害物、設置環境、使用状況、ご使用のアプリケーションソフトウェア、OSなどによっても通信速度、通信距離に影響する場合があります。
※ 26： 出荷時の解像度／色数以外ではTV機能を利用できません。
※ 27： 「ひかりTV」を快適に視聴いただくため、パソコンは有線(ケーブル)で回線終端装置(ONU)やルータに接続した状態でのご利用をおすすめします。ワイヤレスLANで「ひかりTV」を視聴する場合は、動作確認済み機器(ワイヤレスLANルータ／ワイヤレスLANアクセスポイント)をお使いください。これ以外の機器をお使いの場合、映像が乱れ視聴できないことがあります。動作確認済み機器に関しては、ホームページ（http://121ware.com/catalog/iptv/）をご覧ください。ルータをお使いの場合はIPv6対応のルータが必要です。「ひかりTV」サービスの録画および予約視聴はできません。地上デジタル放送IP再送信サービスはご覧いただけません。
※ 28： 金属製の机の上などで使用した場合に、動作に影響することがあります。木製の机などの上でのご利用をおすすめします。
※ 29： キーボードの電池寿命は、アルカリ電池で連続使用した場合、最大約1000時間です(ただし、ご使用の環境条件や方法により異なります)。
※ 30： 使用可能な距離は約3mです(ただし、ご使用の環境条件や方法により異なります)。
※ 31： マウスの電池寿命は、アルカリ電池で連続使用した場合、最大約150時間です(ただし、ご使用の環境条件や方法により異なります)。
※ 32： 使用するソフトウェアによって動作が異なったり、使用できないことがあります。
※ 33： 接続したUSB 3.0対応機器の転送速度は最大2.5Gbps(理論値)になります。また、接続したUSB 2.0対応機器の転送速度は最大480Mbps(理論値)となります。
※ 34： ACアダプタまたは電源コードを接続している場合のみ使えます。
※ 35： 動作確認済み機器に関しましてはホームページ（http://121ware.com/navigate/products/pc/connect/usb/list.html）をご覧ください。パワーオフUSB充電機能は、ご購入時の状態ではオフに設定されています。使用する場合は、「パワーオフUSB充電の設定」でオンにしてください。
※ 36： USBポートの電源供給能力は、USB 3.0の場合、1ポートあたりの動作時が最大900mA、USB 2.0の場合、1ポートあたりの動作時が最大500mA、スリープ時は数十mA程度です。これ以上の電流を消費するバスパワードのUSB機器は電源の寿命を低下させるおそれがありますので接続しないでください。
※ 37： 接続された外部入力装置の音量を調整することができます。
※ 38： パソコン用マイクとして市販されているコンデンサマイクやヘッドセットを推奨します。
※ 39： 各々同時に使用することはできません。「マルチメディアカード(MMC)」はご利用できません。すべてのメモリーカード、メモリーカード対応機器との動作を保証するものではありません。
※ 40： 「SDメモリーカード」、「SDHCメモリーカード」、「SDXCメモリーカード」は、著作権保護機能(CPRM)に対応しています。
「SDIOカード」には対応しておりません。「miniSDカード」、「microSDカード」をご使用の場合には、SDカード変換アダプタをご利用ください。microSDカード→miniSDカード変換アダプタ→SDカード変換アダプタの2サイズ変換には対応しておりません。詳しくは「miniSDカード」、「microSDカード」の取扱説明書をご覧ください。
※ 41： 「SDHCメモリーカード」、「SDXCメモリーカード」の高速転送規格「UHS-I」には対応しておりません。「SDXCメモリーカード」の動作確認済み機器に関しましてはホームページ（http://121ware.com/catalog/taioukiki/）をご覧ください。
※ 42： 「メモリースティック デュオ」をご使用の場合には、「メモリースティック デュオ」アダプターをご利用ください。「メモリースティック マイクロ」(M2)をご使用の場合には、「メモリースティック マイクロ」(M2)スタンダードサイズアダプターをご利用ください。「メモリースティック マイクロ」(M2)→「メモリースティック マイクロ」(M2)デュオサイズアダプター→「メモリースティック デュオ」アダプターの2サイズ変換には対応しておりません。詳しくは「メモリースティック デュオ」、「メモリースティック マイクロ」(M2)の取扱説明書をご覧ください。本機は4ビットパラレルデータ転送に対応しております。ただし、お使いのメモリーカードによっては読出し／書込みにかかる時間は異なります。「メモリースティック PRO-HG デュオ」の8ビットパラレルデータ転送には対応しておりません。著作権保護機能(マジックゲート)には対応しておりません。
※ 43： 乾電池の質量は含まれておりません。
※ 44： 本製品はマニュアルを添付しております。

BD/DVD/CDドライブ仕様一覧

	ドライブ※1	ブルーレイディスクドライブ(DVDスーパーマルチドライブ機能付き)
読出し	CD-ROM※2	最大24倍速
	CD-R	最大24倍速
	CD-RW	最大24倍速
	DVD-ROM	最大8倍速
	DVD-R	最大8倍速
	DVD+R	最大8倍速
	DVD-RW	最大8倍速
	DVD+RW	最大8倍速
	DVD-RAM※8	最大5倍速
	DVD-R (2層)※5	最大6倍速
	DVD+R (2層)	最大6倍速
	BD-ROM	最大6倍速
	BD-R (1層)※10	最大6倍速
	BD-R (2層)※10	最大4倍速
	BD-RE (1層)	最大4倍速
	BD-RE (2層)	最大4倍速
書込み/書換え	CD-R	最大24倍速
	CD-RW※3	最大10倍速
	DVD-R※4	最大8倍速
	DVD+R	最大8倍速
	DVD-RW※7	最大6倍速
	DVD+RW	最大8倍速
	DVD-RAM※8	最大5倍速※9
	DVD-R (2層)※6	最大4倍速
	DVD+R (2層)	最大4倍速
	BD-R (1層)※10	最大6倍速
	BD-R (2層)※10	最大4倍速
	BD-RE (1層)※11	最大2倍速
	BD-RE (2層)※11	最大2倍速

※ 1: 使用するディスクによっては、一部の書込み/読出し速度に対応していない場合があります。
※ 2: Super Audio CDは、ハイブリッドのCD Layerのみ読出し可能です。
※ 3: Ultra Speed CD-RWディスクはご使用になれません。
※ 4: DVD-Rは、DVD-R for General Ver.2.0/2.1に準拠したディスクの書込みに対応しています。
※ 5: 追記モードで記録されたDVD-R(2層)ディスクの読出しはサポートしておりません。
※ 6: DVD-R(2層)書込みは、DVD-R for DL Ver.3.0に準拠したディスクの書込みに対応しています。ただし、追記は未対応です。
※ 7: DVD-RWは、DVD-RW Ver.1.1/1.2に準拠したディスクの書換えに対応しています。
※ 8: DVD-RAM Ver.2.0/2.1/2.2 (片面4.7GB)に準拠したディスクに対応しています。また、カートリッジ式のディスクは使用できませんので、カートリッジなし、あるいはディスク取り出し可能なカートリッジ式でディスクを取り出してご利用ください。DVD-RAM Ver.1 (片面2.6GB)の読出し/書換えはサポートしておりません。
※ 9: DVD-RAM12倍速ディスクの書込みはサポートしておりません。
※ 10: BD-R Ver.1.1/1.2/1.3(LTH Type含む)に準拠したディスクに対応しています。
※ 11: BD-RE Ver.2.1に準拠したディスクの書込みに対応しています。カートリッジタイプのブルーレイディスクには対応しておりません。

TV機能仕様一覧

■TV仕様　[受信機能]

品名			本体内蔵
テレビ受信機能	チューナー		[地上デジタル／ BS･110度CSデジタル]チューナー
		チューナー数	2個
	対応する放送の種類		地上デジタル放送※1、BSデジタル放送※2、110度CSデジタル放送※2
	CATVパススルー対応		対応帯域:全帯域(VHF･MID･SHB･UHF)
	字幕放送		対応
	データ放送		対応
	双方向サービス※3		対応
	EPG(電子番組表)		対応

■TV仕様　[ハードディスクへの録画時間]

録画モード		ビットレート※12	1時間あたりの録画に必要なハードディスク容量※4※5	字幕表示対応	外付けUSBハードディスク※9※10 録画時間(想定録画容量※11)(めやす)		
					約1.5TB※8	約1TB※8	約500GB※8
ダイレクト※6	BS･110度CSデジタルハイビジョンテレビ放送	約24Mbps	約10.1GB	○	約130時間	約90時間	約40時間
	BS･110度CSデジタル標準テレビ放送	約11Mbps	約4.7GB	○	約300時間	約200時間	約100時間
	地上デジタルハイビジョンテレビ放送	約17Mbps	約7.2GB	○	約190時間	約130時間	約60時間
	地上デジタル標準テレビ放送	約8Mbps	約3.4GB	○	約410時間	約270時間	約130時間
ファイン※6		約8Mbps	約3.4GB	○	約410時間	約270時間	約130時間
ファインロング※6		約4Mbps	約1.7GB	○	約830時間	約550時間	約270時間
ロング※7		約2Mbps	約900MB	○	約1660時間	約1110時間	約550時間

■TV仕様　[メディアへの保存時間]

メディア	保存形式			字幕表示対応	保存時間(めやす)	対応機器 PC-VW970CS※19 PC-VW770CS6B PC-VW770CS6R PC-VW770CS6C
BD-R(1層／2層) BD-RE(1層／2層) ※13	BD-AV形式	ダイレクト※6	BS・110度CSデジタルハイビジョンテレビ放送	○	約2時間10分／約4時間20分	●
			BS・110度CSデジタル標準テレビ放送	○	約4時間40分／約9時間30分	●
			地上デジタルハイビジョンテレビ放送	○	約3時間／約6時間	●
			地上デジタル標準テレビ放送	○	約6時間30分／約13時間	●
		ファイン※6		○	約6時間30分／約13時間	●
		ファインロング※6		○	約13時間／約27時間	●
		ロング※7		○	約27時間／約55時間	●
		1ディスクダビング※16		○	メディアの空き容量によって、保存時間は異なります。※17	●
DVD-R(1層／2層) ※14	AVCREC形式	ファイン※6		○	約1時間10分／約2時間10分	●
		ファインロング※6		○	約2時間30分／約4時間40分	●
		ロング※7		○	約5時間／約9時間30分	●
		1ディスクダビング※16		○	メディアの空き容量によって、保存時間は異なります。※17	●
	DVD-VR形式※7※15	高画質		×	約1時間20分／約2時間20分	●
		標準画質		×	約2時間30分／約4時間40分	●
		長時間		×	約5時間／約9時間	●
		1ディスクダビング		×	メディアの空き容量によって、保存時間は異なります。※17	●
DVD-RAM (片面4.7GB) ※8※14	AVCREC形式	ファイン※6		○	約1時間10分	●
		ファインロング※6		○	約2時間30分	●
		ロング※7		○	約5時間	●
		1ディスクダビング※16		○	メディアの空き容量によって、保存時間は異なります。※17	●
	DVD-VR形式 ※7※15	高画質		×	約1時間10分	●
		標準画質		×	約2時間20分	●
		長時間		×	約5時間	●
		1ディスクダビング		×	メディアの空き容量によって、保存時間は異なります。※17	●

■TV仕様　[外でもVIDEO]

画質(解像度)	ビットレート ※12	字幕表示対応	保存時間(めやす)			
			SDメモリーカード※5※18			
			16GB	8GB	4GB	2GB
SD画質(640×360)	約1.1Mbps	×	約30時間	約15時間	約7時間	約3時間
ワンセグ画質(320×180)	約600Kbps	×	約57時間	約28時間	約14時間	約7時間

放送中の番組を視聴しているとき、および、ダイレクトモードでハードディスクに録画した番組を再生しているとき以外は、データ放送を利用することはできません。録画(保存)時間は目安であり、録画(保存)する先(ハードディスク、BD/DVDメディア、SDメモリーカード)の空き容量や、録画(保存)する番組によって変動します。SmartVisionの場合、5.1chサラウンド放送の音声は、ステレオ2chに変換して出力しています。

※　1：ケーブルテレビ会社経由で地上デジタル放送を受信する場合、再配信されている地上デジタル放送信号が同一周波数パススルー方式および周波数変換パススルー方式の場合は地上デジタル放送を視聴可能です。その他の方式(トランスモジュレーション方式など)では視聴できません。再配信されている地上デジタル放送の方式に関しては、ご利用のケーブルテレビ会社にご確認ください。

※　2：ケーブルテレビ会社経由でBSデジタル放送や110度CSデジタル放送が受信できるかどうかは、ケーブルテレビ会社により異なります。ご利用のケーブルテレビ会社にご確認ください。

※　3：双方向サービスは、LAN回線を使用して利用できます。尚、本機はモデム機能を搭載していないため、電話回線を使用しての利用はできません。

※　4：録画するTV番組により必要なハードディスク容量は変動します。

※　5：容量は、1MB＝1024^2バイト、1GB＝1024^3バイト換算値です。

※　6：放送された解像度のままで録画します。

※　7：解像度は、720×480となります。

※　8：1GBを10億(1000^3)バイト、1TBを1兆(1000^4)バイトで計算した場合の数値です。

※　9：「ひかりTV」サービスの録画はできません。

※ 10：動作確認済み機器に関しましては、ホームページ (http://121ware.com/catalog/hddlist/) をご覧ください。

※ 11：録画に使用可能な空き容量の想定値です。

※ 12：録画する番組により、ビットレートはこの値を基準にして上下に変動します。

※ 13：BD-RE Ver.1.0規格のディスク(カートリッジ付きディスク)の使用はできません。次世代著作権保護技術AACSに対応しています。

※ 14：CPRM方式に対応していないDVD-R/DVD-RAMにはコピーまたはムーブできません。

※ 15：DVD-VR形式で保存する場合には、ダイレクト／ファイン／ファインロング／ロングを、高画質／標準画質／長時間に変換します。

※ 16：解像度を720×480に変換して書き込まれる場合があります。

※ 17：メディアの空き容量にあわせて、ビットレートや解像度を変換して保存します。ただし、メディアへ保存する合計時間が長すぎる場合は、保存できない場合があります。

※　18：　サポートするSDメモリーカードは、microSDカード、microSDHCカード、SDXCメモリーカードになります。動作確認済機器に関しましては、ホームページ（http://121ware.com/catalog/sotodemo/）をご覧ください。パソコン本体では再生できません。SDメモリーカードに表示されている容量の約90%を録画番組の保存に利用可能として保存時間を算出しており、実際の保存時間とは異なる場合があります。長時間番組は、SD画質では約3時間30分ごと、ワンセグ画質では約6時間30分ごとを目安に複数の番組データに分割してSDメモリーカードに転送します。

※　19：　メディアへ保存した3D放送の番組を再生するには、対応モジュールの適用が必要です。再生は、BD-AV形式、AVCREC形式に対応します。対応モジュールは、ホームページ(http://121ware.com/)をご覧ください。

LAN仕様一覧

項　目	規　格
準拠規格	ISO 8802-3、IEEE802.3、IEEE802.3u、IEEE802.3ab
ネットワーク形態	スター型ネットワーク
伝送速度	1000BASE-T使用時：1000Mbps 100BASE-TX使用時：100Mbps 10BASE-T使用時：10Mbps
伝送路	1000BASE-T使用時：UTPカテゴリ5e以上 100BASE-TX使用時：UTPカテゴリ5 10BASE-T使用時：UTPカテゴリ3または5
信号伝送方式	ベースバンド伝送方式
メディアアクセス制御方式	CSMA/CD方式
ステーション台数	最大1,024台/ネットワーク
ステーション間距離/ ネットワーク経路長※	1000BASE-T：最大約200m/ステーション間 100BASE-TX：最大約200m/ステーション間 10BASE-T：最大約500m/ステーション間 最大100m/セグメント

※リピータの台数など、条件によって異なります。

ワイヤレスLAN仕様一覧

本機能は高速11n対応ワイヤレスLAN（abgn）モデルのみの機能です。

●IEEE802.11a

項　目	規　格
準拠規格	IEEE802.11a　ARIB STD-T71※4
通信モード	54/48/36/24/18/12/9/6 (Mbpsモード)※1
伝送方式	OFDM方式
無線チャンネル	36ch、40ch、44ch、48ch (アクティブスキャン) 52ch、56ch、60ch、64ch、100ch、104ch、108ch、112ch、116ch、120ch、124ch、128ch、132ch、136ch、140ch(パッシブスキャン) ※5
周波数帯域	5GHz帯域　(5.15 ～ 5.35GHz、5.47 ～ 5.725GHz)※2
セキュリティ	WPA-PSK（TKIP/AES）、WPA2-PSK（AES） WEP（鍵長64bit/128bit※3）

※１：各規格による理論的な通信速度をもとにした通信モード表記であり、実効速度とは異なります。接続対象機器、電波環境、周囲の障害物、設置環境、使用状況、ご使用のOS、アプリケーション、ソフトウェアなどによっても、通信速度、通信距離に影響する場合があります。

※２：36ch、40ch、44ch、48ch、52ch、56ch、60ch、64chを利用したワイヤレスLANの使用は、電波法令により屋内に限定されます。

※３：ユーザーが設定可能な鍵長は、それぞれ40bit、104bitです。

※４：ARIB（Association of Radio Industries and Businesses）の規定内容は、「ソフト＆サポートナビゲーター」-「機能を知る」-「ネットワーク（有線・無線）」-「ワイヤレスLAN使用上の注意」をご覧ください。

※５：パッシブスキャンのチャンネルは接続に時間がかかる場合があります。

●IEEE802.11b/g

項　目	規　格
準拠規格	IEEE802.11g、IEEE802.11b　ARIB STD-T66※3
通信モード	IEEE802.11gモード:54/48/36/24/18/12/9/6 (Mbpsモード)※1 IEEE802.11bモード:11/5.5/2/1 (Mbpsモード)※1
伝送方式	OFDM方式 (54/48/36/24/18/12/9/6Mbpsモード時) DS-SS方式 (11/5.5/2/1Mbpsモード時)
無線チャンネル	1 ～ 13ch (アクティブスキャン)
周波数帯域	2.4GHz帯域　(2.4 ～ 2.4835GHz)
セキュリティ	WPA-PSK(TKIP/AES)、WPA2-PSK(AES) WEP(鍵長64bit/128bit※2)

※１： 各規格による理論的な通信速度をもとにした通信モード表記であり、実効速度とは異なります。接続対象機器、電波環境、周囲の障害物、設置環境、使用状況、ご使用のOS、アプリケーション、ソフトウェアなどによっても、通信速度、通信距離に影響する場合があります。
※２： ユーザーが設定可能な鍵長は、それぞれ40bit、104bitです。
※３： ARIB(Association of Radio Industries and Businesses)の規定内容は、「ソフト&サポートナビゲーター」-「機能を知る」-「ネットワーク(有線・無線)」-「ワイヤレスLAN使用上の注意」をご覧ください。

●IEEE802.11n

項　目	規　格
準拠規格	IEEE802.11n、ARIB STD-T66 ※2、ARIB STD-T71 ※2
通信モード	20MHz時:130/117/104/78/52/39/26/13 (Mbpsモード) 20MHz、Short GI有効時:144.444 (Mbpsモード) 40MHz時:270/243/216/162/108/81/54/27 (Mbpsモード) 40MHz、Short GI有効時:300 (Mbpsモード) ※1
伝送方式	OFDM方式、MIMO方式
無線チャンネル	1 ～ 13ch (アクティブスキャン) 36ch、40ch、44ch、48ch (アクティブスキャン) 52ch、56ch、60ch、64ch、100ch、104ch、108ch、112ch、116ch、120ch、124ch、128ch、132ch、136ch、140ch (パッシブスキャン) ※3
周波数帯域	2.4GHz帯域　(2.4 ～ 2.4835GHz) 5GHz帯域　(5.15 ～ 5.35GHz、5.47 ～ 5.725GHz) ※4
セキュリティ	WPA-PSK(AES)、WPA2-PSK(AES)

※１： 各規格による理論的な通信速度をもとにした通信モード表記であり、実効速度とは異なります。接続対象機器、電波環境、周囲の障害物、設置環境、使用状況、ご使用のOS、アプリケーション、ソフトウェアなどによっても、通信速度、通信距離に影響する場合があります。
※２： ARIB(Association of Radio Industries and Businesses)の規定内容は、「ソフト&サポートナビゲーター」-「機能を知る」-「ネットワーク(有線・無線)」-「ワイヤレスLAN使用上の注意」をご覧ください。
※３： パッシブスキャンのチャンネルは接続に時間がかかる場合があります。
※４： 36ch、40ch、44ch、48ch、52ch、56ch、60ch、64chを利用したワイヤレスLANの使用は、電波法令により屋内に限定されます。

リモコン仕様一覧

外形寸法	リモコン※1	50(W)×258(D)×27.5(H)mm
質量	リモコン	約140g(電池含まず)
電池		単3形乾電池2本

※1:使用可能な距離は約3mです(ただし、ご使用の環境条件や方法により異なります)。

数字

アルファベット

A

B

C

D

E

F

H

M

O

S

W

かな

あ

か

さ

ローマ字変換表

あ	か	さ	た	な	は	ま	や	ら	わ	が	ざ	だ	ば	ぱ
A	KA	SA	TA	NA	HA	MA	YA	RA	WA	GA	ZA	DA	BA	PA
い	き	し	ち	に	ひ	み	ゆ	り	を	ぎ	じ	ぢ	び	ぴ
I	KI	SI・SHI	TI・CHI	NI	HI	MI	YU	RI	WO	GI	ZI・JI	DI	BI	PI
う	く	す	つ	ぬ	ふ	む	よ	る	ん	ぐ	ず	づ	ぶ	ぷ
U	KU	SU	TU・TSU	NU	HU・FU	MU	YO	RU	NN	GU	ZU	DU	BU	PU
え	け	せ	て	ね	へ	め		れ		げ	ぜ	で	べ	ぺ
E	KE	SE	TE	NE	HE	ME		RE		GE	ZE	DE	BE	PE
お	こ	そ	と	の	ほ	も		ろ		ご	ぞ	ど	ぼ	ぽ
O	KO	SO	TO	NO	HO	MO		RO		GO	ZO	DO	BO	PO

ぁ、ぃ、ゃなどの小さい文字だけを入力するときは、直前にキーボードの【L】か【X】を押す。
例：ぁ→LA、ゅ→LYU
きゃ、きゅ、しゃなどは、間に【Y】を押す。
例：きゃ→KYA、きゅ→KYU（しゃ、しゅ、しょは、間に【H】を押しても入力できます）
「ディ」は「DHI」と打つ。「デ」と「ィ」に分けて、「DE」、「LI」と打つ方法もある。また、小さい「っ」は、次の文字を繰り返して打つ。
例：きっかけ→KIKKAKE

入力する文字を切り換える

【半角/全角】を押す。
日本語を入力できる状態と半角英数字を入力できる状態が切り換わります。

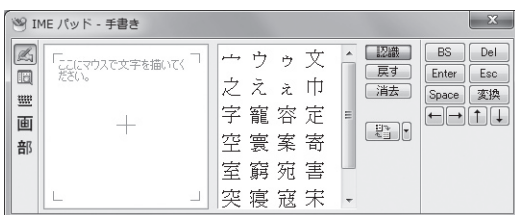
状態はここで確認できます。

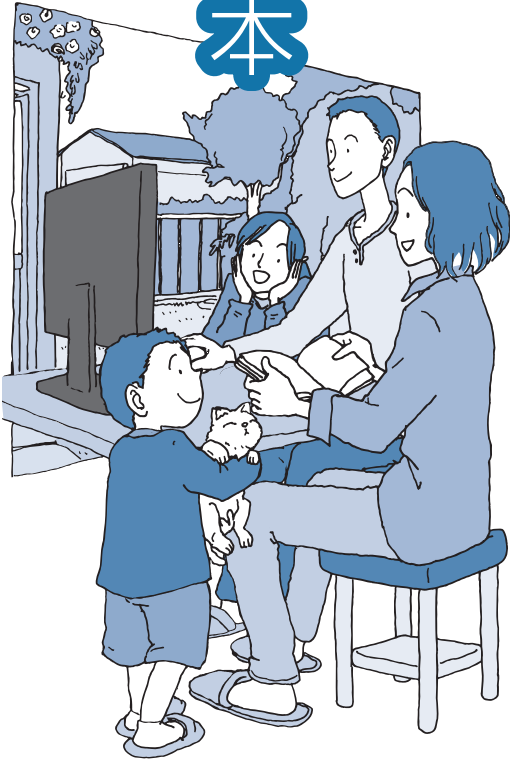
日本語入力

半角英数字入力

※お使いのモデルにより画面表示が異なる場合があります。

読み方のわからない文字を入力する

言語バーの をクリックし、表示された画面で手書き入力をする。

※お使いのモデルにより画面表示が異なる場合があります。

VALUESTAR

初版 2010年9月
NEC
853-811064-039-A
Printed in Japan

NECパーソナルプロダクツ株式会社
〒141-0032 東京都品川区大崎一丁目11-1（ゲートシティ大崎 ウエストタワー）

このマニュアルは、再生紙を使用しています。